

661

192

661-192



1200501572742

複
写

永正弘建文弘文正正康建寶寬仁延曆嘉文天
任應安治永長應元嘉元長治元治應仁禎曆福

建正興延建元元嘉正元元文正應延德嘉乾正
德平國元武弘德曆中享應保和長慶治元元安

嘉至永康永應貞康延文觀貞康曆建正(北朝)元弘天文
慶德德曆和安治安和應和永應武慶)中和授中

寶永正德享保
第一卷 自紀元二二五二一
永弘天享大永文明
第一卷 自紀元二二五二一
祿治文祿永正龜應
明應
明康
應德

慶正寬元慶文天元
第一卷 自紀元二二五二一
安保永和長祿正龜
長康享寶文嘉
祿正德德安吉

元貞天延寬萬明承
第一卷 自紀元二二五二一
祿享和寶文治曆應
延長文應文寬
德享明仁正正

安明寶寬延寬元
第四卷 自紀元二二五二八
永和曆延享保文
弘天文文享寬天
化保政化和政明

慶元文萬安嘉
第五卷 自紀元二二五七一
應治久延政永

第七卷 索引·系譜·諸表
自大正九年
自明治二十四年
自明治二十三年
自昭和三十九年

43057

履仁應仲成景垂崇開孝孝孝孝懿安綏神
中德神哀務行仁神化元靈安昭德寧靖武

舒推崇用敏欽宣安繼武仁顯清雄安允反
明古峻明達明化閑體烈賢宗寧略康恭正

感天天神養靈和慶大朱白弘天齊(白大)孝皇
寶平平龜老龜銅雲寶鳥鳳文智明(雉化)德極

貞天齊仁嘉承天弘大延天寶景神神天寶天勝天
觀安衡壽祥和長仁同曆應龜雲護護平字平寶平

寬永天貞天天安康應天天天承延延昌寬仁元
和觀元元延祿和保和德曆慶平長喜泰平和慶

延治康天永寬長長長萬治寬長寬長長正永永
久曆平喜承德久曆元壽安仁和弘保德曆祚延

天大天保元永天天嘉長康承永嘉寬應永承承
承治安永安久永仁承治和德長保治德保曆保

治安承嘉仁永長應永平保久仁久天康永保長
承元安應安萬寬保曆治元壽平安養治治延承

貞寬安嘉元貞承建建承建元建正建文元壽養
永喜貞祿仁應久保曆元永久仁治久治曆永和

第一卷 自紀元二二五二一

257

第

一

卷

自紀元

元

天

平

元

慶

永

延

承

保

長

承

養

和

國朝大事

正德

正德

3D57

小口洋意

國史大年表

第六卷

日置昌一著

平凡社



257

第一

卷

自紀元

元

天

平

元

慶

永

延

承

保

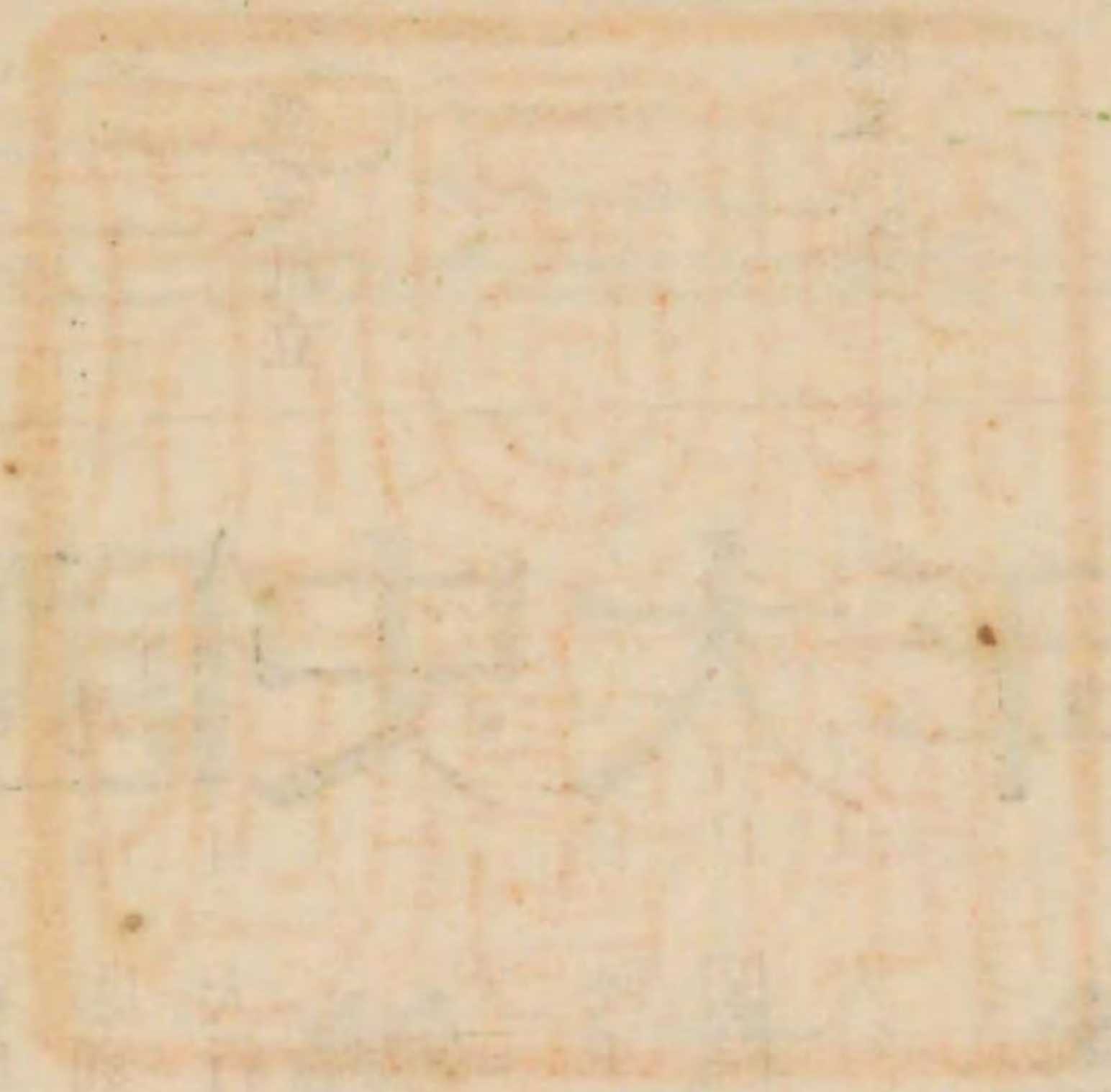
長

承

養

和

66-192



大正天皇

大正元年 壬子 皇紀二五七二年 西曆一九一二年

改元

七月卅一日 天皇、宮中正殿に於て朝見式を行はせられ百官に優詔を賜ふ○年號を大正と改

む○貞愛親王を大喪使總裁に、渡邊千秋を副總裁と爲す

七月 中 彫刻家林美雲歿す年五十二

八月 十日 大行天皇御陵墓地域御檢分の爲め閑院宮載仁親王を京都に差遣さる○東京に於

友愛會創立

て日本勞働總同盟友愛會を創立す

八月 三日 鷹司熙通を大喪使祭官長に、正親町實正、萬里小路通房を副官長と爲す

八月 三日 陸軍少將宮本照明を中將と爲す

八月 五日 閑院宮載仁親王、歸京復命あり○歌舞音曲を解停す

陵墓治定

八月 六日 大行天皇御陵墓は京都府紀伊郡堀内村大字堀内字古城山に治定あらせらる○來
る八月廿一日を以て帝國議會召集の詔書下る

八月 七日 東京市、濟民協會を設立す○國學者猪熊夏樹歿す年七十八

八月 九日 桂太郎一行、下關に歸著す

八月 十日 陸軍中將淺田信興を大將と爲す○東京帝國大學總長濱尾新罷む○東京タクシー

自動車會社を開業す

八月 十一日 桂太郎一行、東京に到着す○土耳其に大地震あり、死傷者數千名に達す

八月 十二日 御大葬諸次第發表せらる○樺太酒類出港稅法を公布す○櫻井鏡二を東京帝國大

大正天皇——大正元年

(二五七・一九一)

學總長事務取扱と爲す○鑛山業の先覺者長谷川芳之助歿す年五十八

八月十三日 御靈柩を殯宮に移御し給ふ○朝鮮總督府、土地調査令を公布す○桂太郎を内大臣兼侍從長と爲す

八月十四日 男爵榊取素彦逝去年八十四

八月十五日 青森縣黒石、川部間の鐵道成る○瀬戸山清彦(宮崎)補缺衆議院議員に當選す

八月十七日 東京日本バルブ株式會社開業す

八月十九日 醫學博士青山胤通、佐藤三吉、三浦謹之助を宮内省御用掛と爲す

八月二十日 樺太酒類出港税法施行規則を公布す

八月廿一日 第廿九回帝國議會を召集す○大岡育造を衆議院議長に、關直彦を副議長と爲す

○外交官大山綱介逝去年五十九○救世軍の創始者英人ブース大將逝去年八十四

八月廿二日 大阪自治會成立す

八月廿三日 臨時帝國議會の開院式を行ふ○高知縣安藝町に於て暴風雨の爲め、倒壞家屋四千二百廿三戸、半潰五千九百九十三戸、壓死者二名、重輕傷者三百八十八名に達す

八月廿四日 (衆)大喪費(百五十四萬五千三百八十九圓)を可決す

八月廿六日 臨時帝國議會の閉院式を行ふ○無所屬議員二十五名、同志會を組織す

八月廿七日 大行天皇に明治天皇の諡號を上る

八月廿八日 陸軍歩兵學校を千葉縣に設置す○臺北に大暴風雨あり、家屋全潰九百九十五戸

死者二十四名を出す

八月三十日 實業家澁澤喜作歿す年七十三

八月卅一日 畫家西郷孤月歿す年四十○長唄三益名手杵屋勘兵衛歿す年七十四

八月 中 土耳其兵、マセドニアに於て大虐殺を行ひ、バルカン諸國の激昂を買ひ風雲急新松竹梅、四季の賑
四季の遊、千代の神

なり

九月 一日 東京市下谷大火あり、二百七十五戸を焼く

九月 三日 俳優尾上榮次郎歿す年四十二

九月 四日 伏見桃山御陵の工事成る○埃國特命全權大使ミユルレル、白耳義特命全權公使

ルヴェルゲム參内して信任狀を捧呈す

九月 七日 朝鮮李王家御名代李燭、入京せらる○詩人田岡嶺雲歿す年四十三

横須賀港内に於て端艇顛覆し軍艦香取の水兵二十七名溺死す○僧佐野前勵寂す

年五十四上日蓮上人

九月 九日 東宮裕仁親王を陸海軍少尉に御任官あり○陸軍中將村木雅美を東宮武官長と爲す

○米國特派大使ノックス、佛國特派使節ルボン、東京に到着す○朝鮮王族李喜薨す年七十八

九月 十日 天皇、新橋驛に行幸あり、親しく獨逸皇帝御名代ハインリツヒ親王を迎へ給ふ

田岡嶺雲歿す

西郷孤月歿す

同志會組織

明治天皇の諡號を上る

高知大暴風雨

臨時議會召集

大正天皇——大正元年

日活設立

○天皇、再び新橋驛に行幸あり、親しく西班牙皇帝御名代オルレアン・ボルボン親王を迎へ給ふ○名古屋の七十六萬圓偽造手形行使犯人四方郁、鳥取縣に於て捕へられる○東京、日本活動寫眞株式會社を設立す○伊、土兩國の假講和成る

九月十一日

天皇、新橋驛に行幸あり、親しく英國皇帝御名代コンノートを迎へ給ふ○獨逸皇帝御名代ハインリツヒ親王、西班牙皇帝御名代ボルボン親王、參内して御親書を捧呈あり○福岡縣田川郡後藤寺炭坑に於て瓦斯爆發し死者十八名を出す

九月十三日

明治天皇御大葬儀を東京青山葬場殿に於て行はせらる○恩赦の詔書下る○御内帑金百萬圓を慈惠救濟費として下賜せらる○陸軍大將乃木希典^{年六十四} 同妻靜子^{年五十四} 殉死す

九月十四日

明治天皇を伏見桃山に御埋葬あらせらる○畫家玉置環齋歿す年八十四

九月十五日

明治天皇御陵を伏見桃山陵と治定あり○東京岩倉鐵道學校燒失す

九月十六日

桃山御陵所に於て山陵祭を執行さる○白鳥庫吉を學習院長事務取扱と爲す○臺灣に大暴風雨あり全潰家屋一千二百八十四戸を生ず

九月十七日

獨逸皇帝御名代ハインリツヒ親王、西班牙皇帝御名代ボルボン親王退京あり

九月十八日

英國皇帝御名代アーサー・オブ・コンノート參内してガーター勳章を捧呈す○青山葬場に於て故乃木大將夫妻の葬儀を行ふ

九月十九日

天皇、伏見宮邸に行幸あり○英國皇帝御名代コンノート退京あり○東京香蘭女

臺灣大暴風雨

江藤新平等の罪を釋す

諸國大暴風

學校の落成式を行ふ

九月廿一日

一條實輝を賞典次長に、波多野敬直を東宮侍從長と爲す○故江藤新平、島義勇の無罪證明さる○米國代表ノックス、退京あり

九月廿三日

全國に大暴風雨あり、岐阜縣下にて全潰家屋四千三百十戸、即死百三名、愛知縣熱田町にて全潰家屋四百四十三戸、即死廿一名、鳥取縣下にて家屋流失百六十八戸、死者百八十三名を出す○青森縣尻矢崎沖に於て汽船相生丸沈没し三十一名溺死す○門司碇泊中の關釜聯絡船梅ヶ香丸沈没す○振付の名人花柳勝次郎歿す年七十九○柔道家横山作次郎歿す年五十

九月廿六日

恩赦令、大赦令を發布さる

九月廿七日

佐世保に於て砲艦嵯峨の進水式を行ふ

九月廿八日

陸軍少將中村愛三、榊原昇造、本多道純、平井正衛を中將と爲す○警視廳警官十數名、博徒其他よりの收賄露見して檢舉さる

九月廿九日

佛國特派使節ルボン退京さる

九月 中

全國に亘りコレラ發生し患者一千名に達す

九月 中

畫家楊洲周延歿す年七十五

十月 一日

竹敷要港部を廢し竹敷防備隊を新設す○拓殖博覽會を上野不忍池畔に開く○露語學者上田將歿す年五十三

十月 二日

バルカン諸國の風雲再び急を告げ、土耳其遂にセルビア國と開戦す

竹敷防備隊新設

恩赦令大赦令發布

穂積八束歿す

十月五日 法學博士穂積八束歿す年五十三 行政法大意、國民教育愛國心、憲法提要、憲法大意、國民道德の要旨、帝國憲法附議院法講義

十月七日 男爵沖守固逝去年七十二

十月八日 モンテネグロは土耳其に對し宣戰を布告す

十月十日 船舶職員法準用の件公布さる

十月十一日 俳優嵐芳三郎歿す年四十一

十月十三日 皇太后、東京發輿あり

十月十四日 印刷局技師佐田清次歿す年七十四 ○淨瑠璃太夫竹本松太夫歿す年六十

十月十五日 皇太后、伏見桃山山陵に御參拜あらせらる

十月十六日 海軍中將齋藤實、瓜生外吉を大將と爲す ○帝國林野管理局長官佐々木陽太郎歿す年六十三

十月十七日 皇太后、京都より還啓あり、皇后、新橋驛に出迎へ給ふ ○寶丹製藥の創始者守田治兵衛歿す年七十二 ○土耳其は勃牙利、セルビア兩國に對し宣戰を布告す

十月十八日 免囚保護事業のため東京佛教慈濟會を設立す ○希臘は土耳其に對し宣戰を布告す ○瑞西國ウーシーに於て伊、土兩國の講和條約調印成る

十月廿二日 京都帝國大學理工科教室燒失す

十月廿三日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり、各種教練を覽給ふ

十月廿四日 朝鮮銀行令を公布す

十月廿六日 石版印刷業者吾妻健三郎歿す年五十七

東京佛教慈濟會設立

朝鮮銀行令公布

日墮條約成る

木村香雨歿す

京成電車開通

十月廿七日 徳川好敏大尉の飛行機、始めて帝都を一週す

十月廿八日 日本・墮太利洪牙利通商航海條約の調印成る ○日本を世界に紹介せる恩人、英人フランシス・ブリンクリー、東京に於て客死す年七十二

十月廿九日 岡玄卿を宮中顧問官と爲す ○實業家茂木保平歿す年四十一

十月三十日 驛屯土地特別處分令を公布す

十一月一日 一府五縣聯合の園藝共進會を芝公園に開く

十一月二日 京成電車、押上、柴又間成る

十一月三日 京都祇園遊廓に大火あり、二十八戸燒失す ○土耳其は休戰講和の調停を列國に求む ○畫家木村香雨歿す年七十一

十一月五日 天皇、皇后、東京發輦あり

十一月六日 天皇、皇后、伏見桃山御陵に御親拜あらせらる ○ウイルソン、米國大統領に當選す

十一月七日 天皇、皇后、還幸啓あり

十一月八日 大喪使官制を廢止す

十一月九日 農商務大臣牧野伸顯に臨時文部大臣を兼しむ

十一月十日 東宮裕仁親王、横濱に行啓あり、初めて第一艦隊旗艦河内の艦上に於て赴任式を行ひ給ふ ○千葉縣鴻ノ臺遊園地に於て京成電車開通式を行ふ

十一月十一日 實業家池田成章歿す年七十三 上杉鷹山公世紀 ○畫家岡本月村歿す年三十七

大觀艦式を行ふ

十一月十二日 天皇、横濱に行幸あり、御召艦筑摩に乗御し東京灣に於て第一回大觀艦式を行ひ給ふ○臨時政務調査會を設置す○男爵小畑美稻逝去年八十四

十一月十四日 天皇、川越に行幸あり

十一月十五日 天皇、雀ノ森に臨み陸軍特別大演習を御統監あらせらる

十一月十六日 巡查俸給支給規則を定む

十一月十七日 天皇、所澤に行幸あり、我が國最初の飛行機を御親閲あり○軍艦日進に於て火藥爆發し重輕傷者十九名を出す

十一月十八日 興正寺法主花園澤稱寂す年六十一

十一月十九日 故大岡忠相外十四名に贈位あり

十一月二十日 天皇、川越より還幸あり○東京生命保險會社協會成る○青地雄太郎(靜岡)補缺衆議院議員に當選す

十一月廿一日 天皇、横須賀に行幸あり、巡洋艦比叡の進水式を行ひ給ふ

十一月廿二日 閣議に於て陸相上原勇作の二個師團増設案は實行不能として否決し、陸軍側と内閣の意見衝突す○落語家橘家圓喬歿す年四十八

十一月廿五日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○日本・伊太利通商航海條約の調印成る○陸軍大將大迫尙敏を學習院長と爲す○平井晴二郎、中野武營等日本航空協會設立の第一回總會を開く

十一月廿六日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり

日露條約成る

日露條約公布

十一月廿七日

清國に於ける工業權相互保護に關する日露條約を公布す○陸軍中將載仁親王を大將と爲す○陸軍中將山根武亮を近衛師團長に、内山小二郎を第十二師團長に井口省吾を第十五師團長と爲す○英國觀光團四十六名來朝す○望月圭介(廣島)補缺衆議院議員に當選す

十一月廿九日 首相西園寺公望、増師問題に關し陸相上原勇作に再考を求む○支那名士胡瑛來朝す

十二月 一日 海軍少將加藤定吉、山下源太郎、小泉鏢太郎、土屋保、名和又八郎、村上格一を中將と爲す○海軍中將山田彦八を横須賀鎮守府司令長官に、阪本一を旅順鎮守府司令長官に、伊知地季珍を第二艦隊司令長官と爲す

十二月 二日 陸軍大臣上原勇作、増師問題に關して辭表を捧呈す○西園寺内閣總辭職に決定す○川崎造船所の創設者川崎正藏歿す年七十六

十二月 三日 首相西園寺公望、參内して増師問題の經過に就き委曲奏上す○貴族院議員千坂高雅逝去年七十二○バルカン同盟諸國は土耳其と休戰條約に調印す、希臘は之に参加せず、依然として戰爭を繼續す

十二月 五日 臺灣漁業規則を公布す○内閣總理大臣西園寺公望、參内して總辭表を捧呈す○河村謹三郎、古賀廉造、南弘、橋本圭三郎、水野練太郎を貴族院議員と爲す○實業家内田耕作歿す年七十○國文學者森洽藏歿す年三十四

梅、鼠に就て、犬に就て、九郎判官、鼠小僧の説、武藏坊辨慶、藤原公任、志度に於ける海上傳説の由來

日本文學者年表續篇、小豆郡略史、清少納言に就て、松竹

十二月廿四日 慘死す○米仲買業龜田介次郎歿す年七十一
第三十回帝國議會を召集さる○濱口雄幸を遞信次官に、櫻井鐵太郎を專賣局長
官と爲す○岐阜縣人中村三郎兵衛、斬姦狀と短刀を懷中にして目白椿山莊の山
縣有朋邸に闖入し憲兵に捉へらる

十二月廿六日 陸軍少將明石元次郎、兵頭雅譽、川村宗五郎、大久保德明、石井隼人を中將と
爲す○陸軍中將一戸兵衛を第一師團長に、大迫尙道を第四師團長に、神尾光臣
を第十八師團長に、川村宗五郎を第十九師團長と爲す

十二月廿七日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行はせらる○松室致を法律取調委員長と
爲す○宮中顧問官山内勝明逝去年六十七

十二月廿八日 山内一次を北海道廳長官に、小松謙次郎を貴族院議員に、馬場三郎を皇后宮主
事と爲す○中倉萬次郎、衆議院全院委員長に當選す

十二月廿九日 詩人永井禾原歿す年六十二 西遊詩、正續觀光
私記、雪災百吟稿

十二月三十日 花房義質を日本赤十字社長と爲す○宗像政を東京府知事に、大久保利武を大阪
府知事と爲す○都下橋梁の恩人原龍太歿す年六十 測量教科書
土木學

十二月卅一日 子爵山内豐尹歿す年四十七

十一月 中市町村歳出入豫算を定め、大正三年度分より之を施行す

大正二年 癸丑 皇紀二五七三年 西曆一九一三年

正月 一行幸啓供奉規則を定む○海軍中將井上良知逝去年六十三

夕張炭山火災

兒玉果亭歿す

正月 二日 陸軍中將牟田口敬九郎歿す年五十九

正月 六日 大浦兼武を國勢調査準備委員長と爲す○三浦逸平(愛知)補缺衆議院議員に當
選す○男爵野田裕通逝去年七十

正月 七日 海軍少將川島令次郎、江頭安太郎を中將と爲す

正月 八日 安達峯一郎、畑良太郎を特命全權公使と爲す○大阪築港に於て汽船姉川丸沈没
し、乗客十名溺死す○畫家根本樵石歿す年五十五

正月 十日 事業家湯地丈雄歿す年六十七

正月 十一日 大禮準備委員會規則を公布す○歌人財部實秋歿す年八十八 都鳥集二卷、戊辰日誌三
冊、稻の垂穂、葛の落葉

正月 十二日 皇太后、沼津に行啓あり

正月 十三日 宮内大臣渡邊千秋を大禮準備委員長と爲す○北海道夕張炭山に再び火災起り、
四十九名慘死す○憲政擁護聯合大會を大阪に開く○土佐同志會總代大江卓、林
包明、山本幸彦等、宮内省に出頭して上奏文を提出す

正月 十四日 南畫家兒玉果亭歿す年七十三

正月 十五日 陸軍中將秋山好古を第十三師團長に、長岡外史を第十六師團長と爲す○大連、
南滿洲汽船株式會社を設立す

正月 十六日 長崎港内に於て團平船、汽船と衝突顛覆して乗客四十一名溺死す○俳人牧野望
東歿す年三十八

正月 十七日 全國記者大會を東京築地精養軒に開き憲政擁護、閥族打破を決議す○名古屋覺

新政黨組織發表

國民黨の脱黨者相次ぐ

生駒隧道崩壊

正月十九日 王山日暹寺に於て大法要を執行す
政友會大會を開き對議會方針を決す○國民黨大會を開く、殺氣堂に滿ち現内閣弾劾を決議す

正月二十日 首相桂太郎は其私邸に於て各新聞通信代表者を招き新政黨組織を發表す○漢學者中根香亭歿す年七十五 兵要、日本地理小誌、日本文典、香亭雅談、日本文典考證、天
北海道天鹽燒尻燈臺を建設す○政友會より内閣の措置並に政綱に關する質問趣

正月廿一日 意書を衆議院に提出す○二月四日まで十五日間、帝國議會の停會を命ぜらる○代議士島田三郎、大石正巳、武富時敏、河野廣中、片岡直溫、加藤政之助、藏原惟郭、國民黨を脱黨して新政黨組織に参加す○海軍中將江頭安太郎歿す年四十九

正月廿二日 松平乗承を日本赤十字社副社長と爲す○國民黨所屬代議士富田幸次郎外十名脱黨す○名古屋新地音羽町遊廓大火あり、七十五戸を焼失す

正月廿三日 都下の新聞通信記者有志は立憲青年黨を組織し、憲政擁護閥族打破を主唱す○土耳其青年黨は講和會議のアドリアノール割讓を屈辱とし政變起る
第二回憲政擁護大演說會を東京新富座に開き、犬養毅、尾崎行雄、共に激烈なる雄辯を奮ひ場外の光景又壯絶を極む

正月廿五日 臺灣銃砲火藥類取締規則を定む
正月廿六日 憲政擁護東海十一州大會を名古屋市新守座にて開く○奈良縣生駒隧道、大崩壊

東北帝國大學

正月廿七日 札幌農學校を東北帝國大學と改稱す○醫學者笠原光興歿す年五十一
正月廿八日 大日本青年黨の發會式を東京神田青年會館に行ふ○駐英大使加藤高明歸朝す
正月廿九日 加藤高明を外務大臣と爲す○元群馬縣内務部長石井勤吾、收賄事件にて拘引さる

正月三十日 東京府下日暮里町大火あり、二百二戸焼く○東京常磐生命保險株式會社を設立す○バルカン同盟諸國對土耳其の講和談判遂に破裂す○漢學者龜谷省軒歿す年七十六 近世義烈傳、言行類編、函山紀勝、論文彙纂、育英文範、清言、詠史樂府、釋教文範、省軒文稿

正月卅一日 學習院學制を改正す○國民黨脱黨者河野廣中、大石正巳、島田三郎、箕浦勝人片岡直溫等、新政黨の組織贊成の宣言書を發表す

二月 一日 米國特命全權大使アンダーソン、參内して信任狀を捧呈す○外務次官倉知鐵吉を罷め、松井慶四郎、之に代る○關西民黨各派の聯合憲政擁護大會を大阪中ノ島公會堂に開く○國文學者鹽井雨江歿す年四十五 湖上の義人、新古今集講義、新古今和歌集評釋、深山の花、故郷の花、笛の音、磯の

二月 二日 第二次バルカン戰役起る 笛竹、花紅葉、深山の美人、暗香疎影、善坊、花がたみ、香川景樹、摘草、しほれ草、未練、栗うり
二月 三日 神藤才一(神奈川)補缺衆議院議員に當選す
二月 四日 國民黨所屬代議士肥塚龍外十七名、再び脱黨し合計四十一名に達す
二月 五日 (貴)首相桂太郎、施政方針を演說す○(衆)尾崎行雄、元田肇より内閣不信任決

鹽井雨江歿す

議案を提出し、之を決議せんとするに際し再び五日間の停會を命ぜらる○國民

黨代議士町田忠治外七名脱黨す○中央俱樂部の解散式を行ふ

軍隊教育令公布

二月 六日 軍隊教育令を公布す○福岡縣嘉穂郡二瀬炭坑の瓦斯爆發し、百二名慘死す○濠洲貿易の開拓者兼松房次郎歿す年七十

立憲同志會組織

二月 七日 首相桂太郎の新政黨は立憲同志會と名け宣言書を發表す○長野縣上高井郡米子硫黃鑛山の坑道崩壊し二十七名慘死す

二月 八日 井上勝之助を特命全權大使と爲し、英國に駐劄せしむ○首相桂太郎、外相加藤高明は政友會總裁西園寺公望と會見し、政局の現状に就き平穩解決の諒解を求め、且つ不信任案撤回を懇請す○三浦覺一(大分)補缺衆議院議員に當選す

二月 九日 御召により西園寺公望、參内して御下問に奉答す○政友、國民兩黨聯合大會を東京國技館に開き犬養毅、佐々木安五郎、尾崎行雄等、内閣彈劾の熱辯を揮ふ

○西園寺公望、外相加藤高明と會見して不信任案撤回に關する首相桂太郎の懇請を拒絶す○メキシコに革命騷亂勃發す

二月 十日 (衆)三度三日間の停會を命ぜらる○山本權兵衛は首相桂太郎を訪ひ、辭職を勸告す○遂に桂内閣總辭職に決定す○桂内閣攻撃の輿論囂々として其極に達し、

官僚系新聞社襲撃さる

遂に悲憤激昂せる大群衆は日比谷公園附近に殺到し、官僚派の國民新聞、都新聞、やまと新聞、二六新聞、讀賣新聞各社を襲撃し、更に交番の焼打を開始し死傷者十數名を出す、軍隊出動して之を鎮撫す○志立鐵次郎を日本興業銀行總

桂内閣總辭職

裁と爲す
二月 十一日 内閣總理大臣桂太郎、參内して總辭表を捧呈す○元老會議を開き、山本權兵衛を後繼内閣首班に推薦す○琉球那覇大火あり、約八百戸を焼く○憲法發布記念式大演說會を大阪土佐堀青年會館に開き、激昂せる群衆は官僚各新聞社を襲撃

破毀す○畫家酒井道一歿す年六十九○文學者坂崎紫蘭歿す年六十一鯨海驛侯、陸奥の魁、汗血千里駒、開城始末、南海血潮

二月 十二日 山本權兵衛に後繼内閣組織の大命下る○大阪の騷擾鎮靜す

神戸騷擾

二月 十三日 天皇、陸軍戸山學校に行幸あり○長谷川好道を鐵道會議議長と爲す○倉知鐵吉を貴族院議員と爲す○支那革命黨首領孫文、長崎に來朝す○神戸に於て群衆は

小寺謙吉其他官僚代議士邸及び新聞社を襲撃破壊し騷擾を極む、姫路師團より出動して之を鎮定す

川端玉章歿す

二月 十四日 政友會は政黨内閣主義を捨て山本權兵衛を援助するに決定す○孫文入京す○畫家川端玉章歿す年七十二

二月 十五日 國學者本居豐顯歿す年八十古今集講義、歌集秋屋集、本居雜考、大八洲歌集、醇辭表、進講錄、秋庭舍歌集、打聽翁蛙集

二月 十六日 頭山滿、犬養毅等、東京芝紅葉館に於て孫文歡迎會を開く

京都騷擾

二月 十七日 政友會代議士會に於て後繼内閣組織問題に關する妥協案を決定し之を山本權兵衛に手交す○京都にて立憲青年會大演說會を青年會館に開く、群衆二萬、圓山公園に集合し日出新聞、國民新聞支社を襲撃し又交番九ヶ所を破壊す

第一次山本内閣成る

政友俱樂部成る

二月十八日 政友會代議士會を開き聯立内閣組織に内定し、硬派議員激怒す

二月十九日 山本權兵衛は政友會の妥協案を承認す○(貴)教育調査機關設置建議案を可決す

○國民黨代表關直彦、青地雄太郎は政友會を訪ひて政友國民黨の提携斷絶を通告す○メキシコ大統領マデロ、革命派に捕縛監禁さる

二月二十日 山本權兵衛を内閣總理大臣に、牧野伸顯を外務大臣に、原敬を内務大臣に、高

橋是清を大藏大臣に、松田正久を司法大臣に、奥田義人を文部大臣に、山本達雄を農商務大臣に、元田肇を遞信大臣と爲し、陸軍大臣木越安綱、海軍大臣齋藤實留任す○山之内一次を内閣書記官長に、岡野敬次郎を法制局長官に、床次

竹二郎を鐵道院總裁と爲す○東京神田大火あり、三千七百九十八戸焼失す○法

學博士山田喜之助歿す年五十五英國憲法史、帝國憲法要義、英國私犯法、法學通論、英國會社法、英國商船法、英米代理法、麟氏英國會社法

二月廿一日 水野練太郎を内務次官に、安樂兼道を警視總監と爲す○交通界の先覺者下村房

次郎歿す年五十日本社會輿論並救濟法、交通汎論、修身階梯、濟世言、自家盛衰循環圖說、救濟策、鐵道論、日本鐵道策、教育新論、官吏論、自知即是、家庭用書

二月廿二日 桂太郎に優渥なる勅書を賜はる○元田肇を拓殖局總裁と爲す○首相山本權兵衛

は政友會議員總會に於て政友會の趣旨綱領の尊重を聲明す○田中清文(富山)補缺衆議院議員に當選す○子爵加藤泰令逝去年七十六

二月廿三日 橋本圭三郎を農商務次官に、下岡忠治を樞密院書記官長と爲す○政友會硬派議

員尾崎行雄、岡崎邦輔外二十二名脱會して其理由經過の宣言書を發表し政友俱樂部を組織し國民黨と聯盟す○我が國生命保險の創始者物集女清久歿す年六十

九○僧佐伯旭庵寂す年四十九○メキシコ前大統領マデロ、副大統領シユアレス銃殺さる

二月廿四日 飛行機演習従業者の獎勵的給與規程を公布す○犬塚勝太郎を遞信次官と爲す○

日本印紙の創設者瓜生寅歿す年七十二詰氏材力論、マルコポロ紀行、庶物指教用解説、古史臆説、研究、改正日本國畫、瓜生判官事蹟、交通起源、西洋男女遊戯、測地略、電鐘兩氣論、合衆國政治小學、中外貨幣度量考

二月廿六日 岡喜七郎を警保局長と爲す○褐色火藥の發明者李家政太逝去年五十六○貴族院

議員龜井英三郎歿す年五十一

二月廿七日 中村純九郎を北海道廳長官と爲す○帝國議會を開く○(貴)首相山本權兵衛、施

政方針を演説す

二月廿八日 三島彌太郎を日本銀行總裁と爲す○水野正巳(兵庫)補缺衆議院議員に當選す

三月一日 陸軍中將上原勇作を第三師團長と爲す○農學者鈴木重禮歿す年三十九

三月二日 東京府下日暮里大火あり百九十四戸焼く

三月三日 沼津市大火あり、一千三百三十四戸焼失し死者八名を出す

三月五日 孫文、東京を出發す○結核病研究者柴山五郎作歿す年四十三社會教育肺結核養生法、最近之肺結核療法、日本傳染病小史、免疫學說概要

三月七日 東京先儒墓所保存會へ金一千圓を賜ふ○横濱大火あり、二百三戸を焼く○東京

三月八日 深川大火あり、三百戸を焼く

熊谷直彦歿す

三月八日 男爵伊丹春雄、貴族院議員に當選す○畫家熊谷直彦歿す年八十六○理學者宇田

三月 十日 朝鮮陸接國境關稅を公布す

三月十二日 實業家岩永省一歿す年六十一〇常磐津都太夫歿す年六十一

三月十三日 東京、八千代生命保險株式會社を設立す

三月十四日 高等中學校令延期を公布す〇英國特命全權大使グリーン參内して信任狀を捧呈す

三月十五日 (衆)總豫算案を可決す

三月十六日 憲政擁護閣族打破大會を大阪に開く

三月十七日 軍人傷痕記章條例を公布す〇朝鮮公證令を公布す

三月十九日 希臘皇帝ジョージ一世暗殺さる

三月廿一日 (貴)各派交渉會を開く〇清國革命黨の領袖宋教仁、上海停車場にて刺客に殺害さる

三月廿二日 劇評家幸堂得知歿す年七十一 石獅子、狐の精霊、湯淺正宗、末枯櫻、殘菊、曾我對面、今巴、榮花初夢、さ、きげん、陸奥の長者、紅葉、上方武士、女満仲、誤向色男、都鳥の茶入、女歌舞伎、敵持親道言、人か影、か、電話、酒亂、昔話夢浮橋、憲和田酒盛、女浦島、仙臺會、文ひろげの狂女、底拔葛籠、怖ろしや人鱈

三月廿三日 京都四條大橋成る〇孫文、長崎を出發し歸國す

三月廿四日 (貴)區裁判所廢止案を可決す〇(衆)所得税改正案を可決す〇私立幼稚園の創立者山田千代子歿す年六十三

三月廿五日 防備隊條例、旅順防備隊條例、驅逐艇隊條例、潜水艇隊條例を各制定公布す

防備隊條例
驅逐艇隊條例
潜水艇隊條例公布

幸堂得知歿す

朝鮮公證令公布

三月廿六日 (貴)豫算案全部を可決す〇長野縣知事千葉貞幹歿す年六十二〇バルカン聯合軍

土耳其の舊都アドリアノープルを陥落す

三月廿七日 第三十回帝國議會の閉院式を行ふ

三月廿八日 天皇、千葉縣の陸軍歩兵學校に行幸あり〇日華國民協會の發會式を築地精養軒にて行ふ〇長野縣福島町大火あり、百六戸を焼く〇所澤附近に於て飛行機墜落し陸軍中尉木村鈴四郎 十七年 德田金一 十九年、慘死す、蓋し我國に於ける最初の犠

牲者なり

三月廿九日 鎮守府艦隊條例を制定し、海軍測器庫條例を廢止す〇東京、私立上智大學を設立す

上智大學設立

三月三十日 長崎に於て汽船香取丸の進水式を行ふ

三月卅一日 米國大富豪モルガン逝く年七十七

三月 中 徴兵旅費繰替支辨に關する件を公布さる〇同志會は亦樂會と改稱し國民黨と提携す

同志會亦樂會と改稱

四月 一日 臺灣國稅徵收規則を公布す

四月 二日 海軍大將上村彦之丞に海軍特命檢閱使を仰付らる

四月 三日 米國政府は支那共和國を承認す

四月 四日 天皇、學習院に行幸あり〇東京府下龜戸町に前例なき電氣應用の殺人事件起る

四月 五日 東京、大正生命保險株式會社を創立す

平沼專藏歿す

四月 六日 神奈川縣下、湯ヶ原に大火あり百四戸を焼く○實業家平沼專藏歿す年七十八

四月 七日 裁判所構成法を改正公布す○北京に於て中華民國國會議事堂の開院式を行ふ

四月 八日 所得税法を改正公布す○氣球發明家山田猪三郎歿す年五十

四月 九日 皇子附職員官制を公布す○運河法を公布す○刑事細式手続法を定む

四月 十日 増上寺の起工式を行ふ○東京、千代田火災保險株式會社を設立す○大阪、川北

電氣企業會社を創設す

木村正辭歿す

四月 十一日 區裁判所廢止を公布す○國學者木村正辭歿す年八十五 萬葉集略解補正、萬葉集美夫君志、萬葉集略乙、萬葉集文字辨證、萬葉集訓義辨證、萬葉集字音辨證、萬葉歌百首講義、日本國號放、憲法志料、萬葉集讀例、日本書紀異本、遊仙窟考證、年紀異同考、校訂萬葉集代匠記

四月 十二日 佛國大使ジェラル、參内して大統領親書を捧呈す○日米同志會を組織す

四月 十四日 樺太協會の發會式を行ふ○本願寺改革大會を京都に開く

四月 十五日 陸軍大將大島義昌、載仁親王、大島久直に陸軍特命檢閱使を仰付らる○龜戸電

流殺人犯人山口明、捕へらる○米國カリフォルニア州に排目的外人土地所有禁

止問題起る

四月 十六日 鐵道外債規程を定む

四月 十七日 排日問題に激昂せる三宅雪嶺、關和知等は對米問題國民大會を東京國技館に開

く

四月 十九日 獸醫學者時重初能歿す年五十五

四月 廿一日 區裁判所を廢す○神社統一規定を公布す○海軍大將東郷平八郎に元帥の稱號を

區裁判所を廢す

賜ふ○指紋法の大家亞爾然丁人ゲン・ヅチエテイナ來朝す

四月 廿二日 記者團聯合大會を東京築地精養軒に開き、對米問題を決議す

四月 廿三日 樺太守備隊司令部條例を廢止す

四月 廿四日 朝鮮事業公債三千萬圓を發行す○東京地方裁判所に於て騷擾新聞社襲撃事件の

被告百三十三名の第一回公判を開く

四月 廿五日 日露間郵便爲替交換約定を公布す

四月 廿六日 帝國飛行協會を設置す○大阪、實業同志會の發會式を行ふ

四月 廿七日 支那の借款五千萬圓を日本にて引受くるに決す

四月 廿八日 所得税法施行規則を改正公布す

四月 三十日 奈良大佛殿の修理成る○英國東洋艦隊司令長官海軍中將ジェラム、參内謁見す

五月 二日 宮城通用門を乾門と改稱す

五月 三日 米國カリフォルニア州會議に於て外人土地所有禁止法案を可決す

五月 四日 函館大火あり一千二百四十四戸焼く○飛行家武石浩玻、京都深草練兵場に墜落

し慘死す年三十

五月 五日 鐵道院官制を改正公布す○北海道小樽大火あり四百戸を焼く

五月 六日 監獄制を改正公布す○東京本郷湯島小學校生徒遠足中、江戸川に於て渡船顛覆

し三名溺死す

五月 七日 陸軍次官岡市之助を罷め、本郷房太郎、之に代る○東京市長阪谷芳郎の主唱に

實業同志會設立

函館大火

乃木會創設

て乃木會を創設す

五月 九日 山川健次郎を東京帝國大學總長に、澤柳政太郎を京都帝國大學總長に、眞野文二を九州帝國大學總長に、北條時敬を東北帝國大學總長と爲す○駐米大使珍田捨巳、排日案に對する日本の抗議を正式に米國政府に提出し、該土地法案は日米條約の精神に違反せるを痛論し其反省を促す

五月 十日 中島祐八(群馬)補缺衆議院議員に當選す○貴族院議員秋月新太郎逝去去年七十五
○醫學者水尾源太郎歿す年三十八 眼の暗所調節機能に關する一新知見、眼ベスタの原理

五月十一日 比律賓野球選手十六名來朝す○殿造建築の泰斗伊藤平左衛門歿す年八十五
五月十二日 野村龍太郎を鐵道院副總裁と爲す○長谷川敬一郎(佐賀)補缺衆議院議員に當選す

桐花會設立

五月十四日 箕克彦、上杉愼吉、桐花會の發會式を行ひ忠君愛國の精神發揮を主旨とす○印刷寫眞の先覺者得能通昌逝去去年六十二 歐米巡回紀行 米國巡回紀行

五月十五日 千葉縣袖ヶ浦に於て漁民約三百名、蜆の採取に關して争鬭し數十名の重輕傷者を出す

五月十六日 支那長江一帶、愈々不穩の報あり

五月十七日 日華國民同盟會の發會式を行ふ○支那の風雲急にして南北乖離の兆漸く現はる

五月十八日 官吏伊藤祐敬歿す年六十四

五月十九日 米國政府、日本の抗議に回答す○米國カリフォルニア州知事、土地法案に署名す

海軍行政整理

五月二十日 小川平吉(長野)補缺衆議院議員に當選す
五月廿一日 海軍省の行政整理を發表す

五月廿二日 天皇御不例發表せらる○杉本宗吾(三重)補缺衆議院議員に當選す

五月廿三日 政治家山本幸彦歿す年七十

五月廿四日 彫刻家小倉惣治郎歿す年六十八

五月廿五日 函館大火あり二百七十七戸焼く

五月廿六日 我國最初の人類學者坪井正五郎歿す年五十一 人類學講義、婦人と小兒、人類學講話、人類談、人類學叢書

五月廿七日 スタンホード大學野球選手來朝す

五月廿九日 東京騷擾事件の被告百三十三名の判決言渡を行ふ○支那上海に暴動起る

五月三十日 英國倫敦に於てバルカン同盟國對土耳其其の平和條約の調印成る

五月卅一日 海軍少將和田賢助を中將と爲す

五月 中 東亞氣象臺長會議を東京上野學士院に開く

無線電話の嚆矢

六月 二日 横濱に於て二十五哩沖合を航海中の汽船天洋丸と通話を交換す、無線電話實用の嚆矢なり

六月 四日 駐米大使珍田捨巳、第二次抗議を米國政府に提出す

六月 六日 閑院宮載仁親王を大正博覽會總裁に推戴す○鑑定家泉邦彦歿す年六十八

六月 九日 陸軍中將岡市之助を第三師團長と爲す

法制局設置

教育調査會
官制公布

六月十一日 中野氣球隊に於て軍用氣球の自由飛行を試む○蒙古軍大舉南下し張家口北東に於て支那兵と衝突し之を撃破大勝の報あり

六月十二日 宮尾舜治を拓殖局副總裁と爲す

六月十三日 文部省の實業學務局、圖書局を廢し、宗教局を新設す○遞信省の經理局を廢止す○外務省の取調局、拓殖局を廢止す○司法省の民事、刑事兩局を廢止し、法制局を設置す○郵便貯金局を爲替貯金局と改む○教育調査會官制を公布し、高等教育會議、通俗教育調査會を廢止す○首相山本權兵衛、官邸に都下各新聞社長を招き行政整理結果の大要を發表す○農商務省の工務、商務、兩局を併合して商工局を設置す○東京市會議事堂に於て乃木會の發會式を行ふ○對支問題大會を東京築地精養軒に開く

六月十五日 天皇、平癒御床拂を行はせらる

六月十六日 海軍中將山本安次郎逝去六十五

六月十七日 日墺通商航海條約を公布す○地方稅徵收取扱規則を改定す

六月十八日 天皇、葉山に行幸あり○日伊通商航海條約を公布す○男爵有馬頼多歿す年三十

六月二十日 千葉縣勝浦町に於て房總延長線の開通式を舉行す○實業家松本重太郎歿す年七十

六月廿一日 子爵毛利高範、貴族院議員に當選す

木越陸相辭
職

六月廿二日 山座圓次郎を特命全權公使と爲し、支那に駐劄せしむ○朝鮮の古利金剛山勸法寺炎上す

六月廿三日 我國最初の女醫荻野吟子歿す年六十三

六月廿四日 陸軍大臣木越安綱辭職し、楠瀬幸彦、之に代る○陸軍中將友安治延逝去年六十九

六月廿五日 近藤久敬を宮中顧問官と爲す○隱岐國西郷町大火あり百戸焼く○宣教師澤邊琢磨歿す年八十

六月廿七日 東京電燈會社の日本電燈買収並に桂川電力合併契約は世論の反對激烈の爲め遂に解消さる

六月廿八日 青森縣下に大雨あり被害多し

六月廿九日 日米仲裁條約延長の調印成る

六月三十日 國際無線電信條約を公布す○文部省に教育調査會を設置し、樺山資紀を總裁に奧田義人を副總裁と爲す○所澤飛行場に於て第一回飛行將校卒業式を舉行す○獸醫學者入江濤吉歿す年三十八○勃牙利對セルビア、希臘兩國の第二次バルカン戰役起る

六月 中 文部省督學官任用規定を公布す

六月 中 獨逸議會に於て軍備大擴張案通過す

七月 二日 中華民國特使孫寶琦、李盛鐸來朝す

國際無線電
信條約公布

威仁親王薨

七月 三日 陸軍給與令を改正公布す○陸軍少將松本鼎、山口勝を中將と爲す○セルビア、希臘兩國は勃牙利に對し宣戰を布告す

七月 五日 官幣大社宮崎宮を宮崎神宮と改稱す

七月 六日 光宮宣仁親王に高松宮の稱號を賜ふ○有栖川宮威仁親王薨す年五十二

七月 七日 有栖川宮威仁親王に元帥の稱號を賜ふ○子爵久松定弘逝去年五十七道學之原理、女子高等教育論、子高等教育論、意、警察論

藝術座生る

清國を支那國と改む

七月 八日 文藝協會を解散し藝術座生る

七月 十日 伯爵林董薨す年六十四自治論一冊、彌見經濟論、有栖川二品親王歐米巡遊記、後は昔の記、刑法論綱、馬哈歌傳、火教大意

七月 十一日 淨瑠璃太夫豊竹駒太夫歿す年六十五○ルーマニヤは勃牙利に對し宣戰を布告す

七月 十二日 支那、李烈鈞、遂に九江に兵を擧ぐ

七月 十三日 公文に清國名稱を廢止し、支那國と改む

七月 十四日 支那李烈鈞は袁世凱討伐軍組織の宣言書を發表す

七月 十五日 大阪天王寺公園に於て教育博覽會を開く○支那南京、獨立を宣言し黃興を討袁軍總司令官と爲す

七月 十六日 小學校令を改正公布す○宮中席次を改定す○支那、袁世凱は段芝貴を南方討伐軍總司令官と爲す○英學者久松定憲歿す年六十一

七月 十七日 米國政府は日本の第二次抗議に回答す○國葬を以て故有栖川宮威仁親王を豊島ヶ岡に葬る○支那革命軍は岑春煊を討袁軍大元帥に推す

青山御所

石川光明歿す

伊藤左千夫歿す

七月 十八日 天皇、葉山沖の軍艦筑波に臨幸あり、戰鬪演習を覽給ふ○小野英二郎を日本興業銀行副總裁と爲す○詩人福原周峰歿す年八十七太古山房詩鈔、香草齋詩集

七月 廿一日 皇太后、沼津より還啓あらせらる○青山離宮を青山御所と改稱する○銀行家永見勇吉歿す年四十二○支那孫文は袁世凱排斥を宣言す○土耳其軍はアドリアノールを占領恢復す

七月 廿二日 中華民國留學生大會を東京神田青年會館に開く

七月 廿三日 支那南北兩軍は上海江南機器局にて戰鬪を開始す

七月 廿四日 常磐線高濱驛に於て急行列車衝突して十餘名の重輕傷者を出す○俳優市川九女八歿す年六十九○支那南軍敗退す

七月 廿五日 天皇、皇后、葉山より還幸啓あり

七月 廿六日 陸軍少將佐藤龜太郎歿す年五十五○造船家永田三十郎歿す年八十

七月 廿七日 狂言作者竹柴華七歿す年五十四石川五右衛門、土屋主税、鐘屋五兵衛

七月 廿八日 陸軍中將内藤正明逝去年六十六○女流畫家奥原晴湖歿す年七十六

七月 廿九日 支那、南京革命軍は袁世凱に應じ、忽ち形勢一變し黃興脱走す○彫刻家石川光明歿す年六十五

七月 三十日 赤羽驛構内に於て電車汽車と衝突し重輕傷者八名を出す○ルーマニヤ首都ブカレストに於てバルカン講和談判を開始す○歌人伊藤左千夫歿す年五十野菊の花、分家、合歡木、大雨の前日、深き深謝、簪、老歌聲、新萬葉物語、濱菊、胡蝶子、落穂、守の家、去年、眞面目な妻、奈々子、國炎、慶める、告げびと、春の朝

七月卅一日 淨瑠璃太夫竹本大隅太夫歿す年六十○支那北軍、德安にて南軍の謀に陥り大敗して殆んど全滅す

七月 中 教育家西道仙歿す年七十八集録

七月 中 京都帝國大學總長澤柳政太郎對教授間の紛擾起る

八月 一日 文官任用令を改正公布す○バルカン同盟諸國は勃牙利に對し平和條件を提出す

改正 八月 二日 明治天皇御靈代を皇靈殿に奉還あり

八月 三日 兵庫縣下の名利新清水寺炎上す

八月 四日 南軍唯一の根據地たる廣東に反亂起り、南軍の領袖孫文、岑春煊、陳炯明等、身を措くに地なく遂に海外へ亡命す○書家中林梧竹歿す年八十七

中林梧竹歿す

八月 六日 バルカン諸國の新講和條約成立す

八月 七日 米國特命全權大使ガスリー、參内して信任狀を捧呈す

八月 八日 盛岡開市三百年記念祭を行ふ○支那亡命客孫文等門司に來著す

八月 九日 一條實輝を宮中顧問官と爲す○支那亡命客黃興門司に到著す

八月 十日 天皇、青山御所に行幸あり○ルーマニヤ首都ブレカストに於て勃牙利對セルビヤ、希臘兩國の講和條約の調印成る

八月 十一日 中國興業會社を創立す○支那漢口に於て北軍の帝國軍人西村彦馬少尉凌辱事件起る

八月 十二日 淺間山爆發す

淺間山爆發

八月 十三日 銀行家鈴木知雄歿す年六十

八月 十四日 五年前東京市民を震慄せしめたる二本榎大慘殺事件の犯人荒内鎌太郎捕へらる

○牧田ラク子外二名、始て東北帝國大學に入學す

八月 十六日 陸軍禮式を改定す

八月 十八日 天皇、皇后、日光に行幸啓あらせらる○關東都市聯絡大飛行を行ふ

八月 十九日 和蘭海牙に於て萬國平和會議を開く

八月 二十日 駐米大使珍田捨巳は第三次抗議を米國政府に提出す

八月 廿一日 政友會東北大會を秋田に開く○東京、大正製藥株式會社を設立す

八月 廿二日 陸軍中將中村覺を東京衛戍總督に、内山小二郎を侍從武官長に、藤井茂太を第十二師團長と爲す○陸軍少將青木宣純、星野金吾、柴五郎、大島健一、林太一郎、野口坤之、豊邊新作を中將と爲す

○關東地方大暴風雨あり

八月 廿三日 名古屋市南區稻永新田遊廓の移轉問題に關し大疑獄事件起る

八月 廿七日 駒ヶ嶽に於て登山の長野縣中箕輪村小學校長赤羽長重以下生徒十名遭難凍死し三名行方不明と爲る

○關東地方大暴風雨あり

八月 廿八日 釧路發函館行の急行列車脱線顛覆して即死七名、負傷者四十七名を出す○名古屋大疑獄事件に關し、多額納税議員渡邊甚吉拘引さる

名古屋大疑獄事件に關し、多額納税議員渡邊甚吉拘引さる

八月 廿九日 名古屋大疑獄事件に關し前代議士兼松熙拘引さる

八月 三十日 日本醫學界の恩人獨逸人ベルツ博士逝く年六十五

八月 三十日 海軍少將依仁親王を中將と爲す

名古屋大疑獄事件起る

名古屋大疑獄事件起る

萬國平和會議を開く

名古屋大疑獄事件起る

九月 一日 男爵鍋島幹逝去去年七十○支那南京城内に於て日本國旗侮辱、邦人三名虐殺事件

起る

岡倉天心歿

九月 二日 美術界の先覺者岡倉覺三心天歿す年五十二覺醒せる日本、茶ノ湯、東洋の理想等 ○儒者前田豊山歿す年

八十三○支那北軍遂に南京を陥落す

阿部守太郎

九月 四日 政治家田中正造歿す年七十三○製糖業の功勞者鈴木藤三郎歿す年五十九

刺さる

九月 五日 外務省政務局長阿部守太郎、刺客岡田滿のため遭難重傷す○救貧事業家島貫兵

太夫歿す年四十八

九月 六日 神宮皇學館官制を改定す○阿部守太郎を特命全權公使と爲す、是日逝去去年四十

二

九月 七日 對支同志會發起にて國民大會を日比谷公園に開き、軟弱外交を攻撃し、即時出

對支國民大會を開く

兵を決議す○實業家若尾逸平歿す年九十二

九月 九日 東京牛込筑土町辯護士角田知良方に於て刺客岡田滿自殺す年十八

九月 十日 第二回對支問題國民大會を東京明治座に開く○駐支公使山座圓次郎は支那政府

に對し西村少尉凌辱事件、南京居留民虐殺事件の正式抗議を提出し、下手人所

屬隊長處罰及び支那政府並に責任隊長の謝罪、損害賠償を要求す

九月 十一日 池上四郎を大阪市長と爲す○壯漢小林國三郎、對支問題に激昂し外務省内に於

て切腹す

九月 十二日 阿部守太郎暗殺事件の共犯者眞繼義太郎、宮本千代吉捕へらる○刺繡家長谷川

岩吉歿す年六十四

九月 十三日 東京赤坂新町の舊乃木邸に於て故乃木大將夫妻一週年祭を執行す

九月 十四日 名古屋大疑獄事件に關し、前市長加藤重三郎拘引さる

九月 十五日 天皇、皇后、日光より還幸啓あり○名古屋大疑獄事件に關し、代議士安東敏之

拘引さる○支那政府は日本政府の提出せる要求條件全部を承認する旨を回答す

○政治家坂本則美歿す年六十四日本條約考 實力政策 ○劍客根岸信五郎歿す年七十○日本古

參の宣教師神學博士デーシーグリーン歿す年七十

九月 十六日 畫家望月玉泉歿す年八十

九月 十七日 對支問題大演說會を東京兩國美術俱樂部に開く

九月 十八日 所澤に於て飛行機空中にて發火墜落し武田少尉負傷す○前警保局長古賀廉造外

二名に係る廣東紙幣百萬圓偽造事件の第一回公判を開く

九月 十九日 福井縣武生町大火あり、一千七百戸を焼く

九月 二十日 岡野敬次郎を行政裁判長官に、倉富勇三郎を法制局長官と爲す○西村少尉事件

に對し支那黎元洪は公文を以て陳謝の意を表す

九月 廿二日 東北帝國大學の開校式を行ふ

九月 廿五日 醫師會令を公布す○海軍中將三須宗太郎を大將に、同少將西紳六郎を中將と爲

す○海軍中將八代六郎を舞鶴鎮守府司令長官と爲す

九月 廿六日 栃木縣足尾町大火あり百三戸焼く

醫師會令公

福井大火

柴田流星歿す

九月廿七日

比律賓總督ハリソン來朝す○小説家柴田流星歿す年三十五續性、唯一人、繼母、ちぎれ雲、幼稚園、渡り鳥、三日間、斷

九月廿八日

皇太后、京都に行啓あり○南京邦人虐殺事件の責任者張勳は日本領事館前に抵り正式謝罪を行ふ○錦鷄間祇候中川元歿す年六十三

九月廿九日

米澤高等工業學校を開校す

九月三十日

皇太后、伏見桃山陵に御參拜あらせらる○亞爾然丁答禮使節オルチス參内して信任狀を捧呈す

十月一日

神宮伶人設置を公布す○秋田鑛山専門學校を開校す○横濱勸業共進會の開會式を行ふ○故木戸孝允の勳功表彰勅撰文銅碑を京都靈山に建設す

十月二日

皇太后、泉涌寺東福寺に御參詣あり○棋客八巖崎健造歿す年七十三

十月三日

新潟縣五泉町大火あり六百戸を焼く

十月五日

天皇、皇后、高輪御所に行幸啓あり、活動寫眞を台覽あらせらる○全國佛教徒大會を東京淺草本願寺別院に開く○東京四谷見附の開橋式を行ふ○日支間に於て滿蒙五鐵道(開原、海龍城線の百二十哩、四平街、洮南府線の二百三十哩、洮南府、熱河線の四百五十哩、長春、洮南府線の百五十哩、海龍城、吉林線の百哩)利權獲得の契約成る

十月六日

皇太后、京都より還啓あり○日、英、露、獨、佛以下各國は中華民國を承認す○袁世凱は中華民國第一期大總統に當選し民國の基礎漸く確定す

日支滿蒙鐵道契約

日本實業協會創設

十月七日

日本實業協會を創設し、澁澤榮一を會長に中野武營を副會長と爲す○智利特命全權公使エリボツソ參内して信任狀を捧呈す○中華民國副總統に黎元洪當選す

十月八日

日蘭通商航海條約を公布す

十月九日

大湊要港に於て驅逐艦雷の汽罐爆發し遂に沈没して死傷者十四名を出す

十月十日

對支交渉顛末を發表さる○名古屋大疑獄事件に關し、前愛知縣知事深野一三拘引さる○中華民國大總統袁世凱、北京に於て就任式を行ふ

十月十一日

公爵桂太郎歿す年六十七

十月十二日

俳人大野洒竹歿す年四十二一茶大江丸全集、蕪村曉臺全集、横井小櫛、俳諧史、與謝野蕪村、俳諧珍本集、元祿名家句集、俳諧文庫、山崎宗鑑傳、芭蕉以前俳諧集

十月十三日

皇后、青山御所に行啓あり○政友會北信八州大會を福井に開く

十月十四日

東京地方裁判所に於て廣東紙幣百萬圓偽造事件の古賀廉造に懲役三年、甲山清範、潮田龜五郎に同二年の判決言渡あり

十月十五日

長野縣上田蠶絲専門學校を開校す○政治家影山秀樹歿す年五十七

十月十六日

政治家曲木如長歿す年五十六監獄事業の大體、監獄制度論、巴威里憲法、泰西訓蒙、瓦敦保憲法、各國參議院組織概略

十月十七日

早稻田大學三十年紀念祭を舉行す○富山縣東岩瀨驛に於て汽車、貨物列車と衝突し死者二十四名負傷者九十名を出す

十月十八日

天皇、皇后、東京發輦あり

十月十九日

天皇、皇后、京都に著輦あり

十月二十日

天皇、皇后、共に伏見桃山陵、泉涌寺、東福寺に御親謁あり○新黨聯合大會を

京都行幸

伏見宮邸行幸

東京に開く○鶴見總持寺に於て大梵鐘鑄造式を行ふ
 十月廿一日 全國民市長大會を東京に開く
 十月廿二日 天皇、皇后、京都より還幸啓あらせらる
 十月廿三日 三河の名刹赤岩寺炎上す○墨西哥に再び反亂起り北部革命軍官軍と戦ふ
 十月廿四日 墨西哥假大統領フェルタは宣言書を發表し、米國の内政干渉を拒絶す
 十月廿五日 貴族院議員堀眞五郎逝去去年七十六
 十月廿六日 東京大塚町に免囚保護自立會を開設す○札幌大火あり百三十戸を焼く
 十月廿七日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり○皇后、學習院女學部に行啓あり
 十月廿八日 天皇、皇后、紀尾井町の伏見宮邸に行幸啓あり、能樂を覽給ふ
 十月三十日 朝鮮總督府、府制を公布す
 十月卅一日 天皇、青山練兵場に親臨して觀兵式を行ひ給ふ○上野公園の大正博覽會上棟式を行ふ
 十月 中 國民美術協會を創設す
 十月 中 臺灣新竹廳管内にて支那革命軍に應じ、臺灣の日本人を驅逐して共和國屬領とせんとする陰謀事件發覺して、首領羅福星等二百七十名を檢舉す
 十一月 一日 陸相楠瀬幸彦再び増師案を首相山本權兵衛に提出す○文相奥田義人、官邸に神道家を招待す
 十一月 二日 小笠原流家元小笠原政務歿す年六十八 小學女禮式、新選如禮式、同教授法

日本宗教大會を開く

十一月 三日 文相奥田義人、小石川植物園に佛教各派代表者を招待す
 十一月 四日 皇后より補助金一萬五千圓を愛國婦人會に賜はる○大正火災保險株式會社を設立す○支那袁世凱は武力を以て國民黨を解散せしめ、其首領王正廷、吳景濂を監禁す
 十一月 五日 陸軍召集條例を改正公布す○徳大寺則麿、徳川誠に男爵を授く○日本宗教大會を東京築地精養軒に開催す○新造巡洋艦金剛、英國より横須賀に著港す○外蒙古自治に關する露支兩國協約成る
 十一月 六日 米、墨兩國間の形勢漸く切迫の報あり
 十一月 七日 皇后、日比谷公園に行啓あり、愛國婦人會總會に臨み給ふ
 十一月 八日 天皇、上野公園に行幸あり美術展覽會を覽給ふ○東京市民會の發會式を行ふ
 十一月 九日 子爵渡邊昇逝去去年七十六 豫算出納並決算に關する意見
 十一月 十日 天皇、横須賀に行幸あり御召艦香取に乗御し千葉縣木更津沖に於て大觀艦式を行ひ給ふ○皇后、上野公園に行啓あり、美術展覽會を觀給ふ○元帥伊東祐亨を大勳位に叙し菊花大綬章を授く
 十一月 十一日 天皇、皇后、赤坂離宮に行幸啓あり、觀菊御宴に臨み給ふ○文部大臣奥田義人に臨時司法大臣を兼しむ
 十一月 十二日 天皇、東京發輦、名古屋に行幸あり○東京府下駒澤村の曹洞宗大學落成す○墨西哥大統領フェルタは米國の最後通牒を拒絶す

名古屋行幸

十一月十三日 天皇、八事山に行幸あり、特別大演習を御統監あらせらる○來る十二月二十四日を以て帝國議會召集の詔書下る○千葉縣安房郡布良村大火あり百三十三戸を焼く

夜間飛行を行ふ

十一月十五日 天皇御服制式を發布さる○朝鮮醫師規則を公布す○濃尾特別大演地に於て阪元中尉は我國最初の夜間飛行を行ふ

十一月十六日 皇后、新宿御苑に行啓あり

十一月十七日 天皇、名古屋城外練兵場に臨み、大觀兵式を行ひ給ふ○勤王家故千秋親昌以下十三名に贈位あり○中野武營等、主唱して大日本國防義會を組織す○前愛知縣知事深野一三等に係る名古屋大疑獄事件の豫審終結す○實業家弘世助三郎歿す年七十一

大日本國防義會を設く

十一月十八日 天皇、名古屋より還幸あり○子爵堤功長逝去去年六十九

十一月二十日 天皇、青山御所に行幸あり○米、墨關係危殆に頻せるを以て、居留民保護の爲め軍艦出雲、横須賀を抜錨して墨西哥に赴く

十一月廿一日 青森縣三戸郡五戸村大火あり、百六十八戸焼く

徳川慶喜薨す

十一月廿二日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり、○大禮使官制を公布し、伏見宮貞愛親王を總裁に、原敬を長官と爲す○公爵徳川慶喜薨す年七十七

十一月廿五日 全國、家禽共進會を東京に開く○栃木縣足尾町大火あり百十九戸を焼く

十一月廿六日 天皇、陸軍大學校に行幸あり

十一月廿八日 運河法施行規則を定む

十一月廿九日 朝鮮總督寺内正毅歸京す

十一月 中 東京蓄音器會社を設立す

十二月 一日 海軍少將有馬良橋、山屋他人、財部彪、武田秀雄を中將と爲す○海軍大將出羽重遠を軍事參議官に、海軍中將加藤友三郎を第一艦隊司令長官に、加藤定吉を第二艦隊司令長官に、松本和を吳鎮守府司令長官と爲す○長崎に於て軍艦霧島の進水式を行ふ○獸醫學者今井吉平歿す年四十六

十二月 二日 皇后、青山御所に行啓あり○閣議に於て増師案を豫算に計上せざる事に決定す

○貴族院議員三上近六逝去去年七十五

十二月 三日 高津仲次郎(群馬) 補缺衆議院議員に當選す○海軍少將渡邊忻三歿す年七十三

十二月 四日 皇太后、沼津に行啓あり○臺灣苗栗臨時法院に於て陰謀事件の判決言渡あり、死刑六名、有期懲役百三十一名に達す○伯爵後藤猛太郎逝去去年五十一

十二月 六日 世界週遊米國大野球團來朝す

十二月 七日 子爵籾篤鷹、貴族院議員に當選す

十二月 十一日 私立京都法政大學を立命館大學と改稱す○實業家濱口吉右衛門歿す年五十三

十二月 十四日 神戸に於て巡洋艦榛名の進水式を行ふ

十二月 十五日 東京附近に大地震あり○埼玉師範學校燒失す

十二月 十六日 陸軍中將東條英教歿す年五十九○俳人花の本花翁歿す年七十三

立命館大學設立

十二月十七日 子爵毛利元忠逝去年五十
 十二月十八日 竹内栖鳳、塚田秀鏡を帝室技藝員と爲す
 十二月十九日 野村龍太郎を南滿洲鐵道株式會社總裁に伊藤大八を副總裁と爲す○政友俱樂部亦樂會は合流して亦政會を組織す○大阪回生病院燒失す

亦政會成る

十二月二十日 中央生命保險相互會社を設立す
 十二月廿一日 明治天皇奉祀に關する調査會官制を公布す○墨西哥答禮大使デ・ラ・バラ、下關に來朝す○銀行家小坂善之助歿す年六十一

十二月廿二日

奧保鞏外八名に明治神宮奉祀調査委員を仰付らる○馬場三郎、桂潜太郎を宮中顧問官と爲す○古川阪次郎を鐵道院副總裁と爲す○墨西哥答禮大使バラ入京す

○男爵船越衛菴藝澤維新小説年七十四

十二月廿三日

佛國特命全權大使ルニヨール參内して信任狀を捧呈す○立憲同志會の結黨式を行ひ加藤高明を總理と爲す○東京、仁壽生命保險會社燒失す

十二月廿四日

第卅一回帝國議會を召集す○舞鶴海軍工廠の大船渠入水式を行ふ○尾崎行雄等上野精養軒に於て亦政會の發會式を行ひ中正會と改稱す

十二月廿五日

墨西哥答禮大使バラ參内して國書を捧呈す○徳川家達を恩賜財團濟生會長に、菊池大麓を震災豫防調査會會長と爲す

十一月廿六日

天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○日比谷公園に於て墨西哥大使バラ國民大歡迎會を開く○釧路幣舞町大火あり二百八十六戸燒く○前愛知縣知事

立憲同志會結黨式

亦政會を中正會と改む

深野一三外五名に係る名古屋大疑獄事件の判決言渡あり○熊谷直太(山形)補缺衆議院議員に當選す

十二月廿七日

二條基弘は貴族院全院委員長に、菅原傳は衆議院全院委員長に當選す

十二月廿八日

吉原三郎を東洋拓殖會社總裁に、野田卯太郎を副總裁と爲す

十二月三十日

墨西哥答禮大使バラ退京す

大正三年

甲寅 皇紀二五七四年 西曆一九一四年

正月 一日

陸軍軍醫總監小池正直逝去年六十一○報徳社長岡田良一郎歿す年七十七報徳富國論

正月 四日

俳優尾上蟹十郎歿す年七十六

正月 五日

憲政擁護會に於て減稅問題に關する態度を宣明す○駿河灣内に於て汽船愛鷹丸強風の爲め顛覆沈没して乗客百七名溺死す

正月 六日

外務省より張勳處分問題並に損害賠償(六十四萬餘弗)に對する日支兩國の交渉顛末を發表す○墨西哥答禮大使バラ、下關より歸國す○横濱取引所の發會式を行ふ○東京品川大火あり百一十戸燒く○實業家朝田又七歿す年七十七○小説

正月 七日

山形縣月山神社、滋賀縣多賀神社、熊本縣阿蘇神社を官幣大社に、岡山縣吉備津神社を國幣大社に、愛知縣眞清田神社を國幣中社と爲す○間島に朝鮮人の暴動起る

三宅青軒歿す

愛鷹丸沈没

櫻島大噴火

正月 八日 侯爵菊亭公長、貴族院議員と爲る○間島の鮮人暴動鎮靜す
正月 九日 御料地貸付規程を定む
正月 十日 支那南京に出動せる我が海軍陸戦隊全部引揚ぐ
正月 十一日 栃木縣足尾町大火あり百二十九戸を焼く
正月 十二日 櫻島大噴火あり、島内の横山、赤水兩村火災の爲め全滅し死者三十五名、負傷者百十二名を出す

正月 十三日

正月 十四日

正月 十五日

正月 十六日

正月 十七日

正月 十八日

正月 十九日

正月 二十日

正月 二十一日

正月 二十二日

正月 二十三日

正月 二十四日

正月 二十五日

正月 二十六日

正月 二十七日

正月 二十八日

正月 二十九日

正月 三十日

正月 三十一日

二月 一日

二月 二日

二月 三日

二月 四日

二月 五日

二月 六日

二月 七日

二月 八日

二月 九日

二月 十日

二月 十一日

二月 十二日

二月 十三日

二月 十四日

二月 十五日

二月 十六日

二月 十七日

二月 十八日

二月 十九日

二月 二十日

二月 二十一日

二月 二十二日

二月 二十三日

二月 二十四日

伊東祐亨薨
ず

松田正久に
授爵

正月 八日 侯爵菊亭公長、貴族院議員と爲る○間島の鮮人暴動鎮靜す
正月 九日 御料地貸付規程を定む
正月 十日 支那南京に出動せる我が海軍陸戦隊全部引揚ぐ
正月 十一日 栃木縣足尾町大火あり百二十九戸を焼く
正月 十二日 櫻島大噴火あり、島内の横山、赤水兩村火災の爲め全滅し死者三十五名、負傷者百十二名を出す
正月 十三日 東北凶作救済會發起人會を帝國ホテルに開き、松方正義を總裁に、澁澤榮一を副總裁と爲す○東京府下南千住、三輪大火あり、百十四戸を焼く
正月 十四日 櫻島再び爆發す○東北凶作救済會を東北九州災害救済會と改稱す○憲政擁護會の主催に係る悪税廢止第一回有志大會を東京築地精養軒に開く○京都帝國大學總長澤柳政太郎不信任事件に關し、教授十七名遂に總辭表を提出す
正月 十五日 大禮事務局を京都に設置す○元帥海軍大將伊東祐亨薨す年七十二
正月 十七日 天皇、宮中に於て大禮期日御奉告の儀を行はせ給ふ○勅使九條道實を伊勢神宮へ、河緒公篤を神武天皇山陵へ、園池實康を明治天皇、孝明天皇、仁孝天皇、光格天皇各山陵に差遣さる○政友會聯合大會を京橋松本樓に開く○落語家蝶花樓馬樂歿す年五十一
正月 十八日 宮中歌御會始めを行はせらる、勅題「社頭杉」なり○神宮山陵に於て即位禮、大嘗祭期日奉告の奉幣式を行ふ○松田正久に男爵を授く○政友會大會を開き、

豫戒令廢止

シーメンス
事件起る

神宮祭祀令
公布

正月 廿一日 對議會方針を決定す○國民黨大會を開き、宣言書を發表す
豫戒令を廢止す○(衆) 外相牧野伸顯は支那共和國承認問題、兗州漢口事件、南京事件、墨國に軍艦派遣等の經過を報告す
正月 廿二日 東北九州災害救済會に救恤金拾五萬圓を賜ふ○シーメンス商會社員リヒテルが日本海軍の注文に關する重要書類を竊取して脅喝取財の資に供したる被告事件を獨逸伯林法廷に開き、同商會對日本海軍當局の贈收賄關係を陳述せる旨の電報あり
正月 廿三日 陸軍服裝規則を改定す○(衆) 島田三郎、始めてシーメンス事件を海相齋藤實に質問し議場爲めに大波瀾を生ず
正月 廿四日 愛媛縣野忽那島燈臺成る○久しく紛擾を極めて世人の耳目を聳動せしめたる京都帝國大學問題は總長及び教授十七名、辭表を撤回して解決す
正月 廿五日 廢稅第一回大演說會を東京明治座に開く
正月 廿六日 神宮祭祀令を公布す○(衆) 島田三郎、再びシーメンス事件を外相牧野伸顯に質問す○對支聯合會大演說會を開き、外相牧野伸顯が議會に於て發表せる外交方針の原文を米國政府に提示したるは、帝國の主權を侵害し獨立の體面を傷けたる一大國辱なりと決議す
正月 廿七日 能登七尾灣口燈臺成る
正月 廿九日 海軍省内にシーメンス・シュツケルト會社事件に關する收賄問題查問委員會を

設置し、海軍大將出羽重遠を委員長に、海軍中將吉松茂太郎外十名を委員と爲す○シームンス事件に關する疑問の中心人物ロイテル通信記者アンドレープーレー、警視廳に召喚さる

正月三十日

シームンス・シュツケルト日本支店長ヘルマン及びプーレー、東京監獄に收容さる○公爵三條公美薨す年四十二○社會事業家石井十次歿す年五十

正月卅一日

天皇、陸軍戸山學校に行幸あり○海軍旗章令、海軍禮砲令を各公布す○福島縣那摩郡沼尻硫黃礦山に於て坑道崩落し坑夫十三名慘死す○實業家廣瀬宰平歿す年八十七

二月一日

常陸磯濱港突堤燈臺成る○シームンス事件に關する現内閣彈劾大演說會を東京本郷座に開く

二月二日

横濱、大安生命保險株式會立を設立す

二月三日

青年保守黨主催大演說會を東京神田青年會館に開き、海軍大佐太田三次郎、登壇して海軍部内の腐敗墮落を暴露し、輿論益々沸騰す○海軍造兵總監大館源太郎歿す年四十四

二月五日

憲政擁護會大會を東京築地精養軒に開き薩閔根絶、海軍廓清を決議す○東京築地シームンス日本支店の家宅搜索を行ふ○帝都青年大會を青年會館に開き、頭山滿、三宅雪嶺、尾崎行雄、政府彈劾演說を行ふ

二月六日

各派聯合全國有志大會を東京國技館に開き海軍主計大監片桐酉次郎、登壇して

憲政擁護會を開く

海軍部内腐敗の實情を暴露し、島田三郎、尾崎行雄、關直彦、又演說し現内閣彈劾を決議す

二月七日

國民黨、同志會、中正會より現内閣彈劾案を衆議院に提出す

二月八日

西英太郎(佐賀)補缺衆議院議員に當選す

二月九日

シームンス事件に關し海軍大佐澤崎寬猛、拘禁せらる○海軍廓清會大演說會を東京國技館に開く○藥學博士高橋秀松歿す年六十一

二月十日

海難救助議定書を公布す○(衆)内閣彈劾案を否決さる○國民大會を日比谷公園に開き、激昂せる群衆は衆議院に押寄せ遂に其鐵門を破つて侵入し警官と衝突す、軍隊出動して之を鎮撫す

二月十一日

大阪市民大會を天王子公園に開き、營業稅全廢を決議す

二月十二日

海軍禮式令を公布す○(衆)豫算案討議に於て議場大混亂に陥る○警視廳は騷擾事件の大檢舉を開始し、四百三十五名に達す○西本願寺大疑獄事件起り、前執行後藤環爾、本多惠隆等京都監獄に收容さる

二月十四日

(衆)營業稅法の討議にて、再び議場大混亂に陥る○廢稅問題國民大會を日比谷に開く

二月十五日

シームンス事件に關し海軍少將藤井光五郎、拘禁さる

二月十六日

シームンス事件發表さる○海軍少將藤井光五郎、同大佐澤崎寬猛を軍法會議に附す○海軍部内の醜情を摘發暴露したる海軍大佐太田三次郎の位階勳等を剝奪

シームンス事件發表

海軍禮式令公布

國民大會を開く

青木周藏薨
ず

し、懲戒免官と爲す○子爵青木周藏薨す年七十一○電氣工學者中野初子歿す年五十六

二月十七日

(衆) 通行、石油消費、織物消費各税法廢止案を否決す○シーメンス事件の藤井光五郎少將を免職す○兵庫、有馬鐵道株式會社を設立す

二月十八日

シーメンス事件に關し海軍中將松本和、村上格一の家宅搜索を行ふ、輿論益々囂々たり○漢學者岡鹿門歿す年八十二佛蘭西志、琉球始末、修史餘事、覺雪事業、藏名山房雜著、觀光紀遊、硯齋詩鈔、米利堅志、尊攘紀事、同補遺、訥耳

遊傳、遊乘抄本、在隨記三十卷

二月十九日

海軍中將武田秀雄の家宅搜索を行ふ

二月二十日

災害地地租免除法を公布す

二月廿一日

豊後安岐崎燈臺成る○雅樂家東儀季熙歿す年八十三

二月廿二日

元海軍大佐太田三次郎の國民的慰藉大演說會を東京國技館に開く

二月廿三日

御大典の爲め京都御所建春門内に建設中の賢所立柱式を舉行す

二月廿四日

高輪御殿を東宮御所と改稱さる○國民黨より巡查双傷事件に對する内相原敬問責案を衆議院に提出す

二月廿五日

軍艦進水規則を定む

二月廿六日

(衆) 内相原敬問責案を否決す

二月廿七日

海軍服裝令を公布す○海軍部内廊清を主唱したる海軍主計大監片桐酉次郎を免官處分と爲し、官位勲等を褫奪す

海軍服裝令
公布

鳥山啓歿す

二月廿八日

醫學者藤谷功彦歿す年三十九

二月 中

歌人鳥山啓歿す年七十八翁理早合點、天然地理學、長庚舎歌文傳、西洋雜記、更科日記新編、たづの屋文集、動物圖彙、木水魚譜、植物圖彙、初學入門、翁理問答、變異辨

二月 中

米國石油會社は支那政府と陝西省の支那石油採掘契約成る

三月 一日

僧澤田秀元寂す年五十一

三月 二日

橋本辰二郎を貴族院議員と爲す○中華民國公使陸宗輿入京す○所澤、高崎間往復の關東平野橫斷大飛行を行ふ

三月 三日

東京、高砂生命保險株式會社を設立す○寫眞術の鼻祖下岡蓮杖歿す年九十二

三月 四日

海軍刷新會成る○全國記者聯合會總代黒岩周六等、宮内省に出頭して内閣彈劾請願書を提出す

三月 五日

司法大臣松田正久薨す年七十佛國政治論、憲法職務提要、布氏道德學

三月 六日

文部大臣奥田義人を司法大臣に、大岡育造を文部大臣と爲す○全國記者聯合會主催の内閣彈劾大演說會を東京神田青年會館に開く

三月 七日

櫻島罹災者に救恤金一萬五千圓を賜ふ○長谷場純孝を衆議院議長と爲す○能樂家梅若薰歿す年七十七

三月 八日

第二回内閣彈劾大演說會を東京歌舞伎座に開く○東京、天然色活動寫眞株式會社を創立す○三絃家岡安喜三郎歿す年三十九

三月 九日

支那特命全權公使陸宗輿、參内して信任狀を捧呈す

三月 十日

國文學者佐村八郎歿す年五十圖書解題、明治聖勅集、漢書解題集成

三月 十日

國文學者佐村八郎歿す年五十圖書解題、明治聖勅集、漢書解題集成

三月 十日

國文學者佐村八郎歿す年五十圖書解題、明治聖勅集、漢書解題集成

三月 十日

國文學者佐村八郎歿す年五十圖書解題、明治聖勅集、漢書解題集成

三月 十日

國文學者佐村八郎歿す年五十圖書解題、明治聖勅集、漢書解題集成

三月 十日

國文學者佐村八郎歿す年五十圖書解題、明治聖勅集、漢書解題集成

大禮豫算案
可決

三月十一日 男爵福原俊丸、貴族院議員に當選す

三月十二日 (衆) 大禮豫算案を可決す○(貴) 村田保、登壇し激烈なる言辭を以て、山本首相は政友會の奴隸なり、畜生なり、國賊なり、などと其罪惡を痛罵して引責辭職を勸告し、直ちに議員の辭表を提出す○シーメンス事件に關し三井物産會社重役岩原謙三拘引さる

三月十三日 (貴) 大禮豫算案(五百三十萬圓)を可決す

三月十四日 旅順要港部條例を制定す○シーメンス事件に關し海軍造船總監松尾鶴太郎を拘引す

秋田大地震
長谷場純孝
逝去

三月十五日 豫算に關し首相山本權兵衛は貴族院議長徳川家達、議員會我祐準、有地品之允等を招き妥協を求む○内閣彌劾大演說會を再び東京國技館に開く○秋田地方に大地震あり、家屋倒潰六百二戸、壓死九十四名に達す○衆議院議長長谷場純孝逝去年六十一歐米歴遊日誌、西郷南洲○立行司式守伊之助歿す年六十五

三月十六日 東京御學問所職員制を定む

三月十七日 奧繁三郎を衆議院議長と爲す○シーメンス事件の贈賄嫌疑者吉田收吉、東京監獄にて縊死す○小説家平出修歿す年三十七畜生道、逆徒、絶交、未亡人、二黒の巳、赤い月、未定稿、癩痕、夜鳥、金策、草市の夜、葵、鹽ばな、醫者の

三月十九日 東京驛の新築成る○豫算に關する貴衆兩院協議會不調に終る

三月二十日 東京上野公園に於て大正博覽會の開場式を舉行す○土佐國足摺崎燈臺成る○海

大正博覽會
を開く

軍大將出羽重遠に海軍特命檢閲使を仰付らる○(貴)相續稅改正案、營業案を可決す

三月廿一日 シーメンス事件のブルー保釋出獄す

湖南線開通
式

三月廿二日 全國聯合記者大會を東京築地精養軒に開き内閣彈劾を決議す○木浦停車場に於て湖南線鐵道の開通式を行ふ

三月廿三日 國民黨、同志會、中正會の所屬議員連署して内閣彈劾上奏案を衆議院に提出す

○(衆)航路補助案を可決す○(貴)飽く迄削減案を固執して豫算案遂に不成立に終るや、三日間の停會を命ぜらる○陸軍中將飯田俊助逝去年六十九

三月廿四日 内閣總理大臣山本權兵衛、參内して總辭表を捧呈す○政治家横堀三子歿す年六十三

山本内閣總
辭職

三月廿五日 海軍工機學校を海軍機關學校に合併す○海軍中將藤井較一を佐世保鎮守府司令長官に、島村速雄を教育本部長に、吉松茂太郎を吳鎮守府司令長官に、山下源太郎を軍令部次長と爲す

三月廿六日 輸出入植物取締法を公布す○政局收拾のため元老會議を開く○議會開始以來廿五年間勤續せる犬養毅、尾崎行雄、河野廣中、島田三郎、元田肇、井上角五郎の表彰式を行ふ○宮本千代吉等に係る阿部守太郎暗殺事件の公判を開く

三月廿七日 皇太后御不例發表さる○國有林野事業規程を定む○雅樂練習所職制を定む○第二回元老會議を開く、何等決する所なし○記者聯合會主催の時局問題大演說會

輸出入植物
取締法公布

扶桑進水式

を東京國技館に開く

三月廿八日 第三回元老會議を開く○吳に於て戰艦扶桑の進水式を舉行す

三月廿九日 徳川家達を召し後繼内閣の内命下る

三月三十日 徳川家達、参内して後繼内閣組織の内命を拜辭す○政友會は超然内閣反對を決議す○シーメンス事件に關し海軍中將松本和を海軍省に拘禁す

賣藥法公布

三月卅一日 皇后、學習院女學部に行啓あり○賣藥法、寄留法、船舶積量測定法を各公布す肺結核療養所の設置を公布す○朝鮮民留民團制を撤廢す○清浦奎吾を召し後繼内閣組織の大命下る

三月中 府縣郡に於て圖書館設立の爲め、基本財産積立法を制定す

三月中 北日本汽船會社を設立す

旅順鎮守府を廢す

四月一日 東郷平八郎を東宮御學問所總裁に、波多野敬直を副總裁に、小笠原長生を幹事と爲す○旅順鎮守府を廢止す○福岡縣若松町に市制を施行す○牧野伸顯、倉富勇三郎、山之内一次、岡喜七郎、勝田主計、磯部四郎を貴族院議員と爲す

四月二日 天皇、學習院に行幸あり○宮内大臣渡邊千秋、辭表を捧呈す○超然内閣反對大演說會を東京神田青年會館に開く○中華民國觀光團三十九名、入京す

四月三日 清浦奎吾の内閣組織運動は閣員略々決定せるも、尙ほ陸海軍兩相に就きて行き悩む

四月四日 陸軍大將載仁親王、川村景明に陸軍特命檢閱使を仰付らる

四月六日 清浦奎吾の後繼内閣組織は、海軍中將加藤友三郎の海相就任交渉の辭退に依り局面急轉、遂に大命拜辭の已むなきに至る○貴族院書記官長太田峰三郎逝去年五十四

函館大火

四月八日 再び元老會議を開く○函館大火あり、七百七十一戸を焼く○在京支那革命黨員は東京築地精養軒に於て中華革命黨の成立式を擧げ、孫文を總裁に推戴す○海軍中將鹿野勇之進逝去年六十二

四月九日 皇太后、御危篤に陥らせ給ふ○天皇、皇后、遽かに沼津に行幸啓あり、皇太后を御見舞あらせらる○波多野敬直を宮内大臣と爲す○好古家西澤仙湖歿す年五十一

煙草及煙管考、人形雜考、雙六考、仙湖漫錄、平賀源内傳、仙湖遺稿

四月十日 皇太后、沼津より還啓あらせらる○元老會議を開き、大隈重信を後繼内閣首班に推薦するに決す

昭憲皇太后崩御

四月十一日 皇太后一條美子崩御年六十五○大喪使官制を公布し、載仁親王を總裁に、波多野敬直を長官に、山之内一次、河村金五郎を次官と爲す○一條實輝を大喪使祭官長と爲す○大禮使官制を廢止さる○大關駒ヶ嶽國力歿す年三十五

四月十三日 大隈重信を召し後繼内閣組織の大命下る○柳田國男を貴族院書記官長と爲す○飛行家幾原知重歿す年二十七

四月十四日 昨年七月の昌黍日支兩兵衝突事件は支那側より弔慰金三萬六千弗を支拂ひて解決す

四月十五日 裁判所構成法を改正公布す○末松謙澄を大正博覽會審査總長と爲す○私立眞言宗聯合京都大學を私立眞言宗聯合大學と改稱す○船場銀行事件に關し代議士岩崎安次郎、拘引收監さる

四月十六日 大隈重信を内閣總理大臣兼内務大臣に、加藤高明を外務大臣に、若槻禮次郎を大藏大臣に、岡市之助を陸軍大臣に、八代六郎を海軍大臣に、尾崎行雄を司法大臣に、一木喜徳郎を文部大臣に、大浦兼武を農商務大臣に、武富時敏を逓信大臣と爲す○仙石貢を鐵道院總裁に、江木翼を内閣書記官長に、伊澤多喜男を警視總監に、下岡忠治を内務次官に、濱口雄幸を大藏次官と爲す○床次竹二郎(鹿兒島)補缺衆議院議員に當選す

四月十七日 來る五月四日を以て帝國議會召集の詔書下る○鈴木貫太郎を海軍次官に、大島健一を陸軍次官に、鈴木喜三郎を司法次官に、上山滿之進を農商務次官に、中谷弘吉を逓信次官と爲す○陸軍中將仙波太郎を第三師團長に、本郷房太郎を第十七師團長に、明石元次郎を參謀次長と爲す○海軍中將坂本一を舞鶴鎮守府司令長官と爲す

四月十八日 有松英義を樞密院書記官長と爲す○茨城縣平磯町の漁船は鹿島郡諏訪村沖に於て暴風の爲め遭難し、百五十五名、行方不明となる

四月十九日 米、墨兩國再び國交斷絶す

四月二十日 南部光臣を帝室林野管理局長官と爲す○東京にベスト發生す

四月廿一日 皇太后御陵所は京都府紀伊郡堀内村大字堀内古城山に御治定あり○西久保弘道を北海道廳長官に、久保田政周を東京府知事と爲す

岩手大火事

四月廿二日 陸軍大將淺田信興、海軍大將伊集院五郎を軍事參議官に、陸軍中將上原勇作を教育總監に、海軍中將島村速雄を海軍軍令部長と爲す○東京日本女子大學大講堂燒失す○岩手縣氣仙郡に大火事起り、山林約八百町歩、民家百七十九戸を燒く○米、墨兩軍は開戦し、米國艦隊、墨國ベラクルズを占領す

四月廿三日 大山巖を内大臣と爲す

四月廿四日 濱尾新を東宮太夫に、入江爲守を東宮侍從長と爲す○東京、博濟生命保險株式會社を設立す

四月廿五日 シーメンス事件の豫審決定してヘルマン、プーレー以下有罪と決し公判に移さる○子爵佐竹義理薨ず年五十七

海軍制度調査委員會設置

四月廿六日 海軍制度調査委員會を設置す○所澤に於て重松翠中尉、飛行機墜落して慘死す

年二十七○南米ブラジル、亞爾然丁、智利、三國は米、墨兩國に對し仲裁調停を提議す

寶塚少女歌劇興る

四月廿八日 缺衆議院議員に當選す○米、墨兩國は南米三國の仲裁調停を承諾す
四月三十日 第一次地方長官の大更迭を行ふ○京都帝國大學總長澤柳政太郎罷む
四月 中 始めて寶塚少女歌劇を公演す

五月 一日 桑港臨時博覽會事務局官制を公布す○横田國臣を大審院長に平沼騏一郎を檢事
總長と爲す○支那新約法を公布す

五月 二日 臺灣傳染病豫防令を公布す

五月 三日 阪口拙三(岐阜)補缺衆議院議員に當選す

東宮御學問所開始

五月 四日 東宮裕仁親王、御學問所開始式を行はせらる○第三十二回帝國議會を召集す○首相大隈重信、犬養毅に入閣を勧め拒絶せらる○政友會、國民黨の合同問題起る

臨時議會を開く

五月 五日 帝國議會の開院式を行ふ○大浦兼武を桑港臨時博覽會總裁に、瓜生外吉を副總裁と爲す

五月 六日 貴、衆兩院共に大喪費豫算案(百二十三萬三千八百八十四圓)を滿場一致可決す

○加藤弘之を教育調査會總裁に、一木喜徳郎を副總裁と爲す○北海道美國町大火あり百五十戸焼く

五月 七日 國民黨代議士會を開き政友會合同反對に決定す○澤崎寛猛大佐等に係る海軍收附問題の東京軍法會議第一回公判を開く

日月異變あり

五月 八日 臨時帝國議會の閉院式を行ふ○太陽及び月、赤黄色に變ず○海軍中將松本和に係るシーメンス事件の特設高等軍法會議を開く

五月 九日 皇太后に昭憲皇太后と御追諡あり○來る六月二十日を以て帝國議會召集の詔書下る○國民黨所屬議員の本願寺一派高木正年外六名脱黨して、進歩俱樂部を組織す○阿部守太郎暗殺事件の宮本千代吉、岩田愛之助に無期懲役の判決言渡あり

五月 十日 支那袁世凱、自ら大元帥と爲り、顧昌を侍從武官長に任じ、帝王の形式を備ふ

○子爵大久保忠順歿す年五十八

山本權兵衛等を豫備に編入

五月 十一日 太陽及び月の赤黄色復舊す○敦賀港突堤燈臺、同兒屋川燈臺成る○陸軍少將重見熊雄、宇都宮太郎、由比光衛、小原傳、阿部貞太郎、足立愛藏、島川文八郎大井成元、齋藤力三郎を中將と爲す○陸軍中將柴五郎を第十二師團長に、大井成元を第八師團長に、宇都宮太郎を第七師團長に、重見熊雄を下關要塞司令官に、足立愛藏を東京灣要塞司令官と爲す○海軍大將山本權兵衛、齋藤實を突然豫備に編入し、同中將財部彪に免職待命を仰付らる○北見國野付牛大火あり、二百七十二戸を焼く

五月 十二日 關東州土地調査令を公布す○海軍建築部官制を改正公布す○西本願寺疑獄事件に關し法主大谷光瑞辭職す

五月 十三日 桑港臨時博覽會事務局分科規程を定む○男爵米田虎雄に子爵を授く

大谷光瑞退
隠

五月十四日 西本願寺法主大谷光瑞の退隠を認可す○英國は支那政府に對し四川省の石油採掘權を要求す

五月十五日 植物検査所官制を公布す○地方長官會議を開く

五月十六日 伊豆、大島三原山噴火す○鹿島灘に於て漁船遭難し、二百名行方不明と爲る

五月十八日 熱田驛に於て急行列車脱線顛覆し、即死一名、重輕傷者十名を出す○樺部荒熊等九十七名に係る對支問題騷擾事件の第一回公判を開く

五月十九日 淺間山大噴火あり○選舉違反にて代議士原眞澄拘引さる○畫家山岡米華歿す年

山岡米華歿
す

四月十七

五月二十日 片岡酉次郎(東京)補缺衆議院議員に當選す○亞爾坡尼に叛亂起る

五月廿二日 朝鮮總督府農工銀行令を公布す○閣議に於て各省に政務次官設置の件を可決す

五月廿三日 國學者杉浦重剛を東宮御學問所御用掛と爲し、帝王倫理の御進講を仰付らる

五月廿四日 東京代々木葬場殿に於て昭憲皇太后の御大葬を行はせらる

五月廿五日 昭憲皇太后を伏見桃山に葬り給ふ○恩赦減刑を公布す○慈惠救濟資金として内帑金六十萬圓下賜せらる○福田狂二等、日本労働黨を組織す

恩赦減刑公
布

五月廿六日 昭憲皇太后御陵名を伏見桃山東陵と治定あり○英國下院に於て愛爾自治法案を可決す

五月廿七日 日米仲裁裁判條約延長協約を公布す○鹿兒島市大火あり二百六十四戸焼く

五月廿八日 シーメンス事件の判決言渡あり、海軍中將松本和を懲役三年(追徴金四十萬九

シーメンス
事件判決

山座圓次郎
逝く

千八百圓)に、大佐澤崎寛猛を懲役一年(追徴金一萬一千五百圓)に處し、海軍造兵中監鈴木周三を無罪と爲す○北海道壽都町大火あり五百四十九戸焼く○駐支特命全權公使山座圓次郎逝去年四十九○伊太利、遂にアルパニヤと開戦す

五月廿九日 ○俳人渡邊菱文歿す年七十四 俳諧新題林、同正式鑑、梅香集、同手ほどき海軍少將黒井悌次郎、野間口兼雄、枋内曾次郎を中將と爲す○海軍中將伊地知季珍を横須賀鎮守府司令長官と爲す○中央線初狩驛に於て列車顛覆し、即死一名、重輕傷者十八名を出す○米墨兩國の講和談判成立す

五月卅一日 朝鮮船舶令施行規則を定む

六月 一日 全國畜産家大會を東京市會議事堂に開く

六月 二日 朝鮮總督寺内正毅に優渥なる勅語を賜ふ

六月 三日 救恤金九百五十圓を熊本縣に、七百圓を鹿兒島縣に、四百五十圓を山口縣に賜ふ○朝鮮總督寺内正毅、東京出發歸任の途に上る

六月 四日 樺太廳長官平岡定太郎罷む

六月 五日 岡田文次を樺太廳長官と爲す

六月 七日 帝國公道會を創立し、部落改善運動をなす

六月 九日 第二次地方長官大更迭を行ふ

六月 十日 全國實業家大會を農商務省に開く○男爵萬里小路正秀逝去年五十七

六月 十一日 東京地方裁判所に於てブロー、ヘルマンに係るシーメンス事件の第一回公判

帝國公道會
創立

大正天皇——大正三年

を開く

六月十二日 平山岩彦(熊本)補缺衆議院議員に當選す

六月十三日 天皇、皇后、東京發輦あり○鳴尾競馬場に於て民間飛行大會を開く○男爵島津

久賢、貴族院議員に當選す○日本鐵道の創立者林賢徳歿す年七十七

六月十四日 天皇、皇后、親しく伏見桃山兩御陵に親謁あらせらる

六月十五日 天皇、皇后、京都より還幸啓あり

六月十七日 天皇、上野公園の大正博覽會に行幸あり○蠶業試験場官制を公布す○日本労働

日本労働黨
禁止

黨を禁止す

六月十八日 東京教育博物館を開設す○政友會臨時大會を開き、原敬を總裁に推戴す

六月二十日 第三十三回帝國議會を召集す○福岡縣田川郡金谷炭坑にて強雨の爲め、天井墜

落して工夫六十四名慘死す○内國生命保險株式會社を解散す

六月廿二日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ

防務會議規
則公布

六月廿三日 防務會議規則を公布す○府縣制を改正公布す○依仁親王、波多野敬直、井上良

馨を議定官と爲す○首相大隈重信、施政方針を演説す○川原茂輔、衆議院全院

委員長に當選す○貿易界の恩人大塚琢造歿す年六十三○書家中根半嶺歿す年八

十四

六月廿四日 追濱飛行場に於て山田大尉、昇突八千二百五十尺の世界記録を作る

六月廿五日 東京、私立日本齒科醫學專門學校卒業生に學士號を授く

六月廿六日 皇后、上野公園の大正博覽會に行啓あり○小松宮妃頼子薨す年六十二○佐藤愛

鷹、幣原喜重郎、陸奥廣吉を特命全權公使と爲す○外相牧野伸顯より日米兩國

交渉經過を發表す○(衆)海軍補充費案を可決す

六月廿七日 宮内官の大更迭發表さる

奧國皇太子
射殺さる

六月廿八日 (貴)海軍補充費案を可決す○臺灣討蕃隊總攻撃を行ふ○奧地利國皇太子フラン

ツ、フェルデナンド大公、同妃ホーヘンベルヒと共に、屬領ボスニヤの首都サ

ラエヴォに於て、セルビヤの一青年の爲め射殺せらる、是れ實に歐洲大亂の動

機なり○僧山腰天鏡寂す年六十六

六月廿九日 取引所令を公布す○國際貿易統計作成に關する協約を公布す○帝國議會の閉院

取引所令公
布

式を行ふ○藥學博士平山増之助歿す

六月三十日 赤松蓮城外五名に係る西本願寺疑獄事件の豫審決定す○東京相撲太刀山等、布

哇興行に赴く○支那亡命客黃興、東京出發渡米す

七月 二日 沖繩縣暴風雨罹災者に救恤金一千二百圓を賜ふ○前室蘭製鋼所長として醜名を

曝せる海軍中將山内萬壽治、ピストル自殺を企て未遂に終る

七月 三日 硫黄嶽噴火す○日本外交界の恩人エツチ・ダブリュー・デニソン、東京に於て

逝く年六十九

七月 四日 相撲年寄高砂浦五郎歿す年六十三○國學者井上賴圀歿す年七十六

井上賴圀歿
す

隨筆雜學、藥品識
名都々別神社考證

越州考、東西年表、校訂古事類苑、國文中朝事實、國漢新辭典、古史對照年表、古事記者、
校訂六國史、日本文法講義、皇統略記、長慶天皇御即位論、巳亥業説、後宮制度沿革考、

工科大學理科大學設置

水雷隊條例公布

清風與平歿

七月 五日 支那第三革命の報頻々として至る
 七月 六日 京都帝國大學の理工科大學を分離し、新に工科大學、理科大學を設置す
 七月 七日 舞鶴軍法會議に於て、軍艦日進爆發事件の兵曹古田三吉に死刑の判決あり
 七月 八日 落語家三遊亭遊三歿す年七十五
 七月 九日 小學基金條例、學術評定委員會組織令を公布す
 七月 十日 水雷隊條例、鎮守府艦隊條例を各公布す
 七月 十一日 天皇、皇后、青山御所へ行幸啓あり○朝鮮總督府、行政執行令を公布す○子爵秋月種英、貴族院議員に當選す
 七月 十四日 陸軍中將茨木惟昭逝去年六十六
 七月 十五日 中村雄次郎を南滿洲鐵道株式會社總裁と爲す○山口歩兵第四十二聯隊野外演習に於て日射病の爲め、七十名卒倒し、七名即死す○陶工清風與平歿す年六十四
 七月 十七日 船舶積量測定規程を公布す
 七月 十八日 押川則吉を製鐵所長官と爲す○利根川の架橋演習中の赤羽工兵五十餘名濁流に押流され五名溺死す○シーメンス事件に係る三井物産會社重役飯田義一外六名の判決言渡あり○晚香坡に於て上陸を拒絶せられたる印度人三百五十名、日本汽船駒形丸にて暴動化する
 七月 十九日 天皇、皇后、青山御所に行幸啓あり
 七月 二十日 大喪使官制を廢止公布す○松室致を帝室會計審査局長官に、齋藤桃太郎を宮中顧問官に、徳川達孝を侍從次長に、伊藤博邦を式部次長と爲す、國澤新兵衛を南滿洲鐵道株式會社副總裁と爲す○東京、東洋協會を設立す
 七月 廿一日 煎茶家松井楓川歿す年七十六
 七月 廿二日 晚香坡、日本汽船駒形丸の印度人暴動事件、漸く解決す
 七月 廿三日 特命全權公使日置益を支那に駐劄せしむ○犬飼源太郎(岡山)補缺衆議院議員に當選す
 七月 廿四日 天皇、皇后、日光に行幸啓あり○奥國政府はセルビヤに對し、汎セルビヤ運動の抑壓及び皇太子暗殺事件連累者の處刑等の最後通牒を發し、回答期を廿五日午後五時とす
 七月 廿五日 子爵立花種忠、貴族院議員に當選す○露國は奥國のセルビヤ最後通牒は自國に挑戦するものなるを以て無關係たること能はずと聲明す○セルビヤは奥國の最後通牒を拒絶す
 七月 廿六日 畫家宮川春汀歿す年四十二
 七月 廿七日 奥國、セルビヤ兩軍、ダニユーブ河畔に於て開戦す
 七月 廿八日 皇太后宮職官制を廢止公布す○奥國はセルビヤに對し宣戰を布告す○英國外相グレーは奥國、セルビヤ兩國の葛藤を解決せんが爲め、獨、佛、伊、露四國大使と倫敦に於て會合せんことを提議せるに、獨逸、之を拒絶す
 七月 廿九日 モンテネグロは奥國に對し宣戰を布告す○米國大統領ウィルソンは「我國は歴

歐洲の風雲急を告ぐ

世界大戰起る

七月 廿九日 モンテネグロは奥國に對し宣戰を布告す○米國大統領ウィルソンは「我國は歴

史的政策に依り西半球以外の外交的繋争に關係せざる旨」を聲明す

七月三十日 塙軍、セルビヤ前首府ベルグラードを占領す○露國は露獨國境に向け大軍の前進を開始せるを以て、獨軍、之に應じ亦前進を開始す

七月卅一日 香川敬三を皇后宮太夫に、西郷吉義を宮中顧問官と爲す○大正博覽會の閉會式を行ふ

七月 中 儒者並木栗水歿す年八十六 宋學源流質疑三卷、性論一卷、周易私斷增補十卷

八月 一日 獨逸は露國に宣戰を布告す

八月 二日 露國は獨逸に宣戰を布告す○伊國局外中立を宣言す○獨逸は白耳義に對し、同國通過の最後通牒を發す

八月 三日 我が株式大暴落し恐慌す○英國は獨逸に對し、白耳義中立尊重要求の最後通牒を發す○白耳義皇帝アルバートは獨逸の暴戻なる要求を拒絶す○獨、佛兩軍、開戰す○獨逸は英國に對し、獨軍が佛國北海々岸を攻撃せざるを條件として局外中立を要求す、英國、直ちに之を拒絶す

八月 四日 帝國政府は戰局の東洋に波及せざるを希望し、現に嚴正中立の態度を確守すべきも、若し日英協約の目的が危殆に瀕する場合には協約の義務として必要の措置を執るに至るべき旨を聲明す○獨逸は佛國に宣戰を布告す○英國は獨逸に宣戰を布告す○獨逸は白耳義に宣戰を布告し、大舉侵入す○佛國は獨逸に宣戰を布告す○米國、局外中立を宣言す

帝國政府聲明

獨佛開戰

八月 五日 軍艦千代田、外敷隻を支那海に出動せしむ○米國大統領ウイルソンは英、獨、露、佛、塙五國に對し、居中調停を提議せるも機既に逸す

八月 六日 塙國は露國に宣戰を布告す○支那大元帥袁世凱、中立宣言を發表す

八月 七日 首相大隈重信は突如英國よりの急電に接し、其早稻田邸に於て緊急臨時閣議を開く

八月 八日 元老大臣會議を開き、帝國の大方針を決定す○陸軍少將立花小一郎、淺川敏靖、蠣崎富三郎を中將と爲す○陸軍中將松川敏胤を第十六師團長に、山口勝を第十師團長に、蠣崎富三郎を第十一師團長と爲す

八月 九日 露國は塙國に宣戰を布告す

八月 十日 東京府下日暮里大火あり、百四十五戸焼く○佛國は塙國に宣戰を布告す

八月 十一日 帝國政府の態度に關する宣言發表に就き、英國よりの回答到着せるも、尙ほ再應照會を要するため長文の照電を英國に發す○獨軍、白國リエージュを占領す

八月 十二日 英國政府よりの回答到着す○大暴風雨あり、富山縣下の水害甚々しく死者二百六名、流失家屋三千七十戸、全潰家屋百廿一戸を出す○潜水艇發明者米人ジョン・フィリップ・ホランド逝去年七十二

八月 十三日 賣藥法施行規則を定む○英、塙兩軍開戰す○實業家三井高生歿す年七十二○製筆の名人宮内得應歿す年七十二

帝國の大方針決定

富山大暴風雨

八月 十四日 元老大臣會議を開き、遂に積極的行動に出づる事に決す

御前會議を開く

八月十五日 時局愈々發展に就き、天皇、日光より還幸あらせられ、直ちに重大なる御前會議を開き、帝國の態度、全く確定す○獨逸に對し最後通牒を發す○パナマ運河を開通す○海軍中將諸岡賴之逝去年六十五

對獨最後通牒發表

八月十六日 對獨最後通牒發表せらる、曰く東洋に於ける獨逸艦隊は即時撤退する事、然ざれば武装を解除する事、曰く膠州灣を支那へ還附する目的を以て九月十五日迄に日本に引渡す事の二ヶ條にして之が回答期を八月廿三日正午と限定す

八月十八日 北海道廳官制を改正公布す○實業家妹尾きん子歿す年七十二

八月十九日 東京帝國大學總長山川健次郎をして京都帝國大學總長を兼しむ○英、佛、獨、

澳四交戰國は米國大統領ウィルソンの居中調停を拒絶す○伯爵阿部正桓逝去年六十四

八月二十日

服部漸を製鐵所次長と爲す○日本鐵道守備隊の一部、鄭家屯に行軍の途中、支那兵に突然狙撃せられ數名の死傷あり○護得久朝惟(沖繩)補缺衆議院議員に當選す○俳優市川門之助歿す年五十三

八月廿一日

青島在留の日本人百四十三名、全部引揚ぐ○獨軍、白國首府ブラッセルを占領す

八月廿三日

此日正午を期限とせる獨逸の回答遂に來らざるを以て任意行動を取るに決し、日獨間交戰状態に入る○獨逸に對し宣戰布告の大詔下る○來る九月三日を以て帝國議會召集の詔書下る○英國艦隊、青島を砲撃す

對獨宣戰

八月廿四日

獨軍、白國ナミユールを占領す

八月廿五日

海軍軍令部條例を改定す○澳國は日本に對し宣戰を布告す○米國大統領ウヰルソン、日獨戰爭に對して局外中立を宣言す○侯爵細川護成薨す年四十七

八月廿六日

第二艦隊司令長官加藤定吉、膠州灣外に達す○聯合軍、阿弗利加トリゴランドを占領す

八月廿七日

日澳兩國の國交斷絶發表さる○第二艦隊司令長官加藤定吉、膠州灣封鎖を宣言す○駐澳日本大使佐藤愛鷹、維也納より瑞西に撤退す

日澳國交斷絶

八月廿八日

航空勤務用被服制式を定む

八月廿九日

捕獲審檢所を開設し、細川潤次郎を高等捕獲審檢所長官と爲す○獨逸大使レックス、東京を出發す○伊豆神島沖に於て漁船顛覆し、三十七名溺死す

八月三十日

茨城縣磯濱町大火あり、百五十戸焼く○獨逸大使レックス、横濱解纜歸國す○澳國は白國に宣戰を布告す○獨軍は連戰連勝、遂に聯合軍をエスマ左岸に撃退し巴里に迫る

八月卅一日

澳國大使ミユルレル、東京を出發す○佐賀縣下に於て大洪水の爲め流失家屋三百五十餘戸、死者十七名に達す○支那政府は日本軍の山東省龍口上陸を中立侵犯とし、抗議を提出し來る

九月一日

輕便鐵道補助法を改正公布す○澳國大使ミユルレル、横濱解纜歸國す○露都セントペートルスブルグをベトログラードと改稱す

佐賀大洪水

佐賀大洪水

臨時議會召集

單獨非講和協約成る

名古屋市民大會を開く

- 九月 二日 日本美術院の開院式を行ふ○我が海軍陸戰隊、山東龍口に上陸を開始す○露軍、埃國レムベルグ要塞を占領す○陸軍中將林太一郎逝去年五十八
- 九月 三日 第卅四回帝國議會を召集す○佛國、首府巴里をボルドーに遷都を宣言す
- 九月 四日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○陸海軍進級令を改正公布す○驅逐艦白妙、膠州灣外に於て坐礁沈没す○獨軍右翼は巴里の東方約十里に迫る
- 九月 五日 金子養三少佐等の海軍飛行機は膠州灣内の偵察を遂行して爆彈を投下す○獨軍佛國ランスを占領す○露軍、東部ガリシヤに於て大に埃軍を撃破す○英、佛、露三國は單獨非講和協約を締結す○怪談師柳亭左龍歿す年五十六
- 九月 六日 帝國議會會期三日間延長の詔書下る○名古屋鶴舞公園に於て電車値下の第一回市民大會を開き、激昂せる群衆は電車の焼打を開始す○佛國マルヌ河の戦を開始す、戦線實に百四十哩に亘る
- 九月 七日 (衆) 臨時軍事費(總額六千六百五十萬圓)を滿場一致可決す○海江田準一郎を貴族院議員と爲す○名古屋市に再び大騷擾起り、軍隊出動して之を鎮撫す○獨軍、佛國モーブージュを占領す
- 九月 八日 陸軍少將萩野末吉を中將と爲す
- 九月 九日 (貴) 臨時軍事費を可決す
- 九月 十日 恤兵金品取扱規程を定む○帝國議會の開院式を行ふ○露國特派使節ゲルモニウス中將、敦賀に來朝す

膠州占領

- 九月十一日 天皇、皇后、青山御所に行幸啓あり○輸入税率等特例法を公布す○始政五年紀念朝鮮物産共進會を京城に開く
- 九月十二日 戰時海上保險補償法を公布す○我騎兵は即墨を占領す
- 九月十三日 我騎兵、膠州を占領す○希臘、ルーマニヤ、ブルガリヤ三國は同盟條約を締結し、土耳其が獨逸兩國を援助するを妨ぐ
- 九月十四日 豊後水道沖に於て暴風の爲め、漁船百二十七隻、行方不明と爲る○シーメンス事件の海軍收賄の元兇藤井光五郎少將を懲役四年六月(追徴金三十六萬八千三百六圓)に處す
- 九月十五日 陸軍大將淺田信興を東京衛戍總督に、中將中村覺を關東都督に、同福島安正を大將と爲す
- 九月十六日 暴風罹災者救恤金二千三百圓を富山縣に、一千四百圓を新潟縣に下賜さる○第一議會以來在職議員犬養毅、尾崎行雄、元田肇、箕浦勝人、島田三郎、河野廣中、井上角五郎に對し叙位叙勳の御沙汰あり
- 九月十七日 我騎兵、膠州停車場を占領す
- 九月十八日 我軍、山東半島南岸勞山灣附近に上陸を開始す
- 九月十九日 我軍、柳樹臺王哥庄を占領す○實業家岡本貞然歿す年六十一訓話隨錄
- 九月廿一日 大禮準備委員會規則を公布す○俘虜情報局官制を公布す○輕便鐵道補助法施行規則を定む

俘虜情報局を開設

青島攻撃を開始

九月廿二日 陸軍少將河合操を俘虜情報局長官と爲す

九月廿三日 俘虜情報局を陸軍省に開設す○英國バーナジストン少將部隊は我軍の青島攻撃参加の爲め、勞山附近に上陸を開始す○狂言師久保扶桑歿す年六十三

九月廿四日 米國は英、佛、西、支四國と仲裁條約を締結す

九月廿五日 暴風罹災者救恤金二千二百圓を静岡縣に、八百圓を栃木縣に、千二百圓を福岡縣に、七百圓を佐賀縣に、千百圓を熊本縣に下賜さる○俳人安藤椽面坊歿す年四十六 句集深山柴、深山柴拾遺

九月廿六日 我軍は女姑山、石門山、九水廣の線に向ひて前進し、青島攻撃を開始す

九月廿七日 我軍、孤山より巫山に亘る一帯の高地にある敵兵を撃退す○支那政府は再び日本軍の濰縣に進入せるを以て、中立侵害とし抗議を申し來る○獨軍、大舉して露領に侵入す

九月廿八日 我海軍、膠州灣の砲撃を開始す○投機界の傑物濱野茂歿す年六十二

九月廿九日 陸軍戦時給與規則を改正公布す○金子堅太郎を維新史料編纂會副總裁と爲す

九月三十日 勞山港外に於て掃海船長門丸は機械水雷に觸れて沈没し、特務艦若宮丸亦損傷す○東京、南洋郵船株式會社を創立す

九月 中 國學者高橋富兄歿す年九十 日本文法問答、國文軌範、十訓抄校本、語彙字典

十月 一日 相模江ノ島に大海嘯あり、四十五名行方不明と爲る

十月 二日 暴風罹災者救恤金一千六百圓を長崎縣に賜ふ○董家灣外に於て掃海船弘養丸は機械水雷に觸れて沈没す

小松宮家を廢絶

政務官官制公布
ヤルト島占領
海戦法規制定

生蕃蜂起

十月 三日 戶籍法施行細則を定む○工業原料の輸出を制限す○小松宮家を廢絶さる○北海道夕張炭山に於て瓦斯爆發し、即死十八名、負傷者十一名を出す

十月 四日 駐支公使日置益は支那政府の中立侵害抗議に對し、濰縣進入は其不法に非ざる旨を回答し、支那、遂に屈服す

十月 五日 日本は當分山東鐵道を管理するに決す○澁澤榮一、武井守正等は國產獎勵會を設置す

十月 六日 政務官官制を公布し、參政官、副參政官を新設す○俘虜收容所を久留米に設置す○我第一艦隊は南洋獨領マーシャル諸島中の敵艦根據地ヤルト島を占領す

十月 七日 海戦法規を制定す○米國政府は我が第一艦隊の南洋占領に關して大に驚倒恐怖し、其駐日大使をして外務省を訪問し、右に關する説明を求めしむ、外相加藤高明、之に對し、右は一時的の占領にして毫も他意なき旨を言明す○獨軍、白國アントワープの砲撃を開始す

十月 八日 暴風雨罹災者救恤金一千七百圓を臺灣に賜ふ

十月 九日 暴風雨罹災者救恤金二千圓を高知縣に、八百圓を愛媛縣に賜ふ○臺灣生蕃蜂起し、警部一名、巡查五名、家族十七名を慘殺す○獨軍、遂に白國アントワープ要塞を陥落す

十月 十日 我軍、博山炭礦を占領す○獨軍、白國ゲント市を占領す○白耳義政府は佛國ア
ブルに移る

十月十一日 天皇、皇后、青山御所に行幸啓あり

十月十二日 青島攻圍軍指揮官神尾光臣、同封鎖艦隊司令長官加藤定吉は、聖旨を奉じ青島
要塞内の非戦闘員を兵火の慘害より免れしめん爲め、先づ其趣旨を無線電信を
以て青島總督ワルデックに通告す

十月十三日 非戦闘員救助に關する聖旨の通告に基づき、彼我の軍使は東吳家村に相會し、
細部の協定を遂ぐ

十月十四日 第一艦隊は獨領南洋諸島全部を占領す○日英兩海軍青島イルチス砲臺を砲撃す

十月十五日 青島非戦闘員の授受を終了す

獨修易學通解
高島易斷

十月十六日 易學者高島吞象歿す年八十三

十月十七日 膠州灣外に於て哨戒勤務中の軍艦高千穂は敵水雷の爲め爆發沈没して艦長海軍
大佐伊東祐保以下二百八十三名、悲壯なる殉死を遂ぐ

十月十九日 陸軍中將飯田英三逝去年五十七

南洋諸島占領

十月二十日 第一艦隊は更にマリアナ諸島、東西カロリン群島を占領す○海軍重砲隊、青島
攻撃を開始す

十月廿一日 工學者高山甚太郎歿す年五十八

十月廿二日 暴風雨罹災者救恤金七百五十圓を群馬縣に下賜さる○政治家淺羽靖歿す年六十

一〇横綱小錦重五郎歿す年四十八

十月廿五日 日支兩國間に於て膠濟鐵道臨時條約成立す○東京鍛冶橋成る

十月廿七日 皇后、日比谷公園に行啓あり、赤十字社總會に臨み給ふ

十月廿八日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり○寄留手續令を公布す○首相大隈重信は貴
衆兩院議員を招き、防務會議にて二個師團増設、戰艦三隻、驅逐艦八隻、潜水
艦二隻、建造の國防計畫を決せる旨を説明す

十月廿九日 土耳其は露國に宣戰を布告す

十月三十日 新聞記者佐藤眞一歿す年四十七

十月卅一日 陸軍中將神尾光臣の率ゐる青島攻圍軍總攻撃を開始す○子爵鳥居忠文逝去年六
十七

十月 中 小説家伊東橋塘歿す年六十四 業勝君助の復讐、清佛船栗毛、島衛沖白浪、水錦偶田、花春時相政、
寫眞廻仇討、鳴渡雷於新、引眉毛權妻於辰、兩國新話、女天一坊花園於

蝶、色濃綠笠松、月雲雀玉章、
遭難記實、雲切五人男、開化咄

十月 中 英領南阿弗利加に反亂起る

十一月 一日 陸軍少將飯田左門、野島忠孝を中將と爲す○岩越線開通式を行ふ

十一月 二日 東京築地水交社に於て高千穂艦長伊東祐保以下の海軍葬を執行す○露國は土耳
其に宣戰を布告す

十一月 三日 帝國在郷軍人會に内帑金十萬圓及び國防完備に關する勅語を賜はる○大阪工業
會を創立す○獨逸艦隊、智利コロネル港沖合に於て英國艦隊を破る○セルビヤ、

岩越線開通式

土耳其と國交斷絶す○土耳其は英國に宣戰を布告す

十一月 四日 東京吳服橋の開通式を行ふ

十一月 五日 英國は土耳其に宣戰を布告す

十一月 六日 佛國は土耳其に宣戰を布告す○國學者丸山正彦歿す年五十六大日本者神國也、丸山作樂傳、日本の長子、日本古

來財産相續法、憲法史論、武家の兵制、大正詔勅衍義、臺灣開創鄭成功

十一月 七日 我軍、青島を陥落す○民法學者川名兼四郎歿す年四十一債權法要論、債權法論、日本民法總論、民法、物權法要論、民法條

文、債權總論

十一月 八日 青島攻撃に加はりたる陸海軍に勅語を賜ふ○我全權委員山梨半造少將、高橋壽

太郎少佐は敵軍全權委員ザツケル大佐と開城規約を締結す○俘虜四千六百四

十八名、戰死者百八十名、負傷者二百九十餘名、我が損害は戰死者四百十八名、

負傷者一千四百六十九名なり

十一月 九日 行政整理發表さる○安川敬一郎(福岡)補缺衆議院議員に當選す○東西大洋を

縦横に跳梁し暴威を逞しくしたる獨逸巡洋艦エムデン號は南洋英領ココス群島

に於て英艦に砲撃せられ、遂に擱坐火災を起し、印度洋、太平洋の海上全く安

全となる

十一月 十日 膠州灣の封鎖を解除す

十一月 十一日 暴風雨罹災者救恤金八千六百圓を朝鮮に下賜さる○國際病院設立に決す○東京

市主催の青島陥落祝賀會を日比谷公園に於て舉行す○俘虜收容所を東京、大阪、

行政整理發表

青島陥落

名古屋、松山、福岡、熊本、丸龜、姫路の各處に設置す○陸軍中將鹽屋方園逝

去年六十八○英學者淺田榮次歿す年五十

十一月 十二日 我攻圍軍指揮官神尾光臣、モルトケ・バラツクに於て青島總督ワルデツクと會

見す

十一月 十三日 天皇、大阪に行幸あり○樺太廳官制を改正公布す○内帑金五萬圓を國際病院に

下賜さる○警者松本操貞歿す年六十九千代の影、春の田家、月に櫻、紅葉、越路の秋

十一月 十四日 天皇、大阪城内の大本營に著御あり○青島占領を完了す○松田學(北海道)補

缺衆議院議員に當選す

十一月 十五日 天皇、高槻に行幸あり、幣久良山に於て特別大演習を統監あらせらる○第一回

國產獎勵會を東京上野公園に開設す○長井輕便鐵道の開通式を行ふ○東京、數

寄屋橋公園を開設す○長島隆二(埼玉)補缺衆議院議員に當選す

十一月 十六日 我攻圍軍指揮官神尾光臣、青島入城式を行ふ○小説家押川春浪歿す年三十八

變化する人、膽力俱樂部、世界丸、復讐、印度怪譚、怪島の秘密、銀山王、山窟の海賊、日本新島、武俠の

日本、日米の決闘、日露海戰行、南極の怪事、蠻勇豪語、千年後の世界、武士道、海底軍艦、大登同盟

十一月 十七日 天皇、須磨武庫離宮に行幸あり○暴風雨罹災者救恤金一千圓を沖繩縣に賜ふ○

青島降將ワルデツク總督一行、門司に到着す

十一月 十八日 支那各地に帝政復活運動起る

十一月 十九日 天皇、大阪城東練兵場に臨み、大觀兵式を行ひ給ふ○故楠正季以下十二名に贈

位あり

大阪行幸

押川春浪歿す

十一月二十日 遞信次官中谷弘吉を罷め、湯河元臣之に代る○橋清次郎を貴族院議員と爲す
 十一月廿一日 天皇、大阪より還幸あらせらる○臨時陸軍檢疫所官制を公布す○化學界の權威
 埤和爲昌歿す年五十九
 十一月廿二日 政治家青柳信五郎歿す年四十七
 十一月廿四日 化學工業調査會を設置す○臺灣總督佐久間左馬太、辭表を捧呈す
 十一月廿五日 宇佐美一寶(山梨) 補缺衆議院議員に當選す
 十一月廿六日 陸軍中將神尾光臣を青島守備軍司令官に、齋藤力三郎を第十八師團長と爲す○
 全國手形交換所大會を東京帝國ホテルに開く○實業家大西榮助歿す年四十一
 十一月廿七日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○西本願寺前法主大谷光瑞、朝鮮を経て大陸旅行
 の途に就く
 十一月廿八日 北海道新夕張若鍋炭礦の瓦斯大爆發し、坑夫四百三十七名慘死す
 十一月廿九日 青島政廳の開廳式を行ふ○代議士高橋義信拘引さる
 十一月三十日 艦隊令を制定施行す○久邇宮邦彦王を帝國飛行協會總裁に推戴す
 十一月 中 佛國巴里タニ紙、頻りに日本の歐洲出兵を慫慂す
 十二月 一日 艦隊條例を廢止す○明治天皇紀編纂の爲め臨時編修局を宮内省に設置し、土方
 久元を總裁と爲す○海軍少將上泉德彌、石橋甫、仙頭武央、森義太郎、釜屋忠
 道、藤本秀四郎、市川清次郎を中將と爲す○函館大火あり、六百八十二戸焼く
 十二月 二日 第二艦隊、横須賀に入港す

函館大火

新夕張炭礦
大爆發
青島政廳開
廳式
艦隊令制定

第二艦隊凱旋

第一艦隊凱旋

明治神宮奉
贊會成る

十二月 三日 政友會大會を開き宣言書を發表す
 十一月 四日 第二艦隊司令長官加藤定吉、東京に凱旋し、直ちに參内復命す○國民黨大會を
 開き、増師反對を聲明す
 十二月 五日 第三十五回帝國議會を召集す
 十二月 六日 海軍軍醫總監鶴原鹿吉逝去年五十八
 十二月 七日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○第一艦隊、横須賀に凱旋す○對
 支聯合會分裂して、内閣反對派は外交國民同盟會と改稱し、大隈内閣打倒運動
 に著手す○實業家三井武之助歿す年六十
 十二月 八日 郵便爲替規則を改正公布す○第一艦隊司令官柄内曾次郎、東京に凱旋し參内復
 命す○白石直治、衆議院全院委員長に當選す○英國艦隊、フーオクランド島沖
 に於て獨逸艦隊を撃破す
 十二月 九日 佛國政府、巴里に復歸す
 十二月 十日 日本郵船德島丸、始めてパナマ運河を通過す
 十二月十一日 眼科學者荻生錄造歿す年五十七 通俗トラホ
ム講話
 十二月十二日 英國陸軍司令官バーナージストン少將、東京に到着す
 十二月十三日 東京築地水交社に於て古典研究會の發會式を行ふ
 十二月十四日 明治神宮奉贊會成る
 十二月十五日 英國陸軍司令官バーナージストン少將、參内謁見す○同志會、中正會、進歩俱

國民義會成る

樂部、大隈伯後援會等、非政友を標榜する各團體は東京築地精養軒に會合し、國民義會を組織す○青島守備軍司令官神尾光臣、宇品に上陸す○福岡縣方城炭鑛に於て瓦斯爆發し、工學士長谷川吉十郎外六百六十九名慘死す

十二月十六日 能役者松本金太郎歿す年七十二

十二月十七日 (衆) 御大禮費(五百三十九萬圓) 明治神宮造營費(三百四十五萬七千三百七十九圓)を可決す○埃及は英國の保護領と爲る

東京驛開業

十二月十八日 東京驛の開業式を行ふ○青島守備軍司令官神尾光臣、東京に凱旋し、直ちに參内復命す○子爵松平親信逝去去年四十

十二月十九日 日本赤十字社より救護班を英國に派遣す○(貴) 御大禮費、明治神宮造營費を可決す

十二月二十日 東京驛にて汽車の運轉を開始す○新橋驛を汐留驛と改稱す○政友、國民兩黨の有志聯合して増師反對演說會を東京明治座に開く

十二月廿一日 全國記者大會を東京築地精養軒に開き、増師反對を決議す

十二月廿二日 醫學者菅之芳歿す年五十八

十二月廿四日 獨逸飛行船、始めて英國の空中襲撃を行ふ

衆議院解散

十二月廿五日 (衆) 二箇師團増設費を否決す○衆議院は豫算案に多大の削減を加へ、國防の充實、財政の整理、其他國家重要政務をして遂行するの由なきに至らしむ、との理由を以て解散を命ぜらる○政友會代議士日向輝武以下十八名脱會す

十二月廿六日 政府は解散の理由を公示す

十二月廿八日 目黒火藥製造の火藥爆發し、死傷者九名を出す

十二月廿九日 明治神宮造營費を公布す

十二月卅一日 天理教管長中山新治郎歿す年四十九

大正四年 乙卯 皇紀二五七五年 西曆一九一五年

平木白星歿す

正月 二日 小説家平木白星歿す年四十 源泊子、日本國歌、羊かひ、釋迦、お小夜新七、尋ぬる愛、慶應から明治、戀ならぬ戀、西郷隆盛、詩人、耶穌の戀、平和、その日の朝、惡魔物語、運、二見物語、隆盛の最後、

正月 三日 京都深草練兵場に於て飛行機墜落し、民間飛行家荻田常三郎、大橋繁治慘死す

正月 四日 舊新選組の劍客永倉新八歿す年七十六

正月 五日 陶磁器界の功勞者藤江永江歿す年五十

石峰寺焼く

正月 六日 京都府紀伊郡深草村の石峰寺炎上し、有名なる若沖の五百羅漢焼失す

正月 七日 農商務大臣大浦兼武を内務大臣に、河野廣中を農商務大臣と爲す○海軍大將出羽重遠にパナマ運河開通式參列を命ぜらる○河野廣中を桑港臨時博覽會總裁と爲す

正月 八日 支那政府は駐支公使日置益に對し山東に於ける日本守備兵の撤退を要求し來り我が國論の激昂甚だしく交渉の成行如何は大いに内外の注視する所となる

正月 九日 陸軍大將長谷川好道、貞愛親王、川村景明に元帥の稱號を賜はる○西源四郎を特命全權公使と爲し、暹羅に駐劄せしむ○北海道奥尻島硫黃山大爆發す○同志

大石正巳政界隱退

會の領袖大石正巳、政界引退を聲明す○有阪式速射砲の發明者陸軍中將有阪成章逝去年六十四

正月十一日

帝國政府は支那の山東守備兵撤退要求は國際慣例に違反し、信義を沒却せるものなる旨の回答を爲す○畫家吉嗣拜山歿す年七十骨筆癡叢、寒玉音

正月十二日

天皇、始めて東京驛にて御乗車、葉山に行幸あり

正月十三日

子爵清岡長言、貴族院議員に當選す○伊豆伊東町大火あり、百三十戸焼く

正月十四日

畜産組合法を公布す

正月十五日

青山胤通を傳染病研究所長と爲す

正月十六日

遣米使節出羽重遠、横濱を出發す○文學者田能村秋臯歿す年四十八世界最古之刑法、車聲帆影、川柳とへな、ぶり

正月十七日

南遣艦隊第一枝隊司令官山屋他人、横須賀に凱旋す

正月十八日

大隈伯後援全國大會を早稲田邸に開く○横濱羽衣座焼失す○駐支公使日置益、大總統袁世凱と會見し、二十一箇條の要求條件を提出し、重大交渉談判を開始す○旅順開城にて名高き露國ステツセル逝く

正月二十日

運河法を改正公布す

正月廿一日

青島開港軍令を公布す○遠江の名利摩利支天堂炎上す

正月廿二日

地方長官會議を開く

正月廿五日

米價調節に關する勅令を公布さる、曰く大藏大臣は必要と認むる場合、米の買

米價調節勅令公布

南洋協會成る

正月廿六日

暹羅皇弟カムバイーベーシヤ、來朝あり

正月廿七日

東京、南洋協會を創立す○軍艦淺間、メキシコ沿岸に於て坐礁す

正月三十日

國民外交同盟會を日比谷公園松本樓に開き、外交當局の無能を痛罵し、今日を以て對支問題解決の絶好機なる旨を決議す○漢學者本城問亭歿す年五十二遺文、八卷

正月卅一日

入交換又は賣渡を爲すことを得、而して之が買入交換又は賣渡は隨意契約に依る○陸軍中將安東貞美、中村覺を大將と爲す○陸軍中將由比光衛を第十五師團長と爲す○陸軍大將大久保春野逝去年七十○櫻田事變の志士佐藤寛歿す年八十

正月廿六日

青森縣三戸郡八戸町の新町劇場焼失し、男女俳優八名慘死す

正月廿七日

暹羅皇弟カムバイーベーシヤ、來朝あり

正月三十日

東京、南洋協會を創立す○軍艦淺間、メキシコ沿岸に於て坐礁す

正月卅一日

國民外交同盟會を日比谷公園松本樓に開き、外交當局の無能を痛罵し、今日を以て對支問題解決の絶好機なる旨を決議す○漢學者本城問亭歿す年五十二遺文、八卷

正月廿六日

青森縣三戸郡八戸町の新町劇場焼失し、男女俳優八名慘死す

正月廿七日

暹羅皇弟カムバイーベーシヤ、來朝あり

正月三十日

國民外交同盟會を日比谷公園松本樓に開き、外交當局の無能を痛罵し、今日を以て對支問題解決の絶好機なる旨を決議す○漢學者本城問亭歿す年五十二遺文、八卷

正月卅一日

入交換又は賣渡を爲すことを得、而して之が買入交換又は賣渡は隨意契約に依る○陸軍中將安東貞美、中村覺を大將と爲す○陸軍中將由比光衛を第十五師團長と爲す○陸軍大將大久保春野逝去年七十○櫻田事變の志士佐藤寛歿す年八十

正月廿六日

暹羅皇弟カムバイーベーシヤ、來朝あり

正月廿七日

青森縣三戸郡八戸町の新町劇場焼失し、男女俳優八名慘死す

正月三十日

國民外交同盟會を日比谷公園松本樓に開き、外交當局の無能を痛罵し、今日を以て對支問題解決の絶好機なる旨を決議す○漢學者本城問亭歿す年五十二遺文、八卷

正月卅一日

入交換又は賣渡を爲すことを得、而して之が買入交換又は賣渡は隨意契約に依る○陸軍中將安東貞美、中村覺を大將と爲す○陸軍中將由比光衛を第十五師團長と爲す○陸軍大將大久保春野逝去年七十○櫻田事變の志士佐藤寛歿す年八十

日支交渉開始

正月 中

元樺太廳長官平岡定太郎の不正事件發覺し起訴せらる

二月 一日

交通兵團司令部條例を公布す

二月 二日

布哇よりの無線電信、始めて落石電信局に達す○暹羅皇弟カムバイーベーシヤ退京さる○駐支公使日置益、外交總長陸徵祥を訪問し日支第一回交渉會議を開く、支那側官民の態度頗る亢奮的にして、馮國璋、段芝貴以下十九將軍、連名して反對を聲明す

二月 三日

東京市長阪谷芳郎、辭職す○連歌師深川照阿歿す年八十三

二月 四日

國有種牡種付規則を定む

二月 五日

海軍中將名和又八郎を第二艦隊司令官と爲す

長塚節歿す

二月 六日 驅逐艦樺の進水式を行ふ○鳳谷五郎を横綱と爲す
 二月 八日 歌人長塚節歿す年三十七 土、炭焼の頭、佐渡紀行、初きはれ、大十と其犬、おふき、長塚節歌集、芋堀り、牡蠣、隣室の客、愛せられざる花、教師、開業醫、白甜瓜、櫻の冬
 二月 九日 曹洞宗管長森田悟由寂す年八十二○埃國ルーマニヤと開戦す
 二月 十一日 政黨政治期成會の發會式を行ふ○東京在留支那學生數千名は日支交渉に憤慨し神田青年會館に於て大會を開き、委員を北京に派遣す○醫學者神忠三歿す年三十八

二月 十二日 僧佐保山晋圓寂す年七十一

二月 十三日 關西財界の重鎮岩下清周、拘引さる

二月 十四日 長崎に於て驅逐艦松、柏の進水式を行ふ○醫學者本堂恒次郎歿す年五十二

二月 十五日 宮中席次を改正公布す○佐世保に於て驅逐艦神、橋の進水式を行ふ○陸軍大將

一戸兵衛、大迫尙道、上原勇作を軍事參議官に、中將仙波太郎を第一師團長に南部辰内を第二師團長に、仁田原重行を第四師團長に、秋山好古を近衛師團長と爲す○陸軍中將上原勇作を大將に、少將安藤嚴水、大庭二郎、牧野清人、村岡恒利、井上仁郎、柴勝三郎、栗田直八郎を中將と爲す

二月 十六日 大阪に於て驅逐艦杉の進水式を行ふ○産婦人科の權威濱田玄達歿す年六十二

二月 十七日 平家琵琶の大家館山漸之進歿す年七十五 平家普樂史

二月 十八日 長唄の名手杵屋ろく歿す年五十三

二月 十九日 英佛兩國艦隊、ダーダネルスの攻撃を開始す

濱田玄達歿す

二月 二十日 舞鶴に於て驅逐艦楓の進水式を行ふ○侯爵佐竹養生薨す年四十九○男爵岩村通俊逝去去年七十六

二月 廿五日 日支第四回會見交渉を開く

二月 廿六日 川崎に於て驅逐艦梅の進水式を行ふ○東京、旭貯金銀行は破産の宣告を受く

二月 廿七日 臺灣總督府の行政整理發表さる○鑑定家松本幹一歿す年六十六○僧福田循誘寂す年六十七

瀨沼夏葉歿す

二月 廿八日 浦賀に於て驅逐艦桐の進水式を行ふ○日支第六回交渉を開く、依然として具體的決定を見ず○判事安居修藏歿す年六十八○閩秀作家瀨沼夏葉歿す年四十一

櫻園、チエホフ傑作集、重傷、煙草の害毒、雄辯家、貧しき少女、東北風、里の女、公用、餘計者、官吏の死、魔鏡、彼女だ、新希望、月と人、神の宴、叔父ワリーニヤ

二、月 中 衆議院議員選舉資格に關する件を公布す

三月 一日 横須賀富津沖に於て端艇顛覆し、海軍少佐角田順、大尉三矢五郎以下四名行方不明と爲る

三月 二日 茶人松田宗貞歿す年八十三○新劇團の率先者土肥春曙歿す年四十七 義朝、遺言、社會劇、新譯社會劇、木秀子

清濁、空想、新譯社會劇

三月 三日 日支第七回交渉を開く、支那側依然強硬なり○盆栽家新井菜圃歿す年七十三

三月 四日 吳に於て驅逐艦桂の進水式を行ふ

三月 五日 神戸に於て驅逐艦楠の進水式を行ふ

三月 六日 追濱附近に於て海軍飛行機墜落して海軍大尉安達東三郎、中尉武部鷹雄、水兵

海軍機墜落

柳瀬久之丞惨死す、海軍最初の犠牲者なり

三月 八日 岡山第六師團を滿洲に派遣さる

三月 九日 姫路第十師團に出動命令下る○日支第九回交渉を開く、支那側の態度一變し談判漸く圓滿に進行す

三月 十日 第一、第二艦隊を佐世保に集中す

三月 十一日 陸軍中將本多道純逝去去年五十五

○三月十三日 日露講和談判の大立物ウキツテ逝く年六十六

三月 十四日 東京小石川に電燈出張所の七人墜殺事件起る

大隈首相の
車窓演説

三月 十六日 首相大隈重信、東京を出發し大阪まで驛々に於て車窓演説を行ふ○駐支英國公使ジョルダンは支那政府に對し日本の要求全部承認を勧告す

三月 十七日 墨西哥は無政府状態なるを以て駐在公使安達峰一郎に引揚げを命ず○第一艦隊長崎縣茂木沖に向ひ北支出動準備成る○露軍ガリシヤのブゼミスルを占領す

三月 十八日 伯爵香川敬三薨年七十七日記

位 賴春水に贈

三月 十九日 天皇、皇后、葉山より還幸啓あり○故賴春水に従四位を追贈さる

三月 二十日 帝國蠶絲株式會社を設置す

三月 廿一日 支那沿岸警備の爲め、第二艦隊旗艦三笠、周防共に舞鶴を出發す

三月 廿二日 日支第十四回交渉を開く

三月 廿二日 關東州公堂規則を公布す○徳川達孝を皇后宮太夫事務取扱ひと爲す○支那側は

滿洲に關する五條件を承認す

第十二回總
選舉

三月 廿五日 千葉監獄に出火あり、囚徒一千二百餘名を解放す○第十二回衆議院總選舉を行ふ○(東京)古島一雄、賴母木桂吉、今井喜八、高木益太郎、關直彦、鳩山一郎

江間俊一、秋山定輔、鈴木梅四郎、鈴木萬次郎、黒須龍太郎、高木正年、守屋

此助、秋本喜七、森久保作藏、村野常右衛門、(京都)加藤小太郎、森田茂、渡邊

昭、片岡直温、川崎安之助、山口俊一、津原武、野尻岩次郎、(大阪)加藤彰廉

谷口武兵衛、紫安新九郎、金澤仁作、金澤種次郎、石橋爲之助、大西五一郎、

井原百介、中谷徳恭、川井爲巳、植場平、岩崎幸治郎、西田爲之、(神奈川)平

沼亮三、島田三郎、戸井嘉作、小泉又次郎、山宮藤吉、川井考策、佐藤政五郎

杉山四五郎、(兵庫)田村新吉、野添宗三、丸山芳介、下岡忠治、多木久米次郎

小寺謙吉、川口木七郎、中川幸太郎、肥塚龍、堀豊彦、齋藤隆夫、横田孝史、

鹿島秀麿、廣岡宇一郎、(長崎)岡部政太郎、田川大吉郎、本田恒之、中倉萬次

郎、横山寅一郎、白井哲夫、倉光藤太、大池忠助、(新潟)齋藤喜十郎、大竹貫

一、飯塚彌一郎、丸山豊治郎、川上榮太郎、高橋光威、鳥居錦次郎、坂口仁一

郎、高鳥順作、川合直次、目黒孝平、久須美東馬、田邊熊一、山本悌二郎、(埼

玉)長島隆二、指田義雄、高木利平、加藤政之助、綾部惣兵衛、齋藤安雄、齋

藤珪次、福田又一、秦豊助、(群馬)大隈信常、矢島八郎、本間三郎、小林丑三

郎、武藤金吉、須藤嘉吉、根岸曙太郎、葉住利藏、(千葉)關和知、榎本次郎右

衛門、鈴木久次郎、板倉中、小林勝民、中村尙武、吉植庄一郎、加瀬禧逸、長島鷺太郎、柏原文太郎、(茨城)平山午介、大津淳一郎、河野正義、石橋茂、根本正、小久保喜七、川村惇、原脩次郎、初見八郎、相島勘次郎、(栃木)村山金平、戸叶薰雄、高田耘平、横田千之助、横尾輝吉、友常毅三郎、阿由葉鎗三郎、(奈良)米田實、中山梅治郎、岩本平藏、森正、福井三郎、(三重)松本恒之助、九鬼紋七、尾崎行雄、小林嘉平治、重盛信近、濱田國松、川崎克、加賀卯之吉、辻寛、(愛知)小山松壽、磯貝浩、田中善立、大岩勇夫、小林仲次、織田了、大島久滿次、早川龍介、伊藤義平、鈴置倉次郎、三輪市太郎、森田小六郎、清水市太郎、(静岡)尾崎元次郎、村上太三郎、加藤定吉、杉山東太郎、岩崎彦雄、増田次郎、大村和吉郎、高柳覺太郎、松浦五兵衛、小泉策太郎、(山梨)大木喬命、望月小太郎、市川文藏、根津嘉一郎、牛田唯一、(滋賀)西川太治郎、西田庄助、藤井善助、島田保之助、望月長夫、井上敬之助、(岐阜)河崎助太郎、長尾元太郎、坂口拙三、岡崎久次郎、古屋慶隆、安田伊左衛門、大場竹次郎、匹田銳吉、(長野)大澤辰次郎、降旗元太郎、小坂順造、樋口秀雄、矢島浦太郎、小川平吉、翠川鐵三、玉井權右衛門、岡部次郎、鹽川幸太、(宮城)村松山壽、藤澤幾之輔、村松龜一郎、亘理胤正、菅原傳、首藤陸三、小山東助、(福島)柴四郎、長澤倉吉、河野廣中、市原又次郎、半谷清壽、鈴木寅彦、白井遠平、大芝惣吉、堀切善兵衛、(岩手)原敬、平井六右衛門、工藤吉次、阿部勇治、柵瀬

軍之佐、阿部德三郎、(青森)菊池武徳、大坂金助、菊池良一、野村治三郎、高杉金作、加藤宇兵衛、(山形)大場茂馬、小林源藏、江口勝之助、犬塚勝太郎、竹村欽次郎、細梅三郎、中野悌治、伊東知也、(秋田)井上廣居、町田忠治、齋藤宇一郎、伊藤恭之助、添田飛雄太郎、榊田清兵衛、中村千代松、(福井)八田裕二郎、今村七平、山口嘉七、大橋松二郎、名村忠治、(石川)横山章、室木彌次郎、關戸寅松、田中喜太郎、西村正則、櫻井兵五郎、(富山)關野善次郎、木津太郎平、山田正年、野村嘉六、森丘覺平、谷欽太郎、上埜安太郎、(鳥取)白田久内、奥田柳藏、西谷金藏、本田親清、(島根)岡崎運兵衛、原本大三郎、三浦倫吉、保科陽治、石田孝吉、高橋久次郎、渡邊新太郎、(岡山)坂本金彌、犬飼源太郎、犬養毅、池田寅治郎、西村丹治郎、藤原元太郎、小橋藻三衛、安東敏之、萬代嘉平治、(廣島)早速整爾、橋本太吉、花井卓藏、荒川五郎、井上角五郎、金尾稜巖、横山金太郎、宮原幸三郎、龍口了信、有田温三、望月圭介、湯淺凡平、(山口)林平四郎、山根正次、佐々木安五郎、福田民平、裕俊聰、小河源一、三隅哲雄、雜賀信三郎、(和歌山)大堀孝、木村平右衛門、前川虎造、小山谷藏、兒玉亮太郎、岡崎邦輔、(徳島)青木磐雄、三木與吉郎、板東勘五郎、川真田徳三郎、須見千次郎、大久保弁太郎、(香川)田中定吉、白川友一、田淵貞四郎、林毅陸、小西和、三土忠造、増田穰三、(愛媛)高野金重、武内作平、古谷久綱、今西林三郎、才賀藤吉、清水隆徳、渡邊修、政尾藤吉、(高知)濱口

雄幸、仙石貢、石本鎮太郎、富田幸次郎、竹内明太郎、白石直治、(福岡)奥村七郎、淺野陽吉、石田平吉、飯森辰次郎、吉田磯吉、吉原正隆、山内範造、堀三太郎、富安保太郎、藏内次郎作、永江純一、大原義剛、的野半介、安部熊之輔、(大分)木下謙次郎、箕浦勝人、森環、津末良介、元田肇、成清博愛(佐賀)豊増龍次郎、西英太郎、川原茂輔、南里琢一、武富時敏、井原喜代太郎(熊本)山田珠一、原田十衛、宗像政、井手三郎、江藤哲藏、三津家傳之、岡辰喜、尾越辰雄、安達謙藏、(宮崎)小森雄介、高山眞平、三浦得一郎、肥田景之、(鹿兒島)河野庄太郎、庄次竹二郎、武滿義雄、柚木慶二、兒玉好熊、奥田榮之進、志々目藤彦、平田禎、田中省三、(北海道)中西六三郎、平出喜三郎、金子元三郎、五十嵐佐市、佐藤榮右衛門、小池仁郎、(沖繩)護得久朝惟、岸本賀昌、以上當選す(立憲同志會百五十名、立憲政友會百四名、立憲國民黨二十七名、中正會三十五名、無所屬六十五名)○銀行家左右田金作歿す年六十七

三月廿七日 和歌山縣東牟婁郡太地村大火あり、百五十戸焼く

三月廿八日 代議士井上角五郎、選舉違反にて拘引さる

三月廿九日 政論家竹島慶四郎歿す年四十八列強間の日本

三月三十日 來る五月十七日を以て帝國議會召集の詔書を公布す○宮城縣氣仙沼町大火あり一千二百戸を焼き、殆んど全滅す○大日本勸業會社の横領事件に關し、元朝鮮駐劄公使加藤増雄等起訴さる

氣仙沼大火

學習院行幸

大禮使官制公布

武藏野鐵道開通

三月卅一日 皇后、學習院女學部に行啓あり

四月 一日 電氣事業法規則を定む○東京、有樂橋の開橋式を行ふ

四月 二日 天皇、學習院に行幸あり○菊池大麓を教科用圖書調査委員會會長と爲す

四月 五日 丸尾錦作を宮中顧問官に、三好愛吉を皇子傳育官長と爲す

四月 八日 陸軍大將淺田信興、載仁親王、一戸兵衛、大迫尙道に特命檢閲使を仰付らる

四月 九日 子爵本莊宗義歿す年四十九

四月 十日 日支第廿一回交渉を開く

四月十二日 大禮使官制を公布し、鷹司熙通を長官と爲す○山口縣厚狹郡東三留の海底炭坑に於て潮水侵入して三百三十六名、慘死す

四月十五日 子爵戸田忠義歿す年五十四

四月十六日 男爵島津忠欽歿す年七十一

四月十七日 文學的及び美術的著作物保護修正ベルヌ條約追加議定書を公布す○日支第廿四回交渉を開く、談判全く行詰る

四月十八日 飯能、池袋間の武藏野鐵道の開通式を行ふ○東京、名教中學校を開校す

四月二十日 男爵松平正直逝去年七十二○算學者遠藤利貞歿す年六十九

四月廿一日 所澤に於て新造飛行船雄飛號の命名式を行ふ○文學者杉谷代水歿す年四十二

四月廿二日 天皇、伏見宮邸に臨幸あり、馬術を覽給ふ

毒瓦斯使用

四月廿三日 瀬戸内海無線電信局の開通式を行ふ
四月廿四日 獨軍、始て毒瓦斯を使用す○政治家伊藤一郎歿す年六十六 印度哲學世間説、座禪古易、古今哲學思想
四月廿五日 朝鮮の名刹釋天寺炎上す○代議士村上太三郎歿す年五十四
四月廿六日 駐支公使日置益、更に讓歩修正せる新要求案廿四ヶ條を支那政府に提出す○聯合軍ガリポリ半島に上陸す

四月廿七日 朝鮮人公證人懲戒委員會規則を公布す○靖國神社臨時大祭を執行す○民間有志者發起の對支問題懇親會を東京日比谷松本樓に開き、我が對支提案は吾人の根本解決の主張と相距る事遠し、政府は此上一步も退讓す可からずと宣言す

四月廿八日 米國特派使節出羽重遠大將、歸朝す○伊國、遂に塙國へ最後通牒を發す

四月廿九日 天皇、靖國神社に行幸あり

四月三十日 獨軍、露國ボルチツク沿海州に侵入す

四月 中 警視廳不正白米商を檢舉す

明治神宮造營局官制公布

五月 一日 明治神宮造營局官制を公布し、神宮奉祀調査會官制を廢止す○明治神宮を官幣大社に列せらる○朝鮮總督府官制を改正公布す○貞愛親王を明治神宮造營局總裁に、井上友一を局長と爲す○臺灣總督佐久間左馬太を罷め、安東貞美を之に代ふ○東京、電氣化學工業會社を設立す○支那政府は我が最終要求案を拒絶し日支關係危機に直面し、國交斷絶の風評あり

五月 二日 天皇、上野公園に行幸あり、美術展覽會を覽給ふ○奈良大佛殿の落成式を舉行す

第一水雷隊を組織

五月 三日 第一水雷隊を組織す○實業家菅沼達吉歿す年五十二○名妓洗髮のお妻事安達つぎ歿す年四十三

五月 四日 元老大臣會議を開く、日支關係愈々切迫す○伊國は塙國に對し、三國同盟の廢棄を通告す

對支最後通牒を發す

五月 五日 支那政府は駐支公使日置益に妥協案を提出す
五月 六日 關東州、南滿洲鐵道附近に戒嚴令及び懲發令施行の件を公布す○御前會議を開き、支那政府に對し遂に最後通牒を發し、日支關係愈々重大危機に直面す○池田猪三次(静岡)補缺衆議院議員に當選す

五月 七日 第二艦隊、佐世保軍港より出動す○駐支公使日置益は支那外交部を訪ひ、日本政府の修正新要求案に對する支那政府最後の考慮を促す○英國汽船ルシタニア號、愛蘭沖に於て獨逸潜水艇に襲撃せられ沈没して、乗客一千百三十四名溺死す

米光關月歿す

五月 八日 墨西哥沿岸に於て正月三十日坐礁したる軍艦淺間は無事離礁す○獨軍、露國リパウ軍港を占領す○小説家米光關月歿す年四十一 女相場師、女優繁子、玄關、間道、島の女編輯人、探海燈、短刀英雄、提灯物語、生

日支交渉解決

五月 九日 支那外交總長陸徵祥は駐支公使日置益を訪問し、日本政府の要求全部を承認する旨を回答し、日支交渉漸く解決す○日支交渉顛末發表せらる○支那膺懲國民

古莊嘉門逝

大會を東京國技館に開く

五月 十日 貴族院議員古莊嘉門逝去年七十六

五月十三日 天皇、名古屋に行幸あり○漢口に於て支那暴民の日本商店襲撃事件起る○支那

政府は全國港灣、島嶼不割讓を宣言す

五月十四日 天皇、伏見桃山御陵に御參拜あらせらる○子爵岡崎國良逝去年四十三○劇評家

永井素岳歿す年六十四

五月十五日 天皇、還幸あり○同志會大會を開き、對議會方針を決定す○政友會臨時大會を

開き、宣言書を可決す○駐支公使日置益は漢口事件に關して、支那政府に警告

を發す○米國はルシタニア號擊沈問題に關する對獨覺書を發表す

五月十六日 國民黨大會を開く○高田市の善導寺外廿九箇寺を燒失す

五月十七日 第三十六回帝國議會を召集す○島田三郎を衆議院議長に、花井卓藏を副議長と

爲す

五月十八日 泰宮聰子内親王、東久邇宮稔彦王と御結婚あらせらる○國民同盟會の發會式を

行ふ

五月十九日 天皇、陸軍經理學校に行幸あり○高田早苗を貴族院議員と爲す

五月二十日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ

五月廿一日 徳川頼倫は貴族院全院委員長に、大村和三郎は衆議院全院委員長に當選す

五月廿二日 大阪難波橋の開通式を行ふ

臨時議會召集

國民同盟會發會式

五月廿三日 與黨各派聯合第一回大懇親會を東京築地精養軒に開く○國民同盟會大會を日比

谷松本樓に開く

五月廿四日 陸軍中將神尾光臣を東京戊衛總督に、小原傳を第五師團長と爲す○伊國は奥國

國に宣戰を布告す

五月廿五日 日支新條約の調印成る(山東省に關する條約、南滿洲東部及び内蒙古に關する

條約、漢冶萍福建省に關する公文書、膠州灣還附條約)○陸軍中將松石安治逝

去五十七

五月廿六日 駐支公使日置益は支那政府に對し、青島還附を聲明す○陸軍中將齋藤力三郎歿

す年五十五

五月廿八日 天皇、陸軍幼年學校に行幸あり

五月廿九日 東北線瀧澤驛に於て列車顛覆し、重輕傷者十八名を出す

五月三十日 東京、土洲橋成る

五月卅一日 獨逸ツエツペリン飛行船、倫敦を襲撃し、九十個の爆彈を投下す

五月 中 産業組合法を樺太に施行す

六月 一日 日光東照宮三百年大祭を執行す

六月 二日 (衆)増師案、航路補助案、參政官設置費等の追加豫算案全部を可決す○陸軍中

將佐野延勝逝去年六十七

六月 三日 内閣彈劾全國有志大會を東京歌舞伎座に開く○(衆)政友、國民兩黨より提出せ

青島還附聲明

日支新條約調印

荒木寛畝歿す

る外交に關する加藤外相彈劾案を否決す○獨逸軍、露軍を撃破しプゼミスルを奪回す○畫家荒木寛畝歿す年八十五

六月 四日 陸軍中將柴勝三郎を第十八師團長と爲す

六月 五日 天皇、横須賀に行幸あり、新巡洋艦霧島を御親閲あらせらる○輸出眞田取締規則を定む

六月 七日 (衆)政友、國民兩黨提出の選舉干渉に於ける大浦内相彈劾案を否決す○男爵淺野忠純逝去去年五十三

六月 八日 東京に於て日支新條約の批准交換を終る○(衆)政友、國民兩黨提出の内閣不信任案を否決す、議場大混亂に陥る○伯爵酒井忠篤薨す年六十三

日支新條約發表

六月 九日 日支新條約發表せらる○石井岩吉を皇子傳育官と爲す○(衆)政友、國民兩黨提出の島田議長不信任案を否決す○伊軍、埃國モンフォルコンを占領す

六月 十日 帝國議會の閉院式を舉行す○永平寺管長福山默堂に慧光玄照禪師の稱號を賜ふ○國民同盟會を解散す

東亞研究會成る

六月 十一日 官業整理調査委員を置き、若槻禮次郎を委員長と爲す

六月 十二日 同志會有志主唱にて東亞研究會を組織し、主として滿蒙問題の實地に就きて研究す○子爵米津政賢、貴族院議員に當選す

六月 十三日 東京高等蠶絲學校焼失す

六月 十四日 東京帝國大學醫科大學官制を公布す○子爵鍋島直彬逝去去年七十三

望月金鳳歿す

六月 十五日 奥田義人を東京市長と爲す○荒木寅三郎を京都帝國大學總長と爲す○大連會議所を創立す○墨西哥カランザ軍、大いにヴァイラ軍を撃破し、墨國の大部を統一して中央政府を樹立す

無線電信法無盡業法公布

六月 十八日 天皇、赤羽工兵大隊に行幸あり○畫家望月金鳳歿す年七十

六月 十九日 南遣艦隊技隊司令官松村龍雄、東京に凱旋す

六月 廿一日 無線電信法、造幣局特別會計法を各公布す

六月 廿二日 獨逸軍、レムベルグを奪回す

六月 廿三日 鐵道院官制を改正公布し、鐵道院技監を廢止す

六月 廿五日 輸出石鹼取締總則を公布す

六月 廿六日 朝鮮消防組規則を定む

六月 廿七日 代議士白川友一、板倉中等、孰れも増師問題に關し政府より買収せられたる嫌疑あり、瀆職罪として各收監さる○大和天理教本部及び管長邸の家宅搜索を爲し、同教會幹事長松村吉太郎を拘引す

六月 廿八日 樺太の郡町村制を定む○瀆職事件に關し前代議士日向輝武、拘引さる

六月 三十日 看護婦規則を定む○米國大探檢家クツク、東京に來朝す○瀆職事件に關し前代議士濱名信平、拘引さる

六月 中 染料醫藥品製造獎勵法を定む

地方監察官官制公布

七月 一日 地方監察官官制を公布す

參政官設置

七月 二日 各省に正副參政官を新設す○久保田政周を内務次官に、菅原通敬を大藏次官に井上友一を東京府知事と爲す○安達謙藏を外務省參政官に、下岡忠治を内務省參政官に、濱口雄幸を大藏省參政官に、眞鍋斌を陸軍省參政官に、早速整爾を海軍省參政官に、藤澤幾之輔を遞信省參政官に、田川大吉郎を司法省參政官に桑田熊藏を文部省參政官に、町田忠治を農商務省參政官と爲す○醫學界の奇傑川上元次郎歿す年五十二

七月 三日 樺太漁業令を改正公布す○井芹康也を貴族院議員と爲す○モデル周旋の元祖宮崎菊子歿す年七十二

中央畜産會設立

七月 五日 中央畜産會を設立す

七月 六日 國民黨常議員會に於て、犬養毅は日露親善意見を發表す○代議士守屋此助、選舉違反にて起訴さる

三津木春影歿す

七月 八日 小説家三津木春影歿す年三十七 國境線、山の宿、豫診室、防波堤の外、泥路、官能の扉、破船、夜の草、濱田の日記、牛乳屋の妻、短日、菅野と女、櫻、船窓、漂泊、雷雨、丘の家、菜畑、中學教師、産婆、侮辱、勿忘草、催眠藥、歸路、同類、股引、辻占、海上、愚夫

七月 九日 天皇、東京帝國大學に行幸あり○小石川東電出張所七人殺しの犯人引馬辰吉捕はる○臺灣阿緱廳管内の生蕃蜂起して警官六名家族五名を殺害す

七月 十日 子爵八條隆正、貴族院議員に當選す○萬國佛教徒大會參列の爲め、日本各宗派代表日置默仙、米國に赴く

七月 十一日 日西修好通商條約を公布す

日佛宣言書交換

七月 十四日 日佛宣言書を交換す○東北帝國大學官制を改正公布す

七月 十五日 朝鮮平安北道に大洪水あり、河水氾濫して家屋流失二十四戸、日鮮人五十四名溺死す○英軍、獨領南西阿弗利加を占領す

七月 十六日 霧島山大噴火あり

七月 十九日 臺灣總督府官制を改正公布す

七月 二十日 内務大臣より肺結核療養所を東京、大阪、神戸に設置命令を發す○政友會東北大會を福島に開く○瀆職事件に關し代議士増田穰三、拘引さる

朝鮮商業會議所令公布

七月 廿一日 朝鮮商業會議所令を公布す○朝鮮傳染病豫防令を公布す

七月 廿二日 臺灣總督府、阿里山作業所を廢止し、營林局を設く

七月 廿三日 統計家細川雄次郎歿す年六十五 日本財政總覽 明治財政要鑑

七月 廿四日 三島毅を宮中顧問官と爲す○前樺太廳長官平岡定太郎に係る横領被告事件の豫審決定す

七月 廿六日 宮中に參内する者の袴の制を公布す○朝鮮開港取締規則を定む

七月 廿七日 三島中洲の經營せる東京二松學舎に對し、特に思召を以て金一萬圓を下賜さる

朝鮮大洪水 ○朝鮮平安南北兩道に再び大洪水あり、流失家屋三百二十七戸、全潰家屋五百九十七戸、溺死者五百三十一名を生ず

七月 廿八日 勅任總領事を設置す○瀆職事件に關し衆議院書記官長林田龜太郎、前代議士太田直次を收監す

大隈首相辭表を捧呈

樺太に郡町村制を施行

佐久間左馬太薨す

七月廿九日 濱職事件に關し内務大臣大浦兼武その身邊愈々危険に類せるを以て、遂に辭表を捧呈す○衆議院書記官長林田龜太郎を罷免す○東京上野公園不忍池畔の江戸記念博覽會の開會式を行ふ○政治家才賀藤吉歿す年四十六

七月三十日 内閣總理大臣大隈重信、參内して大浦内相問題に關し、監督不行届の責を引いて總辭表を捧呈す

七月卅一日 畜産組合法施行規則を定む○南洋酋長以下二十二名、始めて來朝す

八月 一日 樺太廳の五支廳を廢止し、新に郡町村制を施行す○大浦兼武は貴族院議員其他一切の公職を辭す○實業家吉岡哲太郎歿す年五十六

八月 二日 和歌山縣新宮町大火あり五百戸を焼く

八月 三日 元老會議を宮中に開き、首相大隈重信に留任を勸告す

八月 四日 陸軍大將佐久間左馬太薨す年七十二

八月 五日 外務大臣加藤高明、大藏大臣若槻禮次郎、海軍大臣八代六郎は連帶責任論を以て辭職を決意し、他は留任するに決す○新潟縣西蒲原郡内野村大火あり、二百餘戸を焼く○獨軍、波蘭ワルソウを占領す

八月 六日 岡崎國臣を衆議院書記官長と爲す

八月 七日 青島港則を定む○東京大相撲梅ヶ谷、西ノ海一行、權濱解纜、米國に赴く

八月 九日 首相大隈重信、參内して内閣改造の經過頭末を委曲伏奏す○濱職事件に關し前代議士丸尾光春、水間此農夫を收監す○馬賊の巨魁天鬼事薄益三、東京に於て

大隈内閣改造

西川春洞歿す

八月 十日 憲兵隊に捕へられ、青島に護送さる

内閣一部改造成立し、大隈重信を内閣總理大臣兼外務大臣に、一木喜徳郎を内務大臣に、武富時敏を大藏大臣に、加藤友三郎を海軍大臣に、高田早苗を文部大臣に、箕浦勝人を遞信大臣に爲し、外務大臣加藤高明、大藏大臣若槻禮次郎、海軍大臣八代六郎を罷む○陸軍中將一戸兵衛、内山小二郎、大迫尙道を大將に、少將宇宿行輔、河合操を中將と爲す○海軍中將藤井較一を第一艦隊司令長官に、山下源太郎を佐世保鎮守府司令長官と爲す○加藤高明を貴族院議員と爲す○書家西川春洞歿す年六十九楷書千字文、隸書千字文、行書千字文、草書千字文、篆書千字文

八月十一日 東京に日蝕あり○男爵今歸仁朝敷逝去年六十九

八月十二日 西久保弘道を警視總監に、俵孫一を北海道廳長官と爲す○宮内次官河村金五郎を罷め、石原健三之に代る○實業家後藤勝造歿す年六十七

八月十三日 大禮記念章を制定す

八月十四日 天皇、日光御用邸に行幸あり○第一回居据内閣彈劾大演說會を東京新富座に開く

八月十五日 横濱驛の新築成る

八月十六日 成田榮信(愛媛) 補缺衆議院議員に當選す○實業家佐竹作太郎歿す年六十七

八月十八日 第一回全國中等學校野球大會を大阪箕有電車沿線の豊中球場に開く○獨軍、遂に露國コウノ要塞を占領す

八月十九日 一木喜徳郎を明治神宮造營局副總裁と爲す○公爵島津忠濟薨す年六十一

八月二十日 朝鮮神社寺院規則を定む○關東各地に大雷雨あり○近衛野砲兵聯隊の兵士悉く

窒扶斯に罹り、病勢猖獗を極む○臺灣植物研究家川上瀧彌歿す年四十五護謨樹之栽培法、

臺灣野生護謨樹

八月廿一日 藤澤幾之輔を内務省參政官に、大津淳一郎を文部省參政官に、加藤政之助を大

藏省參政官に、木下謙次郎を逓信省參政官と爲す○京城に於て重大陰謀事件發

覺し、犯人十名捕へらる○新藥六〇六號發明者エールリツヒ博士逝く年六十四

八月廿二日 伊國、土耳其に宣戰を布告す

八月廿四日 漢學者日高誠實歿す年八十近古戰記、復讐録、梅嶺雅集、伊賀上野復讐録、奇聞集、詩集、文稿、日記、神田橋復讐録、紀州黒石峠復讐録

八月廿五日 選舉違反にて代議士大橋松二郎收監さる

八月廿六日 政友會北信八州大會を長野に開く○林田龜太郎等、保釋出獄す○我國螺旋銃の

元祖山本熊太郎歿す年六十五

八月廿八日 海軍中將島村速雄、加藤友三郎を大將と爲す○男爵佐竹義準、貴族院議員に當

選す

八月廿九日 岡、佐藤兩大尉は所澤、高田間の本州山嶽横斷大飛行を遂行す

八月三十日 立憲同志會主催の時局聯合大會を東京築地精養軒に開く○淨瑠璃太夫竹本彌太

夫歿す年五十一

九月 一日 侯爵井上馨薨す年八十一

井上馨薨す

九月 二日 獨軍、波蘭グロドノを占領す

九月 三日 添田壽一を鐵道院總裁と爲す

九月 四日 洋畫家五姓田芳松歿す年六十○洋傘界の恩人河野寅吉歿す年五十八

九月 五日 瀆職事件に關し前代議士關信之介、高津仲次郎を拘引す○倫敦に於て英、佛、

露三國は單獨非講和條約を締結す

九月 六日 天皇、日光より還幸あり○故土生玄碩に従四位を追贈さる○瀆職事件に關し前

代議士濱名信平、太田直次收監さる○前代議士小柳卯三郎歿す年七十二

九月 八日 印度及西藏を探檢せる僧河口慧海歸朝す○新潟縣北蒲原郡南濱村大火あり、百

二十六戸を焼く○瀆職事件に關し前代議士根岸曙太郎收監さる

九月十一日 京城に於て朝鮮共進會の開場式を行ふ○高田早苗を教育調査會副總裁と爲す

九月十二日 子爵裏松良光薨す年六十六○僧東光密庵寂す年七十八

九月十三日 乃木伯爵家を再興し、毛利元智之を相續し、新に伯爵を授けらる、輿論は是れ

を以て故乃木大將の遺言を無視するものとし、囂々とし政府を非難す○小説家

福田琴月歿す鎮西八郎、叔母さん、伏見城の一夜、梅もどり、米飯、捨子、虚榮心、大戦の前夜、賄賂、一人合點

九月十五日 儒者田邊太一運歿す年八十五幕末外

九月十六日 上野公園に於て東照宮三百年祭を執行す

九月十八日 秋季演習令を制定す○獨軍、露國ウイールナを陥落す

九月十九日 男爵岡内重俊薨す年七十四

秋季演習令制定

五姓田芳松歿す

乃木家再興

海軍技術本部令公布

九月廿一日 文部省の新大學令案發表さる
九月廿二日 海軍技術本部令、海軍艦政部令を各公布す○高松地方裁判所に於て代議士白川友一、板倉中、増田穰三外十六名に係る瀆職事件の豫審決定し、悉く有罪と爲る

土肥樵石歿す

九月廿三日 海軍中將吉松茂太郎を第一艦隊司令長官に、藤井較一を横須賀鎮守府司令長官に、伊地知季珍を吳鎮守府司令長官と爲す
九月廿五日 所澤に於て飛行機墜落し、岩富英中尉重傷す○書家土肥樵石歿す年七十五
九月廿六日 心理學者原口鶴子歿す年三十神經疲勞の實際的經驗、樂しき思ひ出
九月廿七日 横須賀海軍工廠創立五十年記念祝典を行ふ
十月 一日 海軍艦政本部を廢止し、技術本部を新設す○御大典記念博覽會を京都圓山公園に開く
十月 二日 伯刺西爾特命全權公使エーバーミナダツ・レーテ・シエルモン、參内して信任狀を捧呈す○上松泰造を貴族院議員と爲す○朝鮮銀行總裁市原盛宏逝去年五十八
十月 三日 朝鮮鐵道一千哩祝賀式を京城に於て舉行す
十月 四日 陸軍少將田中義一を中將と爲す○陸軍中將明石元二郎を第六師團長に、田中義一を參謀次長と爲す
十月 五日 無盡業法施行細則を定む○米る十一月廿九日を以て帝國議會召集の詔書公布す

米價調節調査會官制

十月 六日 獨逸軍、塞國に侵入す
十月 七日 米價調節調査會官制を公布す○明治神宮地鎮祭を執行せらる○金工家海野勝珉歿す年七十二

石井菊次郎外相就任

十月 八日 露國は勃牙利と開戦す○希臘は聯合國に對し、好意的中立を維持する旨聲明す
十月 九日 獨逸軍はセルビヤ首都ベルグラードを陥落す
十月 十一日 勃牙利軍はセルビヤと開戦す
十月 十二日 明治神宮奉贊會總會を新宿御苑に開く
十月 十三日 駐佛大使石井菊次郎歸朝し、即日、外務大臣と爲る
十月 十四日 醫藥染料製造獎勵法補助規程を公布す
十月 十五日 英國は勃牙利に宣戦を布告す○子爵松井康義歿す年四十五
十月 十六日 農商務省は米價調節案を發表す○金子堅太郎を維新史料編纂局總裁と爲す○子爵土御門晴榮薨す年五十七

單獨非講和同盟に加入

十月 十七日 政教社主催の乃木家再興問題有志大會を日比谷公園松本樓に開く○俳人大主耕雨歿す年八十一
十月 十八日 天皇、東京發輦あり○佛國は勃牙利に宣戦を布告す
十月 十九日 天皇、津輕に著輦あり○帝國政府は講和に關する英、佛、露三國の單獨非講和

渡邊重石丸 歿す

同盟に加入し、現下の戦事講和に關して、凡て協同一致を明確にす○日置默仙、東京大相撲梅ヶ谷等、米國より歸朝す○國學者渡邊重石丸歿す年八十校定古語拾遺、古語拾遺罪言、神樂罪言稿、筑波の風、惘言概言、眞教説源、冥靈的證考、學海針路、因循物語、修身禮要稿、皇學所問答次第、新封建論評、天御中生命考、古語拾遺乙覽、和歌詩文稿、固本策、鶯橋園小章等

十月二十日 下村宏を臺灣總督府民政長官と爲す

十六

十月廿三日 天皇、南津輕郡黒石町公園に臨み、大演習を御統監あり○岩下清周外五名に係る北濱銀行事件の豫審決定す○やまと新聞社長松下軍治歿す年四十九

津輕爲信に 贈位

十月廿四日 天皇、弘前練兵場に行幸あり、大演習觀兵式を行ひ給ふ○故津輕爲信外七名に贈位あり○日本製砲製艦の恩人英人サー・アンドリユー・ノーブル逝く年七十

五

十月廿六日 天皇、還幸あらせらる

十月廿七日 英國に於て新造せる驅逐艦浦風、横須賀に著す○神奈川縣酒匂川の吊橋墜落し、死傷者十七名を出す

對支勸告

十月廿八日 日、英、露三國、協同して支那袁世凱に對し、帝政延期に關する勸告を爲す○大阪府立高等醫學校を大阪醫科大學と改稱す

十月廿九日 對支勸告の頭末公表さる○幣原喜重郎を外務次官に、松井慶四郎を特命全權大使と爲し、佛國に駐劄せしむ

臺灣陰謀事 件判決

十月三十日 柴四郎を外務省參政官と爲す○臺北臨時法院に於て、世上の耳目を聳動せる陰謀事件の判決言渡あり、死刑九百三名に達す

十月卅一日 天皇、内外臣僚を召し、豊明殿に宴を賜ひ、優渥なる勅語を賜ふ

十一月 一日 第三練習艦隊を以て奉祝聯合艦隊を組織し、海軍中將吉松茂太郎を司令長官と爲す○支那政府は帝政を布くも動亂の虞なし、と婉曲の辭令を以て、日、英、露三國の協同勸告を拒絶す○相撲年寄出羽ノ海運右衛門歿す年六十六

十一月 二日 東京ステーションホテル開業す

十一月 三日 横須賀に於て戰艦山城の進水式を行ふ○地中海に於て汽船靖國丸擊沈さる○貴族院議員馬屋原二郎歿す年六十八元治甲子禁門事變實歴談、英佛民法異同條辨、防長十五年史、各國民民法異同條辨

十一月 四日 畫家谷口香嶠歿す年五十二

十一月 五日 陸軍服裝規則を改定す○落合謙太郎を特命全權公使と爲し、和蘭に駐劄せしむ

○獨逸軍、塞國ニツシを陥落す

十一月 六日 天皇、宮城發輦あり○日獨從軍記章令を定む

十一月 七日 天皇、京都に著輦あり

十一月 十日 天皇、紫宸殿に於て即位の大禮を行はせ給ふ○恩赦の詔あり○減刑を公布す○養老賑恤の資として金百萬圓を下賜せらる○故豊臣秀吉に正一位、三條西實隆、山科言繼に従一位、北畠具行、徳川頼宣、龜井茲監に正三位、源頼義、源義家、日野邦光に正三位、其他三百五十八名に各贈位あり○京都八坂神社、東京日枝

即位

谷口香嶠 歿す

三黨首會合

神社、和歌山竈山神社、同熊野座神社、同熊野速玉神社を官幣大社に、石川氣多神社、愛媛大山祇神社、福岡高良神社、三重多度神社を國幣大社に、山口玉垣神社、長崎諏訪神社を國幣中社に、福岡住吉神社を官幣小社に、熊本藤崎八幡宮を國幣小社に、山口野田神社を別格官幣社に昇格さる

十一月十一日 支那政府は日、英、露、佛四國に對し、公式に帝制實施を延期する旨、通告す

十一月十三日 ジョツフル元帥、聯合軍總司令官と爲る

十一月十四日 京都に於て加藤高明、犬養毅、原敬、三浦梧樓と會談して、政界注視の焦點となる

十一月十六日 京都市へ金十五萬圓を同府へ金三萬圓を下賜せらる

十一月十七日 京都に於て智利公使エルボツソ逝く年五十三

十一月十九日 天皇、伊勢に行幸あり○松田源治(大分) 補缺衆議院議員に當選す

十一月二十日 天皇、豐受大神宮に親謁あり

十一月廿一日 天皇、皇大神宮に親謁あり

十一月廿二日 天皇、京都に還幸あり○子爵京極高義、貴族院議員に當選す

十一月廿四日 天皇、畝傍山山陵に親謁あり

十一月廿五日 天皇、伏見桃山御陵に親謁あり○看護婦の率先者杉本兼子歿す年七十八

十一月廿六日 天皇、泉涌寺に行幸あり

十一月廿七日 天皇、京都發輦あり○同志會大會を開き對議會策を決す○政友會大會を開き宣言を可決す○無所屬議員五十五名は公友俱樂部を組織す○子爵米田虎雄逝去年七十七

公友俱樂部組織

十一月廿八日 天皇、還幸あらせらる○國民黨大會を開く○印度革命志士グブタ、タクールの兩名に退去を命令す、輿論、囂々として之に反對す○畫家小林清親歿す年六十九

千駄谷大火

十一月廿九日 第卅七回帝國議會を召集す○藥學者藤本理歿す年五十七

十一月三十日 大森鐘一、穂積陳重、横田國臣、田中芳男、山川健次郎、三井高保、大倉喜八郎、古河虎之助、森村市左衛門に男爵を授く○東京府下千駄ヶ谷大火あり、百七十戸焼く○勃軍、塞國プリズレンドを占領す

十二月 一日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○退去命令を受けたる印度志士グブタ、タクール兩名は東京靈南坂の頭山滿邸に入りし儘踪跡を晦まし、警視廳大いに狼狽す○男爵辻新次歿す年七十四

十二月 二日 天皇、青山練兵場に行幸あり、大觀兵式を行はせらる○第四皇子、御誕生あり

○石炭爆發取締規則を定む○徳川頼貞は貴族院全院委員長に、金子元三郎は衆議院全院委員長に當選す

造機官新設

十二月 三日 海軍將校相當官に造機官を新設す

十二月 四日 天皇、横濱に行幸あり、御召艦筑波に乗御し、特別大觀艦式を行ひ給ふ○追濱に於て海軍飛行機墜落し、青木卓治中尉慘死す

ナイルス來朝

十二月五日 上海に帝制反對の大暴動起る、砲聲全市に轟き大混亂を極む
十二月六日 三度び地方長官會議を開く○上海の大暴動鎮定さる
十二月七日 (衆) 首相大隈重信、施政方針を演説す○米國冒險飛行家チャールズ、ナイルス、來朝す○東京本所業平町大火あり三百餘戸を焼く

上野公園行幸

十二月八日 第四皇子を崇仁と名け、澄宮と稱し給ふ
十二月九日 天皇、上野公園に行幸あり、東京市民の祝賀を受け給ふ○東京市に金十萬圓を下賜さる○田内三吉に澄宮崇仁親王御養育係長を仰付らる○理學者坂内冬藏歿す年五十七○代議士大村和吉郎歿す年七十二
十二月十日 天皇、親しく文相高田早苗を召し、教育振興に關する優渥なる御沙汰書を下し給ふ

北里研究所開設

十二月十一日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○首相大隈重信、其官邸に於て大夜會を開く○青山練兵場に於て米國冒險飛行家ナイルス、始めて宙返り飛行を行ふ○東京芝白金三光町の北里研究所の開所式を行ふ
十二月十二日 天皇、海軍大學校に行幸あり
十二月十三日 海軍少將土屋光金、伊藤乙次郎、江口鱗六を中將と爲す○海軍中將八代六郎を第二艦隊司令長官に、名和又八郎を舞鶴鎮守府司令長官に、村上格一を第三艦隊司令長官と爲す
十二月十四日 勝田主計を朝鮮銀行總裁と爲す○儒醫岩井禎三歿す年五十八

八坂丸沈没

十二月十五日 日、英、露、佛、伊五國は再び支那政府に向け、國內の擾亂に對し、完全なる責任を負ふ可き旨を通告す○内閣彈劾大演說會を東京明治座に開く○山道襄一(廣島) 補缺衆議院議員に當選す
十二月十六日 劍客下山信之歿す年七十五
十二月十七日 陸軍大將上原勇作を參謀總長に、一戸兵衛を教育總監と爲す○政治家白石義郎歿す年五十五
十二月十八日 (衆) 政友、國民兩黨より提出せる内閣彈劾決議案を否決す
十二月十九日 政府與黨各派の聯合大會を開き、宣言決議を可決す
十二月二十日 清峯太郎(静岡) 補缺衆議院議員に當選す
十二月廿一日 田租延納に關する法律を公布す○地中海に於て獨逸潛航艇の爲め日本郵船八坂丸撃沈せらる○前製鐵所長官堀田連太郎歿す年五十九
十二月廿二日 天皇、赤坂離宮に行幸あり、親しく全國獻上品を覽給ふ○判事大塚正男逝去年七十
十二月廿三日 勤王家藤本洲二歿す年六十八
十二月廿五日 (衆) 總豫算案を可決す○子爵大給近孝、貴族院議員に當選す○文章家長田秋濤歿す年四十六
十二月廿六日 衆議院副議長花井卓藏罷む、早速整爾、之に代る○支那雲南に革命黨蜂起し、獨立を宣言す○講談師柴田旭窓歿す年七十一

朝鮮鑛業令公布

十二月廿七日 久我通久を宗秩寮總裁に、鷹司熙通を侍從長と爲す○岩倉具綱、片山東熊を宮中顧問官に、九條道實を賞典長に、入江爲守を御歌所長と爲す○男爵吉川重吉逝去年五十七○宮中顧問官齋藤桃太郎薨す年六十三
十二月廿八日 朝鮮鑛業令を公布す○俳優市川壽之助歿す年四十
十二月廿九日 鵜澤總明(千葉) 補缺衆議院議員に當選す○支那政府は帝制承認要求の爲め特使周自齋を日本に派遣するに決す

大正五年 丙辰 皇紀二五七六年 西曆一九一六年

小山正太郎歿す

正月 二日 實業家橋本忠次郎歿す年六十一
正月 四日 廣島縣目張崎沖に於て客船顛覆し五十餘名溺死す
正月 六日 名古屋監獄焼失す
正月 七日 洋畫家小山正太郎歿す年五十九
正月 八日 天皇、宮城前外苑に臨み、陸軍始大觀兵式を行はせられる○子爵藤波言忠を貴族院議員と爲す○支那政府は曹錕を雲南討伐總司令と爲す
正月 九日 相撲年寄錦島七太郎歿す年五十四
正月 十日 横濱港外に於て舢舨顛覆し、水兵九名溺死す
正月 十一日 露國皇帝名代ゲオルギー・ミハイロウイチ大公、神戸に來朝さる○陸軍中將高島駒之助逝去年五十六
正月 十二日 天皇、東京驛に幸し、親しく露國皇帝名代ゲオルギー・ミハイロウイチ大公

高島駒之助逝く

大隈首相遭難

を御出迎あり○首相大隈重信、宮中よりの歸途牛込山吹町に於て兇漢福田和五郎、下村馬太郎等の爲め、其自動車に爆裂彈を投ぜらる○銀行家外山脩造歿す年七十五

臺灣醫師令公布

正月十三日 天皇、霞ヶ關離宮に行幸あり○小松原英太郎を樞密顧問官と爲す○臺灣醫師令を公布す○モンテ・ネグロ首府セツテンエ陥落す○俳優尾上梅昇歿す年五十三
正月十五日 嘉納徳三郎を專賣局長官と爲す○臨時閣議を開き、支那特使周自齊の來朝を拒絶するに決し、駐支公使日置益に訓令す
正月十六日 京都疏水の恩人北垣國道逝去年八十一鐵道問答
正月十七日 大隈首相に對する爆彈犯人福田和五郎、和田政吉、下村馬太郎、鬼倉重次郎を檢舉す
正月十八日 宮中新年歌御會始めあり、勅題「寄國祝」なり○支那動亂益々擴大の形勢あるを以て、我が第三艦隊を上海に派遣す
正月十九日 岡部次郎を海軍參政官と爲す○俳優秋月桂太郎歿す年四十六○講談師泰々齋桃葉歿す年六十四
正月二十日 陸軍中將栗田直八郎を第十四師團長と爲す○能役者寶生藤方歿す年六十八
正月廿一日 大禮使官制を廢止す○支那政府は日置益公使に對し、帝制延期の旨を通告し來る
正月廿二日 工場監督官を新設す○檢事高木秀臣逝去年八十五

工場監督官設置

對支警告を發す

正月廿三日 澄宮崇仁親王、初參内あらせらる
 正月廿四日 帝國政府、更に支那政府に對して、帝制中止の警告を發す
 正月廿五日 養蠶界の泰斗佐々木長淳歿す年八十七養蠶改良法 ○僧黒田眞洞寂す年六十四
 正月廿六日 穂積陳重を樞密顧問官と爲す ○東洋一の稱ある横須賀大船渠の開渠式を行ふ
 正月廿七日 天皇、陸軍戸山學校に行幸あり ○政友、國民兩黨より瀆職事件に關する内閣彈劾上奏案を衆議院に提出す ○浦瀬濟之(長崎) 補缺衆議院議員に當選す ○長崎縣壹岐郡端島炭礦に於て瓦斯爆發し、重輕傷者十名を出す
 正月廿八日 天皇、葉山に行幸あり ○露國皇帝名代ゲオルギー・ミハイロウイチ大公、宮島解纜歸國せらる

羅馬法王特使來朝

正月廿九日 國庫出納金端數計算法を公布す ○減債基金問題にて貴族院の態度硬化す ○加治壽衛吉(香川) 補缺衆議院議員に當選す ○獨逸飛行船、始めて巴里を襲撃す
 正月三十日 羅馬法王特使ベトレリ僧正、長崎に來朝す
 正月卅一日 首相大隈重信、使者を小田原に遣はして山縣有朋に貴族院への調停を依頼懇請す ○俳優中村仲藏歿す年六十四
 二月 一日 山縣有朋、小田原より上京す ○前樺太廳長官平岡定太郎に係る樺太疑獄事件の第一回公判を開く ○法學博士岡村輝彦歿す年六十二英國證據法、古の辯護士及今の辯護士
 二月 二日 羅馬法王特使ベトレリ僧正入京す ○臺灣を出發せる汽船大仁丸は香港沖に於て支那汽船と衝突沈没し、乗員百六十七名溺死す ○本邦病理學の開祖三浦安治

大仁丸沈没

政府對貴族院の内訌解決

二月 三日 逝去年六十移獄集、脚氣法、脚氣治癒法、脚氣之病理 天皇、葉山より還幸あり、親しく羅馬法王特使ベトレリ僧正の賀詞を享け給ひ、即日葉山に行幸あり ○(衆) 瀆職事件に關する内閣彈劾上奏案を否決す
 二月 四日 減債基金問題に關する政府對貴族院の内訌は山縣有朋の居中調停に依りて妥協成立す ○中野貫一(新潟) 補缺衆議院議員に當選す
 二月 五日 西ノ海嘉次郎を横綱と爲す
 二月 六日 支那雲南革命軍は瀘州を占領す
 二月 八日 皇后、葉山に行啓あり ○(貴) 豫算案全部を可決す ○支那江西に革命起る
 二月 九日 東京芝中學校燒失す ○男爵加藤弘之逝去年八十一交易問答、國體新論、立憲政體論、小學教
 二月 十日 天皇、葉山より還幸あり ○(衆) 軍人恩給法修正案を可決す
 二月 十一日 代議士抽木慶二歿す年五十八
 二月 十二日 伊集院彦吉を特命全權大使と爲し、伊國に駐劄せしむ ○羅馬法王特使ベトレリ僧正退京す
 二月 十三日 天皇、葉山に行幸あり
 二月 十四日 (衆) 日支銀行滿州銀行兩法案を可決す ○水産界の恩人松原新之助歿す年六十
 二月 十五日 陸軍大將川村景明に臺灣特命檢閱使仰付らる ○東京府下駒場の農科大學燒失す

加藤弘之歿す

農科大學燒く

原在泉歿す

今村紫紅歿す

二月十六日 露軍、小亞細亞エルセルムを占領す
 二月十七日 淨瑠璃太夫竹本染太夫歿す年六十四
 二月十九日 木尾虎之助(鹿兒島) 補缺衆議院議員に當選す
 二月二十日 群馬縣鬼石町大火あり百七十七戸焼く
 二月廿一日 獨軍、大舉して佛國大要塞ヴェルダンの攻撃を開始す○法學博士富田山壽歿す
年三十八 最近刑事訴訟法要論、刑事訴訟法講義
 二月廿二日 (衆) 妥協募債案を可決す
 二月廿三日 青島戰役の論功行賞發表さる○支那袁世凱は大總統令を以て、再び帝制延期を公式に宣明す○畫家原在泉歿す年六十八
 二月廿四日 貴族院各派交渉會を開く
 二月廿五日 (貴) 借替公債利率案を可決す○大隈首相爆彈事件に關して、田中舍身、肥田琢司、拘引さる○東京芝田町の森永製菓會社全焼す○露軍、波斯ケルマンシヤ一を占領す
 二月廿六日 福岡縣伊田町三井炭礦に於て瓦斯爆發し、即死四名、重傷者十四名を出す
 二月廿七日 (衆) 議長島田三郎不信任案を否決す○對支問題有志大會を東京築地精養軒に開く○貴族院議員富田鐵之助逝去年八十二海舟年譜、銀行小言
 二月廿八日 小田原地方に暴風雨あり、漁夫五百餘名、遭難行方不明と爲る○畫家今村紫紅歿す年三十七

理化學研究所國庫補助法

海軍航空隊令公布

三月 二日 支那北軍、叙州を回復す
 三月 四日 豫約出版法を樺太に施行す○安廣伴一郎を樞密顧問官と爲す○儒者元田南豐歿す年八十三大政類典、制度沿革考、日本新民法、南豐先生詩集、同文集、東京土産
 三月 五日 相撲年寄勝の浦與四右衛門歿す年六十一
 三月 七日 理化學研究所國庫補助法を公布す○船越光之丞を特命全權公使と爲し、墨西哥に駐割せしむ
 三月 八日 東京府大崎町の日蓮宗大學焼く
 三月 九日 獨逸は葡萄牙に宣戰を布告す
 三月十一日 東京日本機械會社を設立す
 三月十二日 英文學者ローレンス東京にて客死す年六十六
 三月十三日 相撲年寄尾車文五郎歿す年五十一○言語學者平井金三歿す年五十七大英文典、心靈の現象、宗教と政治、三摩地
 三月十四日 東京市會を開き、電車賃値上案を可決す○電車値上反對市民大會を日比谷公園松本樓に開く
 三月十五日 東京府下の目黒火藥庫爆發す、人畜に死傷無し○支那廣西省、獨立を宣言し、雲南貴州の革命軍と合流す
 三月十六日 文學者角田浩々歌客歿す年四十八詩國小觀、漫遊人國記、戀愛と藝術と天才と、鳴心録、出門一笑、流人、失敗と成功
 三月十七日 海軍航空隊令を公布す

スミス來朝

三月十八日 米國曲藝飛行家アート・スミス、來朝す○陸軍中將川村宗五郎逝去去年五十九
三月十九日 天皇、皇后、葉山より還幸啓あり○俳優市川右團次歿す年七十四
三月二十日 ボリヴィア共和國との通商條約を公布す○海軍飛行機、東京市芝明舟町に墜落
して頓宮基雄大尉、阿部新治中尉慘死す

三月廿一日 支那大總統袁世凱は皇帝推戴を辭退す○露軍、波斯イสบハンを占領す

三月廿二日 高松地方裁判所に於て白川友一、林田龜太郎外十五名に係る代議士瀆職事件の
第一回公判を開く

三月廿四日 伊太利特命全權大使コッキボアツソ參内して國書を捧呈す○陸軍中將橋本勝太
郎を第十九師團長と爲す

明治神宮新
始式

三月廿五日 明治神宮の新始式を舉行す○海軍大將伊集院五郎に海軍特命檢閲使を仰付らる
○僧釋大眞寂す年四十四

三月廿六日 代議士翠川鐵三歿す年五十七

三月廿七日 皇后、學習院女學部に行啓あり

三月廿九日 皇后、關西に行啓あり○僧福山默童寂す年七十六○歌人海上胤平歿す年八十八

海上胤平歿
す

三月三十日 陸軍大臣岡市之助辭職し、大島健一、之に代る○田村順之助(栃木) 補缺衆議

院議員に當選す○海軍中將中牟田倉之助薨す年八十八

海軍省官制
改正

三月卅一日 天皇、學習院に行幸あり○海軍省官制を改正公布し、艦政局、機關局を新設し、

若松丸沈没

四月 一日 天皇、東京發輦あり○朝鮮總督府、専門學校官制を公布す○尼ヶ崎町に市制を

施行す○横須賀に海軍航空隊を新設す○海軍少將加茂嚴雄を中將と爲す○陸軍

中將立花小一郎を第十九師團長と爲す○桐生、高等染織學校を開設す○福田和

五郎外十九名に係る大隈首相爆彈事件の豫審決定す

四月 二日 天皇、奈良に著輦あり○皇后、奈良春日神社に行啓あり○政友會關東大會を埼

玉縣大宮町に開く○南畫家益頭峻南歿す年六十六

益頭峻南歿
す

四月 三日 天皇、皇后、畝傍山に行幸啓あり、二千五百年御親祭を行はせらる

四月 四日 濱本義顯(鳥取) 補缺衆議院議員に當選す

四月 五日 天皇、奈良發輦あり、熱田神社に親謁し給ふ○皇后、奈良より京都に行啓あり

○飛行家アート・スミス、鴻の臺に於て初曲藝飛行を行ふ○支那四川省廬州に
於て南北兩軍の激戦あり

畜産試験場
官制公布

四月 六日 天皇、還幸あらせらる○皇后、伏見桃山御陵並に泉涌寺に御參詣あり○畜産試
験場官制を公布す○樺太廳、高等女學校官制を公布す○支那廣東省、獨立を宣
言す

軌制調査會
設立

四月 七日 朝鮮鑛業登録規則を定む
四月 八日 岡部長職を樞密顧問官と爲す○飛行家アート・スミス、青山練兵場に於て曲藝飛行を行ふ○男爵松尾尾臣善逝去年七十四

四月 九日 田中萬逸(大阪) 補缺衆議院議員に當選す

四月 十日 皇后、關西より還啓あらせらる○軌制調査會を設立し、大隈重信を會長に、添田壽一を副會長と爲す○大藏省に銀行局を新設す○臺灣勸業共進會を臺北に開

四月 十一日 内閣統計局に顧問を設置す○故江藤新平に正四位、島義勇、前原一誠に從四位、

江藤新平等
に贈位

桐野利秋、後原國幹に正五位、奥平謙輔、大山綱良、桂久武、村田新八に從五位を贈位さる

四月 十二日 支那浙江省、獨立を宣言す

四月 十三日 田尻稻次郎を會計検査院長に、岡野敬次郎を行政裁判所長官と爲す○下野那須野ヶ原の乃木神社鎮座式を執行す

乃木神社鎮
座式

四月 十四日 陸軍大將長谷川好道、載仁親王、淺田信興に陸軍特命檢閲使を仰付らる

四月 十五日 阪谷芳郎を聯合國經濟會議特派委員長と爲す

四月 十六日 天皇、伏見宮邸に行幸あり、能樂を覽給ふ

四月 十七日 露軍、小亞細亞トレビゾンドを占領す

四月 十八日 天皇、宮中に於て新設の朝鮮第十九師團の七箇聯隊に各軍旗を親授し給ふ

南京獨立宣
言

四月 十九日 天皇、皇后、濱離宮に行幸啓あり、觀櫻御會に臨み給ふ

四月 廿一日 支那南京、遂に獨立を宣言し、南北の妥協は茲に全く破裂す

四月 廿二日 風間禮助(長野) 補缺衆議院議員に當選す

四月 廿四日 田中館愛橋を航空學研究所委員長と爲す○愛蘭に暴動起る

四月 廿五日 經濟調査會官制を公布し、大隈重信を會長に、武富時敏、河野廣中を副會長と爲す

經濟調査會
官制

四月 廿七日 皇后、上野公園の日本美術協會に行啓あり○彫金家池戸米翁歿す年八十四

四月 廿八日 木内重四郎を京都府知事と爲す○米國飛行家ナイルス、横濱解纜歸國す○北海

道旭川大火あり、百四戸焼く

四月 三十日 貴族院議員兒玉淳一郎逝去年七十一 人間交法、開化新論

五月 一日 支那革命黨首領岑春煊、唐繼堯、李烈鈞等、南方軍假政府を肇慶に設立す

五月 二日 陸軍少將武田三郎、鑄方德藏、福田雅太郎、高橋義章、小池安之、山梨半造、堀内文次郎を中將と爲す

五月 四日 支那山東各地に革命暴動起る

五月 五日 天皇、皇后、上野不忍池畔の海事水産博覽會に行幸啓あり○三浦彌五郎を特命

全權公使と爲し、瑞西に駐劄せしむ○僧織田雪巖寂す年七十四

五月 六日 皇后、日比谷公園に行啓あり、日本赤十字總會に臨み給ふ○製鐵業調査會官制

を公布す○男爵島津長丸、貴族院議員に當選す

能代湊町大火
獨軍大勝

五月 七日 秋田縣能代湊町大火あり、二百五十餘戸を焼く○支那南方派は廣東省肇慶に軍務院を設置し、唐繼堯を部長と爲し、南方政府の形式成る○獨軍は佛國三〇四高地の北部全部を占領し、將校以下十三萬二千を俘虜となす
五月 九日 宮城縣角田町大火あり、四百戸焼く○支那革命軍の首領黃興、米國より浦賀に寄港す

五月 十日 岐阜縣船津町大火あり百戸を焼く

五月 十一日 福島縣東郷町大火あり、四百餘戸を焼く

五月 十二日 皇后、東京慈惠會に行啓あり○靖國神社に於て高杉晋作五十年祭を執行す

五月 十五日 朝鮮總督府、高等普通學校官制を公布す○印紙税法を樺太に施行す○京都帝國大學病院全燒す

五月 十六日 皇后、築地水交社に行啓あり、陸海軍將校婦人會に臨み給ふ

艦船令制定

五月 十八日 艦船令を制定す○樺太廳鐵道職員服制、同稅務吏服制を各公布す

宮川香山歿す

五月 二十日 天皇、陸軍經理學校に行幸あり○陸軍中將依田廣太郎逝去去年六十九○陶工の泰斗宮川香山歿す年七十五

五月 廿二日 東京地方裁判所に於て、福田和五郎等に係る爆彈事件の第一回公判を開く

五月 廿三日 東京市の電車賃値上案を認可す

五月 廿四日 皇后、日比谷公園に行啓あり、愛國婦人總會に臨み給ふ○加藤高明、原敬、犬養毅の三政黨首領、再び三浦梧樓邸に於て會合す

タゴール來朝

五月 廿六日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり

五月 廿九日 印度詩聖タゴール、神戸に來朝す○札幌に於て北海道鐵道一千哩祝賀會を行ふ

五月 三十日 天皇、陸軍中央幼年學校に行幸あり○東京芝赤羽の恩賜濟生會病院成る

五月 卅一日 丁抹沖に於て英獨兩艦隊の大海戰あり、英艦十三隻、獨艦十隻沈没す

六月 三日 露國特命全權大使バジール・クルペンスキー、參内して信任狀を捧呈す

六月 五日 印度詩聖タゴール、入京す○高松地方裁判所に於て、林田龜太郎、白川友一、外十四名に係る瀆職事件の判決言渡あり、多くは刑の執行猶豫となる

袁世凱逝く

六月 六日 加藤高明、原敬、犬養毅の三政黨首領、三度、三浦梧樓邸に於て會合し、外交及び國防に關する一の覺書を作成す○支那大總統袁世凱逝く年五十六○聯合艦隊は希臘を封鎖す

六月 八日 佛領印度支那總督エールム來朝す○支那黎元洪は中華民國大總統の就任式を行ふ

三黨首覺書發表

六月 十日 加藤高明、原敬、犬養毅三黨首會合の結果成れる覺書を發表す

六月 十一日 印度詩聖タゴール、東京帝國大學講堂に於て講演を行ふ○北陸本線角川鐵橋に於て列車顛覆墜落し、死者八名、重輕傷者二十三名を出す

六月 十二日 滋賀縣伊香郡木野本村大火あり、二百戸焼く

六月 十三日 特命全權大使珍田捨巳を英國に、同佐藤愛磨を米國に駐劄せしむ

六月 十四日 文部省官制を改正公布す○佛領印度支那總督エールム、參内謁見す○南洋協

聯合國經濟會議を開く

六月十五日 會を成立す○聯合國經濟會議を巴里に開催す、日本代表阪谷芳郎、之に參列す
 六月十六日 政治家細野次郎歿す年五十五
 六月十七日 飛行家アトスミス、北海道札幌に於て飛行機墜落し、右大腿部を折る
 六月十八日 子爵堤雄長、貴族院議員に當選す
 六月十九日 獨逸の名將モルトケ逝く年六十八
 六月十九日 帝國政府は支那南北調停に關し、黎元洪、段祺瑞及び岑春煊、唐紹儀、馮國璋の南北領袖に對し、非公式に和協を勸告す○子爵朴齊純歿す年五十九
 六月二十日 米國、再び墨西哥と開戦す
 六月廿一日 農林水産界の恩人田中芳男逝去年七十九 有田植物圖説、我國物産の起源、綿と砂糖水産の話、草木圖説目錄、泰西訓蒙圖解、動物訓蒙、有用動物及礦物見本、本草書目解題、多説類一覽
 六月廿二日 大森鐘一を皇后宮太夫と爲す
 六月廿三日 亞拉比亞、獨立を宣言す
 六月廿四日 陸軍大將寺内正毅に元帥の稱號を賜ふ○陸軍中將神尾光臣を大將と爲す○内閣總理大臣大隈重信、參内して辭意を奏上し、寺内正毅を後繼者に推奏す
 六月廿六日 飛行家ナイルス、米國に於て飛行中墜落慘死す
 六月廿八日 保健衛生調査會官制を公布す
 六月廿九日 日露新協約に關し、臨時樞密院會議を開く○大阪地方裁判所に於て、岩下清周外五名に係る北濱銀行事件に關する第一回公判を開く

田中芳男逝

日露新協約調印成る

七月 一日 岡崎町福山町に市制を施行す○東京市電車賃(五錢)値上を實施す
 七月 二日 アレキサンドリヤ沖に於て汽船小雛丸、撃沈さる
 七月 三日 東宮裕仁親王、東京御發車あり、北陸見學の途に上らせらる○露都ペトログラードに於て日露新協約の調印成る○支那革命軍の首領黃興、下關より歸國す
 七月 四日 林權助を特命全權公使と爲し、支那に駐劄せしむ
 七月 五日 朝鮮總督寺内正毅、入京す
 七月 六日 岡市之助に男爵を授く○蜂須賀茂韶を教育調査會總裁と爲す
 七月 七日 日露新協約を發表す○朝鮮總督寺内正毅、首相大隈重信と會見し、後繼内閣組織の勸告を受く
 七月 九日 英文學者上田敏歿す年四十三 文藝講話、思想問題、文藝新論、耶穌、大事取、うづまき、みをつくし、序、さしあげた腕、恐怖、心、禮拜、十九世紀文藝史、最近海外文學、詩聖ダンテ、現代の藝術、文藝論集、海潮音、牧羊神、秩
 七月 十日 天皇、東京帝國大學に行幸あり、不敬漢林正助、直訴を企て、捕へらる○簡易生命保險法、同特別會計法を各公布す○衆議院議員選舉法改正調査會官制を公布す○國籍離脱に關する件を制定す○朝鮮總督寺内正毅、首相大隈重信と會見し、加藤高明との聯立内閣組織の條件を拒絶す○東京地方裁判所に於て大隈首相要撃の爆彈事件被告福田和五郎、下村馬太郎を無期懲役、鬼倉重次郎、和田政吉に懲役十五年の判決言渡あり
 七月十一日 大阪相撲年寄朝日山歿す年五十

簡易生命保險法公布

上田敏歿す

岡市之助薨

七月十四日 伯爵大隈重信を侯爵に、子爵長谷川好道を伯爵に、男爵加藤高明、本野一郎、石井菊次郎を子爵に、神尾光臣、島村速雄、八代六郎、加藤定吉に男爵を授く

七月十五日 朝鮮保護牛規則を定む

七月十六日 輕井澤に於て外人宣教師キャンベル夫妻、慘殺事件起る○貴族院議員瀧澤喜平治逝去年七十一

七月十七日 黒田ちか子、牧田らく子、日本最初の女學士と爲る○銀行家戸田喜三郎歿す年五十三

七月十八日 政治家木村格之輔歿す年七十一

七月十九日 伯爵津輕承昭薨す年七十六

七月二十日 原紙模造取締規則を定む、日露新協約祝賀會を東京上野精養軒に開く○米國飛行家アト・スミス、横濱解纜歸國す○陸軍中將岡市之助薨す年五十七

七月廿一日 支那南方六省に獨立を取消す

七月廿二日 畫家青山青山歿す年三十四

七月廿三日 岩手縣釜石町大火あり、二百餘戸を焼く

七月廿五日 露軍、小亞細亞エルジンジャンを占領す

七月廿七日 暹羅皇弟ノンクラ・ナカリン、神戸に來朝さる

七月廿九日 朝鮮酒稅令を公布す

七月卅一日 暹羅皇弟ノンクラ・ナカリン、横濱解纜、渡米の途に就く○實業家萩原謙太郎歿す年七十四

歿す年七十四

七月 中 東京吉原遊廓の張店を全廢す

八月 一日 山縣有朋、寺内正毅、共に參内して御下問に奉答す○獨逸全國に亘り講和促進の大運動起る

函館大火

八月 二日 支那特命全權公使章宗祥、參内して國書を捧呈す○北海道函館大火あり、一千三百三十戸を焼く

工場法施行令公布

八月 三日 工場法施行令を公布す○故岡田清助に従四位を追贈さる○陸軍中將山田忠三郎逝去年五十八

八月 四日 天皇、皇后、日光に行幸啓あり○甲斐破不山中に於て帝國大學生小山秀三外四名遭難す

八月 六日 首相大隈重信、更に寺内正毅と會見し、重ねて聯立内閣、政策踏襲を交渉し、拒絶せらる○樂器王山葉寅楠歿す年六十六

上村彦之丞薨す

八月 七日 海軍大將上村彦之丞薨す年六十八

八月 八日 特別用鹽賣渡規則を公布す○僧旭日菑寂す年八十四

八月 九日 鮑海鼠製品取締規則を公布す

八月 十日 佛國マルセーユ沖に於て汽船天明丸、撃沈せらる

八月 十一日 西宗元次郎、貴族院議員に當選す○露軍、境國スタニスラウを占領す

八月 十二日 取引所令を改正公布す

鄭家屯事件
起る

八月十三日 首相大隈重信、日光御用邸に伺候して寺内正毅との交渉不調を奏上す○函館に於て暴風雨の爲め、軍艦笠置の艦體兩斷さる○鄭家屯に於て支那兵、日本守備隊を突如襲撃し、松尾彦治中尉以下九名戦死し、七名負傷す

八月十四日 陸軍武官進級令を改正公布す

八月十五日 閑院宮載仁親王に露國差遣を仰付らる

八月十六日 南洋新領土パラオ島大酋長アイバドル等四十五名の母國觀光團、來朝す○原田佐治郎、貴族院議員と爲る

八月十七日 福島縣鹽川町大火あり、百九十六戸を焼く

簡易生命保
險令制定

八月十八日 簡易生命保險令を制定す○陸軍中將松川敏胤を東京衛戍總督に、井口省吾を軍事參議官に、秋山好古を朝鮮駐劄軍司令官に、仁田原重行を近衛師團長に、本郷房太郎を第一師團長に、宇都宮太郎を第四師團長に、藤井孝槌を第七師團長に、星野金吾を第十七師團長に、河内禮藏を第二師團長に、山口勝を第十六師團長に、尾野實信を第十師團長と爲す○陸軍少將藤井孝槌、河内禮藏、尾野實信、武内徹、白井二郎、井野口春清、竹下平作、山田隆一、佐藤銀次郎、町田經宇、古海嚴潮、宮田太郎、吉田平太郎を中將と爲す○儒者陸義猶歿す年七十

四 殿老佛、政利學、易經大義考

八月十九日 教育家宮崎道正歿す年六十五 日本農業教育論

八月廿一日 神戶、住友倉庫焼失す○鄭家屯の日本軍は支那兵に對し三十支里以外の撤退を

要求す○政治家綾井武夫歿す年五十七

八月廿二日 内帑金二萬五千圓を帝國水難救濟會に賜ふ○鄭家屯の支那兵三十支里の地に退去し、日本軍之を占領す

八月廿四日 海軍中將玉利親賢逝去年六十四

八月廿五日 對支有志大會を東京築地精養軒に開く○茨木縣取手驛に於て列車顛覆し、重輕傷者三十一名を出す○喜劇俳優鶴屋團十郎歿す年六十

八月廿六日 南洋母國觀光團、東京出發歸國す

八月廿七日 伊太利は獨逸に宣戰を布告す○羅馬尼は塊國に宣戰を布告す

八月廿八日 臺灣中部地方に大地震あり、家屋の倒潰約九百戸に達す○獨逸は羅馬尼に宣戰を布告す○儒者木澤樟蔭歿す年八十六

八月廿九日 帝國政府は鄭家屯事件に關し、責任者の處罰、損害賠償、政府の謝罪、將來の保證の四ヶ條を支那に要求提出す○ヒンデンブルグ將軍、獨軍參謀總長と爲る

八月三十日 土耳其は羅馬尼に宣戰を布告す

九月 一日 工場法を實施す○關東都督始政十周年記念式を舉行す○海軍中將吉松茂太郎を聯合艦隊司令長官と爲す○勃牙利は羅馬尼に宣戰を布告す

九月 二日 印度詩聖タゴール、横濱出發米國に赴く○僧藤原日迦寂す年八十一

九月 三日 朝陽坡附近に於て、再び日支兩兵衝突事件起る

九月 四日 遠藤嘉右衛門(島根)補缺衆議院議員に當選す

工場法實施

列車顛覆

載仁親王御
渡露

九月 八日 彫刻家堀田瑞松歿す年八十
九月 九日 貴族院議員千頭清臣薨す年六十一 倫理指針、坂本龍馬、國會舌戰、必勝、那翁傳、經濟學一覽表
九月十一日 特使閑院宮載仁親王、東京を出發し、露國に赴かせらる
九月十三日 國法學者井上密逝去年五十〇儒者磯部化甫歿す年八十六 詩集五卷、文集五卷、唐宋尙論、英國系紳、化學入門、割記、史抄、

歷朝年表、唐宋小傳、幽窓、獨語、藤原系圖、醫案等

九月十五日 淨瑠璃太夫竹本競太夫歿す年七十二
九月十六日 電氣用品試験規則を定む〇男爵小畑大太郎、貴族院議員に當選す
九月十八日 大阪控訴院に於て白川友一等に係る瀆職事件の控訴公判を開く〇所澤に於て飛行機墜落し、樋口嘉穂中尉慘死す

九月二十日 華族世襲財産法を改正公布す〇希臘クリト島に革命起る

九月廿一日 輕井澤外人宣教師キャンベル殺害事件の犯人川上腫捕へらる

九月廿二日 天皇、皇后、日光より還幸啓あり

竹内久一歿す

九月廿三日 彫刻家竹内久一歿す年六十

九月廿四日 新派俳優高田實歿す年四十六

九月廿五日 同志、公友、中正の三派合同を決議す

九月廿六日 實業家渡邊專次郎歿す年五十七

九月廿八日 希臘、ヅエネゼロスはクリト島に臨時政府を設け、聯合國に参加を聲明す

九月廿九日 米價調査會官制を廢止す

九月 中 醫師試験委員官制、齒科醫師試験委員官制を各公布し、醫術開業試験委員官制を廢止す

十月 二日 醫學者岡田榮吉歿す年四十五 鳴氏内科全書、醫學大辭典、消化器病論、電氣療法編、近世醫學、業書内科學錄

十月 三日 大隈内閣總辭職に決定す

大隈内閣總辭職

十月 四日 内閣總理大臣大隈重信、參内して總辭表を捧呈し、加藤高明を後繼内閣首班に推奏す〇元老會議を開き、寺内正毅を後繼内閣首班に推薦す〇寺内正毅を召し後繼内閣組織を命ぜらる〇山谷虎三(岡山)補缺衆議院議員に當選す

十月 五日 石井菊次郎、西久保弘道、江木翼、高橋作衛、伊澤多喜男、湯淺倉平、鍋島桂次郎、菅原通敬、川上親晴、福原鏢二郎、豊川良平、牟田口元學を貴族院議員と爲す〇吳に於て驅逐艦天津風、磯風の進水式を行ふ

十月 八日 寺内正毅は原敬、加藤高明、犬養毅の三政黨首を歴訪し、大命拜受の挨拶を爲す

寺内内閣成る

十月 九日 寺内正毅を内閣總理大臣兼大藏大臣兼外務大臣に、後藤新平を内務大臣に、田健治郎を遞信大臣に、仲小路廉を農商務大臣に、松室致を司法大臣に、岡田良平を文部大臣と爲し、海軍大臣加藤友三郎、陸軍大臣大島健一、留任す〇有松英義を法制局長官に、岡田文次を警視總監に、兒玉秀雄を内閣書記官長に、勝田主計を大藏次官に、後藤新平を鐵道院總裁と爲す

憲政會成る

十月 十日 同志會臨時大會を開き、新政黨參加を決議す〇立憲同志會、中正會、公友俱樂部

部の大半合流して憲政會を組織し、結黨式を東京築地精養軒に於て舉行し、加藤高明を總裁に推戴して宣言綱領を發表す○建築家妻木頼黄歿す年五十八
全國新聞記者大會を東京築地精養軒に開き、閣族官僚政治の排斥を決議す○儒醫高松凌雲歿す年八十一

十月十三日 二上兵藏を樞密院書記官長に、田所美治を文部次官に、昌谷彰を樺太廳長官と爲す○阪田重次郎を特命全權公使と爲し、西班牙に駐劄せしむ○獨勃軍、羅馬尼に侵入す

松永和楓歿す

十月十五日 閑院宮載仁親王、露國より歸朝あらせらる○書家渡邊沙鷗歿す年五十四○長唄の名手松永和楓歿す年七十五

十月十六日 閑院宮載仁親王、參内して復命あり、陸軍大將長谷川好道を朝鮮總督と爲す○首相寺内正毅は貴族院各派代表者を招き、誠意を披瀝す

十月十七日 東京帝國大學基督教青年會館成る
十月十八日 貴族院議員宮本小一薨す年八十一

十月十九日 鈴木總兵衛、貴族院議員と爲る

十月二十日 侍從長鷹司灝通をして臨時神宮祭主を兼しむ○銀行家安田善八郎歿す年五十六
十月廿一日 石塚英藏を東洋拓殖會社總裁と爲す

十月廿三日 宮内省に明治天皇御製の臨時編纂部を設置す○日本救世軍司令官グルート大佐來朝す

大阪理化學研究所設置

十月廿四日 大阪、理化學研究所を設置す○落語家三遊亭圓橋歿す年五十二

十月廿五日 天皇、横濱に行幸あり、御召艦筑波に乗御し、大觀艦式を行ひ給ふ○東京、南滿洲製糖株式會社を創立す

十月廿六日 東京日日新聞社焼失す○漢詩人大江敬江歿す年六十

十月廿七日 皇后、東京西ヶ原蠶絲學校に行啓あり

十月廿八日 地方長官會議を開く

十月三十日 東京、第一火災海上再保險株式會社を創立す○支那馮國璋、中華民國副總統と爲る

黃興逝く

十月卅一日 東宮裕仁親王を陸海軍大尉に御陞進あり○大隈侯後援會を解散す○支那革命黨の首領黃興、上海に於て病死す年四十五

立皇太子

十一月 二日 美濃部俊吉を朝鮮銀行總裁と爲す○鑛山家貝島太助歿す年七十三

十一月 三日 迪宮裕仁親王を立て皇太子とし給ふ○東京市へ教育資金五萬圓を下賜せらる○故乃木希典に正二位を追贈さる

十一月 四日 天皇、上野公園に行幸あり、美術展覽會を覽給ふ○宮内省臨時編修局を臨時帝室編修局と改む○獨逸は波蘭の獨立を約し、波蘭人を軍隊に編入す

佛教護國團成る

十一月 五日 東京芝増上寺に於て佛教護國團の發會式を行ふ○獨、澳兩國は波蘭獨立國の建設を布告す

十一月 六日 帝室制度審議會規則を定む

桃中軒雲右衛門歿す

十一月 七日 天皇、東京發輦あり○則元由庸(長崎)補缺衆議院議員に當選す○浪曲家桃中軒

雲右衛門歿す年四十四浪花節文句集、義士銘々傳、雲講演全集、義烈百傑、浪界三傑講演集、正宗孝士傳、浪花節大圖記

十一月 八日 支那革命軍の俊傑蔡錕、福岡大學病院に於て客死す年三十五○故實家山科言繼薨す年八十三

十一月 九日 葉山に於て社會主義者大杉榮、其情婦神近市子に刺されて重傷し、世上の問題となる○米國大統領ウィルソン、再選す

十一月 十日 天皇、佐世保に著御あり○皇后、上野公園に行啓あり、美術展覽會を觀給ふ

九州行幸
十一月 十一日 天皇、福岡市に著輦あり○來る十二月二十五日を以て帝國議會召集の詔書公布さる○學校衛生規則を定む

伊勢進水式

十一月 十二日 天皇、九州帝國大學に行幸あり○皇后、新宿御苑に行啓あり○神戸に於て戰艦伊勢の進水式を舉行す○子爵米倉昌藏逝去年四十七

十一月 十三日 皇后、學習院女學部に行啓あり○小豆島沖に於て第一潜水艇の火藥爆發し、行方不明二名、重輕傷者十四名を生ず

十一月 十四日 日支協會を創立す

十一月 十五日 天皇、福岡城外練兵場に行幸あり、大觀兵式を行ひ給ふ○故有馬豐氏外廿六名に各贈位あり

榎本虎彦歿す

十一月 十六日 皇后、東京音樂學校に行啓あり○陸軍中將井口省吾、大谷喜久藏、秋山好古を大將と爲す○理財家吉原三郎逝去年六十三○劇作家榎本虎彦歿す年五十一南都名

十一月 十七日 天皇、兵庫武庫離宮に著御あり○京都、高島吳服店にて瓦斯爆發し重輕傷者十五名を出す

十一月 十八日 聯合軍、塞國モナスチールを奪回す

十一月 十九日 天皇、還幸あらせらる工柙左衛門、照藏、平重衡、壽長、問忠、忠、徳、黒、眞、珠、とりかへ妻、小、源、日、和、一、人、節、殿、新、醫、者、戀、は、名、醫、戀、と、計、略、雙、子、兒、金、貨、と、武、士、謙、磨、の、お、絆、死、刑、ふ、た、り、娘、夫、さ、だ、め、動、物、氣、志、草、淵、邊、の、餘、波、織、圍

十一月 二十日 天皇、皇后、赤坂離宮に行幸啓あり、觀菊御宴に臨み給ふ○政治家安部井磐根歿す年八十五

十一月 廿一日 本野一郎を外務大臣と爲す○東京控訴院に於て大隈前首相要撃の爆彈事件の福田和五郎、下村馬太郎を懲役十五年、鬼倉重次郎、和田政吉に同十二年の判決

相就任
言渡あり○墺國皇帝フラン・ツヨセフ一世崩御さる

十一月 廿三日 東京新宿車庫より出火し、電車十九臺燒失す

十一月 廿四日 機關銃の發明者米人ヒラム・マキシム逝去年七十七

十一月 廿五日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○陸軍少將遠山規方逝去年六十九

十一月 廿七日 宮中豐明殿に於て立太子式大饗宴を行ひ給ふ

十一月 廿九日 天皇、海軍大學校に行幸あり○東北線下田、古間木間に於て兵士滿載の列車衝突顛覆し、死者二十九名、重傷七十名、輕傷六十三名を出す○幕末の志士薄井

軍用列車衝突
十一月 三十日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり

十二月 一日 海軍中將吉松茂太郎、藤井較一を大將に、同少將關野謙吉、田中盛秀、東郷吉太郎、松村龍雄、佐藤鐵太郎、博恭王、上村翁輔、中島與曾八、入澤敏雄を中將と爲す○海軍大將藤井較一を軍事參議官に、中將加藤定吉を吳鎮守府司令長官に、依仁親王を横須賀鎮守府司令長官と爲す○舞鶴に於て驅逐艦檜の進水式を舉行す○大阪築港大火あり、大阪税關第四倉庫焼く

十二月 三日 天皇、吹上御苑に臨み、和洋馬術を覽給ふ○福岡縣八幡沖に於て汽船沈没し、八十名、行方不明となる

十二月 四日 銀行家有馬武薨す年七十五

十二月 五日 羅馬尼首府ブカレスト陥落す

十二月 八日 子爵安藤信篤逝去年二十五

十二月 九日 小説家夏目漱石歿す年五十五 倫敦塔、野分、坑夫、行人、明暗、文學論、文學評論、我輩は猫である、坊

十二月 十日 公爵大山巖薨す年七十五○支那特使問題に關し注意人物となれる張繼、神戸に來朝す

十二月 十二日 長野諏訪神社を官幣大社に昇格す○獨逸皇帝の講和提議發表さる○女流飛行家スチンソン、來朝す○美術鑑定家前田香雪歿す年七十五 金貨氣質、梅子の、相馬事件、金之助の話、新形詩繪護謄、淡路島、花の種、水と石、怪物屋敷、露のひぬ間

十二月 十三日 妓丁峰吉殺しとして名高き花井お梅歿す年五十四

十二月 十四日 内田康哉を特命全權大使と爲し、露國に駐劄せしむ○能樂家大西閑雪歿す年七十七

十二月 十五日 女流飛行家スチンソン、東京市上空にて夜間飛行を行ふ○東北線急行列車、赤沼附近にて貨物列車と衝突す○希臘、遂に聯合軍に屈服す

十二月 十六日 勝田主計を大藏大臣に、市來乙彦を同次官と爲す○佛國沿岸に於て汽船多喜丸撃沈さる○米國大統領ウィルソンは獨逸皇帝カイゼル講和提議を聯合各國に電送す○漢學者春日白水歿す年七十四 傳習錄纂言、竹林培養備考、勅語の要略、同御主意、同略解、皇朝沿革史、竹辭記錄、國史略字類大全、祝文演軌範、陽明學真髓、文

十二月 十七日 日比谷公園に於て故大山巖の國葬を行ふ○喜劇俳優澁谷天外歿す年三十七

十二月 十八日 石川縣下の衆議院選舉全部無効と爲り再選舉を行ひ、中橋徳五郎、戸水寛人、淺野順平、櫻井兵五郎、西村正則、田中喜太郎、當選す○踊師匠阪東花瀧歿す年五十九

十二月 十九日 西野謙四郎(徳島) 補缺衆議院議員に當選す

十二月 二十日 海軍召集令を改正公布す○米國大統領ウィルソンの講和覺書發表さる○子爵牧野貞寧逝去年六十

十二月 廿一日 製鐵業調査會官制を廢止す

十二月 廿三日 漢學者楠本碩水歿す年八十五 碩水詩文章、隨得錄、碩水文集、日本道學淵源錄

十二月 廿五日 第卅八回帝國議會を召集す○舞鶴に於て驅逐艦檜の進水式を行ふ○大久保源吉

夏目漱石歿す

大山巖薨す

勝田主計藏相就任

大山巖の國葬

講和覺書發表

獨逸講和提唱

聯合各國は戦争繼續に決す

郵岡樸齋歿す

(栃木) 補缺衆議院議員に當選す

十二月廿六日 山口縣東見初炭礦に大火あり、百二十六戸を焼く○獨逸、更に講和會議を提唱

し稍具體的條件を米國及び他の中立國に致す○子爵大久保忠一薨す年四十四

十二月廿七日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○水野練太郎を内務次官と爲す○

代議士小河源一歿す年五十八○眼科學者山口秀高歿す年五十二

十二月廿八日 徳川頼倫、貴族院全院委員長となる○北陸沿岸に海嘯起る

十二月廿九日 聯合國經濟會議決議實施官制を公布す○故毛利吉之以下七十三名に贈位あり○

僧石川馨寂す年五十九

十二月三十日 東京品川に大火あり、二百四十六戸焼く○佛國政府は聯合諸國の名に於て、獨

逸の講和提議に對する共同回答覺書を在佛米國大使に手交し、講和提議は獨逸

の詭計なるを以て、協商側は斷然戦争繼續の旨を聲明す

十二月卅一日 國學者大貫眞浦歿す年六十七稻荷神社史料、羽倉春滿傳

大正六年 丁巳 皇紀二五七七年 西曆一九一七年

正月 二日 土耳其より獨立せるメツカ教主ヘヂヤズ、王として聯合國に承認さる

正月 四日 國學者郵岡樸齋歿す年七十三地理學語、樸齋偶筆、武家職官考、原城約事、樸齋文存、興福寺官務帳考、北總詩史、房總游乘、千葉日記、日本地理資料七十二卷、大日本史國郡志及諸表、法制志、北總人物志、武家職官考、香取紀行、日本書紀定本、續日本紀纂註、文徳實錄纂註、刑法沿革圖解、樂考考論、滋谷譜略

正月 五日 臺灣中部地方に大地震あり、即死三十三名を生ず○獨軍、羅馬尼プライラを占領す

正月 八日 天皇、宮城外苑に行幸あり、陸軍始觀兵式を行はせらる○實業家七里清介歿す年五十九

正月 九日 僧豐田毒湛寂す年七十八

正月 十日 事業擴張補助金三萬圓を慶應義塾に賜ふ○松本市大火あり百六十戸焼く○工學

博士廣部徳三郎歿す年四十二○僧長宥寂す年八十一

正月 十一日 撫順炭礦の瓦斯爆發し、坑夫九百九十七名、悉く慘死す○米國大統領ウィルソ

ンの講和覺書に對する聯合國側の回答發表さる○伯爵眞田幸正歿す年四十二

正月 十三日 瀧口吉良(山口) 補缺衆議院議員に當選す

正月 十四日 横須賀軍港に於て巡洋艦筑波の火藥庫大爆發して沈没し、谷口謙中尉以下百五

十一名殉死す

正月 十五日 首相寺内正毅、官邸に加藤高明、原敬、犬養毅の三政黨首並に貴族院各派代表

者を招き、對支問題を報告し賛助を乞ふ○鑄金家香川勝廣歿す年六十五

正月 十六日 追濱に於て飛行機海中に墜落し、山村豊雄中尉慘死す○鹿兒島市大火あり約二

百戸焼く

正月 十七日 憲政、國民兩黨は超然内閣反對を決議す

正月 十八日 宮中歌御會始めあり、勅題「遠山雪」なり

正月 十九日 寺内内閣排斥政治記者大會を東京築地精養軒に開く

正月 二十日 支那南方派の首領岑春煊、門司に來朝す○政治家關信之介歿す年六十五

撫順炭礦爆發

筑波沈没

香川勝廣歿す

正月廿一日 憲政會大會を開き、現内閣反對を宣言す○政友會大會を開き、嚴正中立の態度を決議す○子爵黒田和志逝去年六十七

正月廿二日 鄭家屯事件に關する日支公文を交換す○シーメンス事件の海軍革清問題主唱者として名高き海軍大佐太田三太郎歿す年五十譯者橋本、人民の敵

列車埋没

正月廿三日 (衆)首相寺内正毅、施政方針を演説す○憲政會、國民黨一致して内閣不信任決議案を衆議院に提出す○岩越線日出谷豊實間に於て大雪崩の爲め、列車埋没し五十五名慘死す○陸軍中將伊地知幸介逝去年六十四○獨逸語學者山口小太郎歿す年五十一獨逸語學雜誌、獨逸讀本、獨逸文法、獨逸文典

正月廿四日 (貴)聯合國傷病兵慰問の決議案を可決す○神戸本願寺別院焼く○北海道沿岸に於て暴風雪の爲め、漁夫百三十名溺死す

衆議院解散

正月廿五日 (衆)内閣不信任決議案を上程し、發議者犬養毅其趣旨を辯明し、將に討議に入らんとする際、解散を命ぜらる○臺灣電話規則を定む

正月廿六日 常磐津岸澤文左衛門歿す年七十七

鄭家屯事件解決

正月廿七日 鄭家屯事件の日支交渉内容發表せらる(第二十八師長の懲罰、責任士官の處罰在滿洲日本軍人及び居留民の待遇、損害賠償、奉天督軍の陳謝)○長崎に於て戰艦日向の進水式を行ふ○男爵阪谷芳郎、貴族院議員に當選す○伯爵伊達宗基逝去年五十二

正月廿八日 政治家望月右門歿す年六十

日本飛行學校創設

正月廿九日 公立學校職員制を公布す○男爵中山信徴歿す年七十二

正月三十日 箱根山大鳴動あり○建築家田島橋造歿す年四十八

正月卅一日 米國紐育港を閉鎖す

正月 中 民間飛行家玉井清太郎、東京府下羽田町に日本飛行學校を創設す

二月 一日 獨逸は中立國船舶の聯合國に關係あるものに對しては其國旗貨物の如何を問はず、無制限、無警告の潜水艇撃沈を實行する旨を宣言す

二月 二日 天皇、皇后、葉山に行幸啓あり○横濱商品倉庫大爆發し、重傷者四名、輕傷者九十餘名を出す

二月 三日 印度詩聖タゴール、米國よりの歸途再び來朝す

米國獨逸と國交斷絶

二月 四日 米國は獨逸と國交斷絶す

二月 五日 横濱大火あり百二十戸焼く○米國は奧國と國交斷絶す

二月 八日 瑞典、諾威、瑞西、和蘭四國は米國の對獨斷交に倣ふを得ざる旨を聲明す○僧大谷照然寂す年六十二

二月 九日 東京府下千駄ヶ谷町大火あり九十戸焼く○印度詩聖タゴール、神戸解纜歸國す

二月 十日 天皇、葉山より還幸あり○地方長官會議を開く

臨時産業調査局官制公布

二月十二日 天皇、葉山へ行幸あり○臨時産業調査局官制、外務省臨時調査部官制、大藏省臨時調査部官制、逓信省臨時調査部官制を各公布さる○美術工藝家鹽田眞歿す年八十一

憲政濟美會
成る

二月十三日 製糸王片倉兼太郎歿す年六十九
二月十四日 東京洲崎遊廓大火あり、七十戸焼失す○俳人服部耕雨歿す年六十七 俳諧探海燈、俳諧機活法、奥の細道評釋、芭蕉翁選吟私見、俳諧寂菜評註
二月十五日 憲政濟美會を組織し、高田早苗を會長と爲す○大阪地方裁判所に於て、北濱銀行事件の岩下清周に懲役六年の判決言渡あり○栃木縣足尾町大火あり百二戸焼く

野口小蘋歿す

二月十七日 南畫家野口小蘋歿す年七十一
二月十八日 佛、伊兩軍は南部アルパニヤに於て相合し、希臘と獨逸兩軍との連絡を絶つ○實業家園田實徳歿す年七十

二月十九日 天皇、葉山より横須賀に行幸あり○大阪醫科大學病院焼く○石狩國上歌志内炭礦の瓦斯爆發し、坑夫十六名慘死す

二月廿一日 東京、盛岡間の直通電話開通す○獨逸、再び潜水艇の無制限攻撃を宣言す

二月廿二日 實業家若尾民造歿す年六十五

二月廿三日 山形縣西村山郡海味鑛山の積雪崩潰し、即死十五名を出す○刀劍鑑定家川口孫太郎歿す年七十二

獨軍退却開始

二月廿五日 獨軍、西部戦線アンクル河畔にて退却を開始す
二月廿六日 天皇、皇后、葉山より三崎町小網代に行幸啓あり
二月廿八日 神戸關西學院全焼す

軍艦印度洋
出動

一月 中 歐洲航路に就く郵船會社の船舶に武装せしむ

三月 一日 獨逸外務大臣チムメルマンが日墨兩國を誘致し、以て米國に對抗せしめんとする陰謀暴露す○實業家宮部久歿す年七十四

三月 三日 陸軍武官進級取扱規則を定む○海軍中將眞木長義逝去去年八十二○新派俳優藤澤淺二郎歿す年五十二

三月 四日 特務艦隊如月、初霜、響、神風の四艦は横須賀を出發し、印度洋方面に向ふ○岩越線五十島驛附近に於て大雪崩のため、貨車埋没し工夫九名重傷す

三月 五日 高知縣高岡郡與津村大火あり百戸焼く

三月 六日 僧貴志寂忍寂す年五十四

三月 七日 隱元禪師に眞空大師の謚號を宣下あり○千葉驛に於て伯爵芳川寛治夫人鎌子は自動車運轉手倉持陸助と心中を企て、世上に喧傳さる

三月 八日 所澤に於て飛行機墜落し、澤田秀大尉殉死す○露都ベトログラードに大革命暴動起る○鑛山家山際永吾歿す年六十六

三月 九日 能役者寶生九郎歿す年八十一○獨逸飛行船の製作者ツエッペリン伯逝く年七十九

三月 十日 東京、日本工業俱樂部を創設す

三月 十一日 英軍、バグダットを占領す

三月 十二日 露都の騷擾益々擴大し、遂に二萬五千の軍隊は革命軍に投じ、首相ゴリチン等

遁亡するに至る

三月十三日 天皇、皇后、葉山より還幸啓あり○遞信次官湯河元臣を罷め、内田嘉吉之に代る○露國リヴオフ・ミリュコフ等、假政府を樹立す

三月十四日 支那政府は獨逸に對し、國交斷絶を通告す

三月十五日 伊勢豐受大神宮の還御式を執行す○奠都五十年奉祝博覽會を東京上野公園不忍池畔に開設す○支那共和國特派大使汪大燮、神戸に來朝す○露國皇帝ニコラス

二世退位し、皇弟ミハエル・アレキサンドロキツチ大公、即位す○史論家山路

愛山歿す年五十四 近代文學史、愛山史論、愛山文集、基督教評論、東西六千年、豐大園、足利尊氏、社會主義管見、世界の過去現在未來、萩生徂徠、新井白石、源賴朝、支那思想史

露國新帝ミハエル・アレキサンドロキツチ退位し、ロマノフ朝遂に斷絶す○陸

軍中將村田惇逝去年六十五

三月十七日 支那共和國特派大使汪大燮、參内謁見して大勳章並に親書を捧呈す○滯在中の

岑春煊、別府を出發し歸國す

三月十八日 松本女子師範學校燒失す

三月十九日 長崎縣西彼杵郡松島炭礦に火災起り、坑夫四十一名慘死す○前露國皇帝及び其

近親はクリミヤに移されたりとの報あり○露國前首相ゴリチン、大亂の責任を

負ひて自殺す

三月二十日 清浦奎吾を樞密院副議長と爲す○大錦卯一郎を横綱と爲す

三月廿一日 米國は露國假政府を承認す

黒田清綱逝

三月廿二日 朝鮮王族李煥堯年四十八○英、佛、伊各國は露國假政府を承認す

三月廿三日 子爵黒田清綱逝去年八十八 歌集龍のしぶき、にはたつみ

三月廿四日 子爵小笠原勁一、貴族院議員に當選す○長唄の名手杵屋勘五郎歿す年四十三

三月廿五日 養老鐵道高田町押越に於て旋風のため、列車顛覆し即死二名、重傷者十九名

を出す○東京府下尾久村に飛行機墜落し、杉野治義中尉殉死す○男爵尾崎麟太

郎歿す年四十九

三月廿六日 子爵松平直己逝去年八十六

三月廿七日 帝國政府は露國假政府を承認す○支那特派大使汪大燮、退京す○露國勞兵委員

大會に於て非賠償、非併合、平和促進の宣言を決議す

三月廿八日 陸軍大將載仁親王、井口省吾に特命檢閲使を仰付らる○東京興信所長森下岩楠

歿す年六十六 民間雜記學、簿記學階梯

三月廿九日 東京、日章海上保險株式會社を設立す

三月三十日 天皇、學習院に行幸あり○支那特派大使汪大燮神戸出發歸國す

三月卅一日 文學博士竹添進一郎歿す年七十六 左氏會箋、毛詩會箋、論語會箋、棧雲峽雨日記、獨抱樓詩文稿

四月 一日 東京中央郵便局の新築成る

四月 二日 皇后、學習院に行啓あり○建築家平岡通義逝去年八十七

四月 三日 日本鍛冶術獎勵の思召を以て内帑金七千圓を刀劍會に賜はる○畫家野澤堤雨歿

す年八十一 光琳新選百、枕の塵

露國假政府承認

請願令公布

四月 五日 請願令を公布す

米國獨逸に宣戰

四月 六日 皇后、東京盲學校並に目白女子大學校に行啓あり○海軍中將有馬良橋を第三艦隊司令長官に、村上格一を海軍教育本部長と爲す○大阪税關倉庫爆發す○米國は獨逸に宣戰を布告す

四月 七日 神奈川縣鶴見の淺野造船所を開業す○玖馬、巴奈馬兩國は獨逸に宣戰を布告す
四月 八日 長崎縣西彼杵郡神ノ浦字江川郷の芝居小屋より發火し、燒死者百一名、重傷者百四名を出す

アラスの激戰

四月 九日 西部戰線アラスの激戰開始さる○伯刺西爾は獨逸と國交斷絶す○實業家來栖壯兵衛歿す年六十三

四月 十日 露國臨時政府は非併土、非賠償の戰爭目的を聲明す

四月 十一日 岩手縣下閉伊郡船越村大火あり、百三十戸焼く○勃牙利は米國と國交斷絶す

四月 十三日 ボリヱアは獨逸と國交斷絶す

四月 十六日 露國革命黨の首領レーニン、亡命地瑞西より露都に歸著す

四月 十七日 天皇、皇后、新宿御苑に行幸啓あり、觀櫻御會に臨み給ふ

四月 十九日 エスペラント語の發明者波蘭人ザーメンホーフ逝く年五十八

四月 二十日 米國飛行家アト・スミス再び來朝す○第十三回衆議院總選舉を行ふ○(東京)

鳩山一郎、鈴木梅四郎、高木益太郎、黒須龍太郎、關直彦、金杉英五郎、横山勝太郎、磯部尙、三木武吉、頼母木桂吉、古島一雄、高木正年、秋本喜七、前

第十三回總選舉

田米藏、村野常右衛門、漆昌巖(京都) 渡邊昭、小川郷太郎、森田茂、片岡直温、長田桃藏、神谷卓男、川崎安之助、山口俊一(大阪) 白河次郎、上田彌兵衛、紫安新九郎、金澤仁作、今井嘉幸、河野徹志、北田豊三郎、高松正道、田中万逸、片木政治郎、井原百介、本出保太郎、森秀次(神奈川) 若尾幾造、島田三郎、小鹽八郎右衛門、小泉又次郎、戸井嘉作、赤尾彦作、松本剛吉、中川隣之輔(兵庫) 野添宗三、坪田十郎、大森與三次、土井權太、下岡忠治、川口木七郎、中川幸太郎、横田孝史、廣岡宇一郎、齋藤隆夫、小寺謙吉、唐端清太郎、正木照藏、松本誠之(長崎) 小川寅六、橋本喜造、牧山耕藏、中倉万次郎、則元由庸、本田恒之、臼井哲夫、秋田寅之介(新潟) 關矢儀八郎、久須美東馬、田邊熊一、高橋光威、丸山豊治郎、高島順作、野口孝治、大竹貫一、櫻井庄平、牧口義矩、竹村良貞、坂口仁一郎、丸山嵯峨一郎、山本悌二郎(埼玉) 指田義雄、秦豊助、加藤政之助、齋藤安雄、齋藤珪次、粕谷義三、高木利平、福田辰五郎、長島律太郎(群馬) 平田健太郎、土谷全次、武藤金吉、田島達策、齋藤壽雄、今井今助、本間三郎、兒玉右二(千葉) 鶴澤總明、吉植庄一郎、木村政次郎、關和知、津田毅一、鶴澤宇八、柏原文太郎、磯野敬、加瀬禱逸、土屋清三郎(茨城) 小山田信藏、根本正、大津淳一郎、小久保喜七、宮本逸三、尾見濱五郎、鈴木錠藏、河野正義、原脩次郎、川村惇(栃木) 上野松次郎、横田千之助、戸叶薰雄、渡邊陳平、田村順之助、高田耘平、石川玄三(奈良) 上村耕

作、八木逸郎、中山梅治郎、今村勤三、上島長久、(三重)越山太刀三郎、井島茂作、天春文衛、尾崎行雄、濱田國松、小林嘉平治、佃安之丞、堀川美哉、川崎克、(愛知)小山松壽、磯貝浩、瀧正雄、清水市太郎、三輪市太郎、小山溫、大口喜六、奥村三樹之助、日比野寬、田中善立、堀尾茂助、大島久滿次、鈴置倉次郎、(靜岡)尾崎元次郎、北井波治目、岩崎勳、清峯太郎、小泉策太郎、氣賀勘重、松浦五兵衛、杉山東太郎、鈴木富士彌、加藤定吉、(山梨)若尾璋八、望月小太郎、河西豐太郎、生原忠右衛門、牛田唯一、(滋賀)吉村鐵之助、藤井善助、吉田羊治郎、中村喜平、望月長夫、井上敬之助、(岐阜)河崎助太郎、古屋慶隆、佐々木文一、牧野鐵九郎、永田吉右衛門、匹田銳吉、長尾元太郎、松岡勝太郎、(長野)諏訪部庄左衛門、小川平吉、南澤宇忠治、小田切磐太郎、百瀨清治、降旗元太郎、工藤善助、岡部次郎、植原悅二郎、樋口秀雄、(宮城)岩崎總十郎、小山東助、齋藤二郎、澤來太郎、亘理胤正、藤澤幾之輔、遠藤良吉、(福島)白井新太郎、河野廣中、堀切善兵衛、八田宗吉、近藤達兒、半谷清壽、高岡唯一郎、石射文五郎、平島松尾、(岩手)原敬、高橋嘉太郎、工藤吉次、柵瀨軍之佐、阿部德三郎、川村精之、(青森)伊藤重、工藤卓爾、鳴海文四郎、野村治三郎、菊池良一、阿部武智雄、(山形)戶狩權之助、小林源藏、高橋辰二、熊谷直太、齋藤紀一、伊東知也、大石五郎、關原彌里、(秋田)田中隆三、池田龜治、榊田清兵衛、齋藤宇一郎、町田忠治、高橋本吉、添田飛雄太郎、(福井)

松井文太郎、柳原九兵衛、熊谷五右衛門、橫井藤四郎、今村七平、(石川)中橋德五郎、櫻井兵五郎、米田穰、淺野順平、戶水寬人、西村正則、(富山)高見之通、菅野傳右衛門、廣瀨鎮之、上埜安太郎、山田正年、野村嘉六、森丘覺平、(鳥取)白田久内、頭本元貞、奥田龜藏、奥田柳藏、(島根)岡崎運兵衛、恒松隆慶、高橋久次郎、小川藏次郎、島田俊雄、石田孝吉、古川清、(岡山)有森新吉、犬養毅、犬飼源太郎、高戶郁三、西村丹次郎、石黑涵一郎、小橋藻三衛、福井三郎、坂本金彌、(廣島)早速整爾、橋本太吉、荒川五郎、花井卓藏、森本是一郎、井上角五郎、望月圭介、吉田中、山道襄一、橫山金太郎、湯淺凡平、富島暢夫、(山口)林平四郎、大岡育造、山根正次、渡渡祐策、飯田精一、美禰龍彦、近藤慶一、三隅哲雄、(和歌山)大堀孝、中村啓次郎、隅田豐吉、岡崎邦輔、兒玉亮太郎、前川虎造、(德島)武市彰一、松島肇、生田和平、秋田清、坂東勘五郎、川眞田德三郎、(香川)井戸文四郎、加治壽衛吉、三土忠造、小西和、大林森次郎、松田三德、林毅陸、(愛媛)尾崎敬義、村松恒一郎、河上哲太、成田榮信、古谷久綱、政尾藤吉、藤野正年、押川方義、(高知)中野寅次郎、竹内明太郎、白石直治、仙石貢、富田幸次郎、石本鑽太郎、(福岡)松永安左衛門、大藪房次郎、毛里保太郎、友枝梅次郎、赤間嘉之吉、大内暢三、藏内次郎作、山内範造、野田卯太郎、吉原正隆、河波荒次郎、佐々木正藏、森田正路、山口恒太郎、(大分)元田肇、松田源治、一宮房治郎、木下謙次郎、津末良介、箕浦

勝人、(佐賀) 武富時敏、石川又八、川原茂輔、南里琢一、井原喜代太郎、西英太郎、(熊本) 山田珠一、井島義雄、原田十衛、江藤哲藏、安達謙藏、行徳健男、岩佐善太郎、岡辰喜、平山岩彦、(宮崎) 長峰與一、肥田景之、松浦與三郎、陣軍吉、(鹿兒島) 床次竹二郎、西村種禮、萩亮、兒玉好熊、神川長久、志々目藤彦、奥田榮之進、中村靜興、林爲良、(沖繩) 護得久朝惟、我如古樂一郎、(北海道) 中西六三郎、佐々木平次郎、金子元三郎、東武、吉田三郎右衛門、小池仁郎、以上當選、(政友會百六十名、憲政黨百十九名、國民黨三十五名、無所屬六十七名) 濱口雄幸、奥繁三郎、秋山定輔、宗像政等落選す○民法學者石坂晋四郎歿す年四十一 日本民法債權篇、民法研究、債權法大綱、無盡講に就て、慣習法を論ず

四月廿一日 土耳其は米國と國交斷絶す

四月廿二日 子爵秋元興朝逝去年六十一

四月廿三日 皇后、日本赤十字社に行啓あり○畫家梶田半古歿す年四十八

四月廿四日 對敵取引禁止令を發布す

四月廿五日 米國飛行家スミス、青山練兵場に於て、再び曲藝飛行を行ふ

四月廿六日 學術産業御獎勵の爲め、金百萬圓を理化學研究所へ下賜せらる

四月廿七日 黒木爲禎、有地品之允を樞密顧問官と爲す

四月廿八日 グアテマラは獨逸と國交斷絶す

四月三十日 北海道樽前山噴火す○支那、奉天督軍張作霖、獨立を宣言し、中央政府と關係

梶田半古歿す

張作霖獨立

を絶つ

四月 中 聯隊旗制を發表さる

五月 一日 子爵有馬頼之薨す年四十八○經濟學者土子金四郎歿す年五十三 銀行實務誌、外國爲替新論、經濟學大意、生活戰術、經濟學調和篇 ○畫家前川文嶺歿す年八十一○教育家伊澤修二歿す年六十七 教育新論、經濟學、視話法、東語初講、教授眞法、學校管理法、小學唱歌、日本語教科書、生種原始論、清國官話韻鏡、日清字音鑑、進化原論、日本語教書、生種原始論、清國官話韻鏡、日清字音鑑、進化原論

伊澤修二歿す

五月 二日 天皇、上野公園に行幸あり、日本美術協會、奠都博覽會に臨み給ふ○松方正義を内大臣と爲す○露國臨時政府は同盟條約を確守し、決定的勝利を得る迄は戰爭繼續の旨を内外に聲明す

五月 三日 皇后、日比谷公園に行啓あり、日本赤十字總會に臨み給ふ○馬政局官制を改正公布す○田付七太を特命全權公使と爲し、智利に駐劄せしむ○智利は獨逸と國交斷絶す

五月 四日 皇后、上野公園に行啓あり、日本美術協會、奠都博覽會を觀給ふ○露都に於て臨時政府の宣言に反對し、憤激せる勞兵委員會の一大示威運動起る

五月 五日 大阪、東京倉庫會社蘆戸分藏所大爆發し、即死四十三名、重傷九十八名、輕傷百六十一名に達す

島津邸行幸

五月 八日 天皇、皇后、東京府下大崎袖ヶ崎の島津忠重新邸に行幸啓あり○東京芝浦埋立地に於て第三回極東オリムピック大競技會を開く○藥學者島田耕一歿す年六十四

立 日米協會成

五月 十日 皇后、東京慈惠會に行啓あり○女流飛行家スチンソン、横濱解纜歸國す
五月十一日 日米協會の發會式を行ふ○地中海に於て日本驅逐艦柳は獨逸潜水艇に水雷を發射せらる

五月十二日 來る六月二十一日を以て帝國議會召集の詔書公布さる

五月十三日 劇評家杉實阿彌歿す年四十八舞臺觀察手引、草、内海落

五月十四日 實業家岡烈歿す年五十四○教育講談師早川貞水歿す年五十七

五月十五日 故蜂須賀家政に従四位を追贈さる○東京芝金杉町の營養研究所を開設す○土耳其は露國に單獨講和を提議すとの報あり

營養研究所開設

五月十六日 特命全權公使安達峰一郎を白耳義國に駐劄せしむ○中村是公、荒井賢太郎を貴族院議員と爲す○俳人坂本四方歿す年四十五楓立貝、續寫生文集、魚、朝顔、賣家、寒下宿屋、穴守讀、蟻、櫻の木かけ

坂本四方太歿す

五月十七日 相撲年寄浦風林右衛門歿す年五十一

五月十八日 天皇、陸軍經理學校に行幸あり○静岡附近に大激震あり○青森縣中津輕郡大火あり、四百餘戸を焼失す○ホンデユラスは獨逸と國交斷絶す

五月十九日 皇后、芝離宮に行啓あり○寺田榮を衆議院書記官長と爲す○青森縣南津輕郡大鰐溫泉大火あり、百三十四戸焼く○ニカラグアは獨逸と國交斷絶す

五月二十日 東京芝浦に於て飛行機墜落し、民間飛行家玉井清太郎殉死す

五月廿二日 天皇、皇后、華族會館に行幸啓あり、能樂を覽給ふ○米澤市大火あり、二千百

米澤大火

二十戸を焼き、死者八名を生ず

五月廿三日 北海道石狩上川郡和寒村大火あり、四百三十戸焼く○山形縣長井町大火あり、百四十二戸焼く

五月廿四日 歐洲海上の日本艦隊の活動發表さる○北海道北見國紋別に大山火事起る、人家二百十七戸を焼失す

五月廿五日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり○福井市大火あり、百八十一戸焼く

五月廿六日 臺灣總督府、商業學校官制を公布す○海軍大將伊集院五郎に元帥の稱號を賜ふ

○能役者友枝三郎歿す年七十六

五月廿七日 天皇、吹上御苑に臨み、全國武藝者の演武を台覽あり○岐阜縣船津町大火あり

百六十二戸焼く○支那安徽省長倪嗣沖獨立を宣言す

五月廿八日 地方長官會議を開く○大阪市天滿大火あり、百十四戸焼く

五月廿九日 天皇、陸軍中央幼年學校に行幸あり

五月三十日 英吉利海峡に於て日本最初の武装商船宮崎丸撃沈さる

五月卅一日 僧近松尊定寂す年五十四

六月 一日 福岡縣八幡町、大牟田町に市制を施行す○海軍少將山口九十郎、鈴木貫太郎、竹下勇、小栗孝三郎、山田英之助を中將と爲す

六月 二日 天皇、皇后、赤坂離宮に行幸啓あり、幻燈を覽給ふ○首相寺内正毅は原敬、加藤高明、犬養毅の三黨首と會見し、外交上國論統一機關の設置に付き同意を求

宮崎丸沈没

伊集院五郎に元帥を賜ふ

石狩大火

臨時外交調査委員會官制

中央大學燒

六月 三日 〇男爵宇佐川一正、名和長憲、貴族院議員に當選す
日本電信界の大恩人ウキリアム・ヘンリー・ストーン東京に客死す年八十〇支那徐世昌、天津に於て中華軍政府の成立を發表す〇アルバニア、獨立を宣言し伊國の保護領と爲る

六月 四日 元老會議を開く〇貴族院議員磯部包義逝去年七十六

六月 五日 臨時外交調査委員會官制を公布す〇男爵波多野敬直を子爵と爲す〇大森谷戸ノ宿に於て京濱電車大衝突し、即死一名、負傷者三十六名を出す〇佛國下院に於て、被占領地及びアルサス、ローレンの回復、償金受領を條件とする講和を決議す

六月 六日 寺内正毅を臨時外交調査委員會總裁に、後藤新平、加藤友三郎、大島健一、本野一郎、平田東助、原敬、牧野伸顯、伊東巳代治、犬養毅を委員と爲す〇首相寺内正毅は貴族院各派代表者を招き、外交調査會設置の理由を述べ、其諒解を求む〇代議士金子元三郎、選舉違反にて拘引さる〇畫家澤山寛民歿す年四十七
六月 七日 獨軍參謀總長ヒンデンブルグは露國勞兵會に對し、非併土、非賠償の講和賛成の無線電話を送る

六月 八日 昌德宮李王、京城を出發せらる〇子爵松平忠和薨す年六十七

六月 十日 東京、中央大學全燒す

六月 十一日 (日本畫)寺崎廣業、小堀靉音、川合玉堂、下村觀山、富岡鐵齋、山元春舉(彫

李王入京

刻)新海竹太郎、(陶器)伊東陶山、諏訪蘇山、(鍛金)平田宗孝、(建築)佐々木岩次郎を帝室技藝員と爲す〇日本驅逐艦柳は地中海に於て獨逸潜水艇と會戦し艦長上原太一少佐以下五十九名戰死す

六月 十二日 昌德宮李王、入京せらる

六月 十三日 石井菊次郎を特命全權大使と爲し、米國に差遣せらる

六月 十四日 昌德宮李王、參内謁見あらせらる

六月 十五日 英吉利海峡に於て武装商船讚岐丸、撃沈さる〇米國大統領ウィルソンは支那國內の紛擾を憂慮し、國家的統一緊要の聯合國共同宣言書を支那に送らん事を聯合各國に提議す

六月 十六日 醫學者高橋傳吾歿す年五十二 ニコチン中毒の實驗、血液粉分の検査、血清中石灰存在の状況及び血球中の石灰の含有量

六月 十七日 日、英兩國は米國の對支共同提議を拒絶す〇國文學者藤岡好古歿す年七十一 古言類 正校

六月 十八日 宮中に於て外交調査會初會議を開く

六月 十九日 政友會大會を開き宣言書を發表す〇憲政會有志發起にて、國民外交會を組織し發會式を行ふ〇長崎三菱造船所の職工一萬人、賃金値上を要求して同盟大罷業起る

六月 二十日 昌德宮李王、退京さる〇副島義一、福本日南等の發起にて對外同志會の發會式を行ふ

國民外交會設立
三菱造船の大罷業
對外同志會成る

臨時議會召集

川合清丸歿す

支那復辟事件

六月廿一日 第卅九回帝國議會を召集す○大岡育造は衆議院議長に、濱田國松は副議長と爲る○芬蘭は獨立を宣言す

六月廿三日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ

六月廿四日 儒者豊城鶴巢歿す年八十一○能役者櫻間左陣歿す年八十三○漢學者川合清丸歿す年七十 無病長生活、國之大經、大和魂、建國之大木

六月廿五日 德川頼倫は貴族院全院委員長に、肥田景之は衆議院全院議員長に當選す○小露西亞ウクライナ、自治獨立を宣言す

六月廿六日 (衆)首相寺内正毅、施政方針を演説す

六月廿七日 岩鼻陸軍火藥庫大爆發す○米國軍隊、歐洲に上陸を開始す

六月廿八日 政治家山田烈盛歿す年五十 稿江遺

六月廿九日 長崎三菱造船所の同盟大罷業解決す

六月三十日 (衆)憲政會提出の現内閣不信任案を否決す○希臘は獨、澳、土、勃各國と國交斷絶す

七月 一日 開港記念横濱會館の開館式を行ふ○支那張勳兵を率ゐて宮中に入り、宣統帝を擁立して復辟の上諭を發し、立憲君主政體を宣明す○伯刺西爾、亞爾然丁兩國は聯合國側に參加す

七月 二日 地中海に於て汽船神棧丸、擊沈さる○支那大總統黎元洪、北京の日本公使館に避難す○貴族院議員西村亮吉歿す年七十九

七月 三日 日露戦役の大立物アレキシセーフ逝く年七十四

七月 四日 支那南京に臨時政府を樹立し、馮國璋を大總統代理に推戴し、張勳討伐に決す

七月 五日 憲政會より内務大臣後藤新平彈劾決議案を衆議院に提出す○支那段祺瑞を張勳討伐總司令と爲す○新聞記者羽田浪之紹歿す年四十九 成功の大外交家、カブール傳

七月 六日 歴史小説家塚原澁柿園歿す年七十 由井正專、孫子講話、御前様、入興、北條早雲、伊達政宗、佐倉宗陣大鼓、夜襲、うしか丸、藤江、賤ヶ岳、ではどんな物、振將軍、是非もなき、天草一揆、石堂兄弟、命乞ひ、茶磨山、鐘屋五兵衛、桔梗の笠、伏見袋、親の面、水野越前守、眞田幸村、猿冠者、殘念

七月 七日 支那復辟派の康有爲は駐支公使林權助を訪ひ、段祺瑞、張勳間の調停を懇請せらるも、時機既に遲きを以て之を拒絶す○陸軍軍醫總監足立寛逝去年七十六 敬氏、藥論

外科各論、軍陣外科學、防痲的治創法、彪氏外科通論

七月 八日 建築家山崎鉉次郎歿す年五十六

七月 九日 北京に於て清國王公會議を開き復辟取消に決定す○子爵花房義質歿す年七十六 朝鮮開港の始末

七月十一日 天皇、東京帝國大學に行幸あり○(衆)後藤内相彈劾案を否決す

七月十二日 帝國議會の會期一日延長の詔書を公布す○支那段祺瑞軍、北京の總攻撃を開始し、遂に之を占領す、張勳、大敗して和蘭公使館に遁竄す

七月十三日 井坂光暉(大阪)補缺衆議院議員に當選す○畫家太田南岳歿す年四十五

七月十四日 活動寫眞興業取締規則を定む○神戸、太平洋海運株式會社を創立す○張勳討伐軍總司令段祺瑞、兵を率ゐて北京に入城す

七月十五日 帝國議會の閉院式を行ふ

七月十六日 大島富士太郎を特命全權公使と爲し、墨西哥に駐劄せしむ○米國答禮使海軍大將ライト、來朝す○露都に革命叛亂起る○落語家桂文三歿す年五十九

七月十八日 瑞典駐劄公使内田定槌をして丁抹國駐劄を兼しむ○露都の革命反亂鎮靜に歸す

七月十九日 フィンランド、獨立を宣言す

軍事救護法公布
七月二十日 軍事救護法を公布す○英吉利海峽に於て汽船影島丸擊沈さる○露國ケレンスキ
一内閣成立す

米國答禮使
參内
七月廿一日 臨時國庫證券法、電話事業公債法、戰時海上再保險法、農業倉庫業法、工業所有權戰時法を各公布す○米國答禮使海軍大將ライト、參内謁見す○福羽逸人を宮中顧問官と爲す

七月廿二日 暹羅國は獨、暎兩國に對し宣戰を布告す○踊師匠若柳壽童歿す年七十三

七月廿四日 ガリシヤの露軍中、戰意なく逃走する者頻出し、遂にタルノボールを撤退し、秩序壞亂に陥る

製鐵業獎勵法公布
七月廿五日 製鐵業獎勵法を公布す○伊勢大王岬附近に於て軍艦音羽、坐礁す

七月廿七日 建築家大河内喜十郎歿す年七十六

七月廿八日 遣米特派大使石井菊次郎、東京を出發す○東京本所押上町の富士瓦斯紡績會社職工二千名は賃金値上を要求して同盟罷業す○造酒家辰馬悅藏歿す年五十六

拓殖局官制公布
七月三十日 拓殖局官制を公布す、拓殖調査委員會官制を公布す

七月卅一日 滿鮮鐵道統一の結果に依る諸官制を發表さる○陸軍中將中村雄次郎を關東都督に、陸軍大將中村覺を軍事參議官と爲す○白仁武を拓殖局長官に、立花俊吉を次官と爲す○伊勢大王岬附近に於て坐礁せる軍艦音羽、遂に沈没す

七月 中 洋畫家高橋勝藏歿す年五十七

羅馬法王講和斡旋提議
八月 一日 天皇、皇后、日光に行幸啓あり○羅馬法王ヴェネデクトは各交戰國及び中立國に對し、講和斡旋の提議を爲す

八月 二日 危險物品取締規則を公布す○東京、富士瓦斯紡績會社の同盟罷業解決す○東京

八月 三日 武官長陸軍少將山根一貫逝去年四十九○詩人三富朽葉歿す年二十九 三富朽葉追悼錄 三富朽葉詩集

朝鮮水利組合令公布
八月 三日 朝鮮水利組合令を定む

八月 六日 陸軍大將大谷喜久藏、秋山好古を軍事參議官に、中將由比光衛を近衛師團長に

河合操を第一師團長に、邦彦王を第十五師團長に、守正王を第十六師團長に、福田雅太郎を第五師團長に、町田經宇を第十一師團長に、仁田原重行を東京衛戍總督と爲す○陸軍少將邦彦王、守正王、筑紫熊七、西川虎次郎、菊池慎之助、淨法寺五郎、白水淡、成田正峰、木下宇三郎を中將と爲す○村松龜一郎(宮城) 補缺衆議院議員に當選す

八月 八日 音樂家林廣繼歿す年七十三

木戸孝正薨 ず
八月 十日 侯爵木戸孝正薨す年六十一

八月十一日 講談師一立齋文車歿す年七十

八月十二日 僧西野石梁寂す年七十二

八月十四日 臨時國庫證券一億圓發行規程を公布す○奥田義人、松岡康毅に男爵を授く○一木喜徳郎を樞密顧問官と爲す○支那は獨、澳兩國に宣戰を布告す

八月十五日 阿弗利加沖に於て汽船萬代丸、擊沈さる

八月十六日 五島沖に於て軍艦敷島の尾柱破裂し、即死四名、重輕傷者十三名を出す

八月十七日 美術批評家岩村透歿す年四十八 西洋美術史要、藝苑雜稿、巴里の美術學生

八月十八日 國立感化院令を公布す

八月十九日 男爵菊池大麓歿す年六十三 新日本、職業教育論、平面解析幾何學、論理略説、修史及華文、平面三角法、解析幾何學、幾何學講義

八月二十日 支那南方の領袖張繼、載天仇は支那民黨の立場説明のため、東京に来る○支那借款一千萬元を日本にて引受くるに決す○俠客小林佐兵衛歿す年八十八

八月廿一日 東京市電氣使用條例を公布す○獨、澳兩國は羅馬法王の講和提議に對し、賛成の旨を回答す○東京市長奥田義人逝去年五十八 民法親族法論、民法相続法論、法學通論、親族法論、學生論、熊熊著山、清貧論

八月廿二日 日支爲替銀行合辦契約の調印成る○議院建築調査會官制を公布す○早稻田大學紛擾の結果、學長高田早苗、辭職して一切同校との關係を絶つ○明治大學の創立者齋藤孝治歿す年六十二

八月廿三日 英國は羅馬法王の講和提議に對し、充分の誠意を以て考慮すべき旨を回答す

八月廿四日 東京牛込の秀英舎の職工七百名、賃金値上を要求して同盟罷業を企て紛擾を極

く

奥田義人逝

菊池大麓歿す

内務省官制改正

八月廿五日 内務省官制を改正公布す○外務省より羅馬法王講和提議の内容發表さる○北條時敏を學習院長と爲す

八月廿六日 日比谷公園に於て故奥田義人の東京市葬を行ふ

八月廿七日 傳染病研究所検査規程を定む○男爵益田精祥歿す年五十六

八月廿九日 長唄の名人杵屋三郎助歿す年七十九

八月三十日 暴利取締のため物價調節令を公布す○製鐵業獎勵法施行令を公布す○米國は羅馬法王の講和提議に對し、獨逸講和條件の明示なくては講和考慮の道なき旨を

回答す

八月卅一日 關東一帯に互る十五萬圓の紙幣詐欺團犯人河野興造外十八名を検學す○支那廣

東國會非常會議を開き、軍政府を組織す

奸商取締に關する農商務省令を公布す○物價調節令を實施す○東京府八王子町

に市制を施行す○海軍中將柝内曾次郎を海軍次官と爲す○支那孫文は廣東軍政

府の大元帥と爲る

奸商取締

九月 二日 朝鮮高僧金九河一行、入京す

九月 三日 獨軍、露國リガを占領す

九月 五日 洋紙類及び肥料の輸出制限令を公布す○南京畫家小坂芝田歿す年四十六○碁客

本因坊秀元歿す年六十三○小鼓の名手幸清次郎歿す年七十三

九月 六日 銀輸出禁止令を公布す

銀輸出禁止

星野恒歿す
戦時保険局
官制

九月 七日 實業家高倉藤平歿す年四十四
九月 八日 大阪取引所法規を定む○私立大阪齒科醫學專門學校を設置す○陸軍中將宮本昭
明逝去年六十四

九月 九日 實業家土居通夫歿す年八十一
九月 十日 文學博士星野恒歿す年七十九徵古文書、詩經書經、曲尺の起源、國史要、史學叢書、國
史眼、古文書類纂、竹内式部君事蹟考、豐城存稿、豐城廣稿

九月 十一日 戦時保険局官制を公布す○早稻田大學問題遂に學生騒動と化し、大講堂に立籠
り同盟休校を行ふ○露國總司令官コルニロフの反革命叛亂起る

九月 十二日 天皇、皇后、日光より還幸啓あり○金貨金塊輸出取締令を公布す○北海道空知
郡文珠炭礦にて瓦斯爆發し、即死五名、重傷者五名を出す○露國首相ケレンス
キーは臨時政府を解消し、獨裁政府を組織す

九月 十三日 特派財政經濟委員會を設置し、目賀田種太郎を委員長と爲す○東京深川にコレ
ラ發生す○山陽線龍野驛に於て急行列車衝突し、負傷者十五名を出す○露軍總
司令官コルニロフの反革命運動失敗に終る

陸軍騎兵學
校

九月 十四日 農商務省官制を改正公布す○陸軍騎兵實施學校を陸軍騎兵學校と改稱す○露國
首相ケレンスキー、共和政體を宣言す

九月 十五日 輸出絹織物検査規程を公布す○帝國政府は羅馬法王の講和提議に對し、拒絶の
回答書を發送す

九月 十七日 伊國特命全權大使ルイジ・シエロラーモ・クサニ・コンフアロニエリ、參内し

海上再保險
法實施

九月 二十日 海上再保險法を實施す○上野公園不忍池畔にて化學工業博覽會を開催す○東京
日本銑鐵株式會社を創立す

臨時教育會
議官制

九月 廿一日 臨時教育會議官制を公布し、平田東助を總裁に、久保田讓を副總裁と爲す○教
育調査會官制を廢す

九月 廿二日 陸軍少將小川賢之助を東宮武官長と爲す○久しく紛糾せる早稻田大學の盟休問
題解決して授業を開始す○米國は羅馬法王に對し、今後重ねて講和提議をなさ
ざらむ事を要望す

九月 廿三日 米國特派財政經濟官官制を公布す

九州大疑獄
事件起る

九月 廿五日 九州大疑獄起り、八幡製鐵所販賣課長堀富太郎、九州鐵道管理局貨物係長宇佐
美莞爾、副參事太田爲二等、官公吏の大檢舉を開始す

臺灣金輸出
禁止

九月 廿六日 臺灣の金輸出を禁止す○福岡縣嘉穂郡笠松村の松谷炭礦にて坑内浸水のため二
十一名溺死す○兵庫縣武庫郡に私立川崎商船學校を設置す○亞爾然丁は獨逸と
國交を斷絶す○コロンボ西南沖に於て日本郵船常陸丸、獨逸潜水艇に襲撃され
遂に拿捕さる○伯爵甘露寺義長薨す年六十六

九月 廿七日 天皇、千葉縣津田沼の陸軍騎兵學校に行幸あり○支那張繼等、東京出發歸國の
途に就く

戦時船舶管
理令公布

九月 廿八日 戦時船舶管理令、同施行規則を公布す○東京、三越吳服店の新築成る

極東モンロ主義

九月廿九日 遣米特派大使石井菊次郎は紐育に開催されたる招待會の席上に於て、演説して曰く「日本は決して支那の領土權、或は主權を冒すの意思無きのみならず、萬一、支那が外國より侵略を受け、其獨立を侵害せられんとするが如き場合には日本は支那の獨立を防護するの覺悟を有す」と、米國人之を評して極東モンロ主義と稱す

關東大暴風雨

九月三十日 戰時船舶管理局官制を公布す○青島守備軍司令部條例、青島守備軍民政部條例を各公布す○關東各地に大暴風雨あり、死者四百七十二名、倒潰家屋二千九十二戸、床上浸水九萬八千八百八十二戸を生ず

十月 一日 東京府下入新井村の帝國飛行學校を開設す○列車ボーイの心附を廢止す

十月 三日 日支間に於て吉長鐵道に關する改訂契約の調印成る

十月 四日 支那交通銀行に二千萬圓の貸付契約成立す○實業家澁澤榮一等、東京風水害救濟會を創立す○全國暴風雨の被害は死者七百七十名、行方不明三百七十四名、全半潰流失家屋四萬三千八百七十一戸、船舶被害二千六百六十九隻に達す

十月 六日 警視廳より奸商取締令を公布す○祕露は獨逸と國交斷絶す○美學者富尾木知佳歿す年四十五

十月 七日 ウルグアイは獨逸と國交斷絶す○陸軍中將波多野毅逝去年七十一

十月 八日 皇后、學習院女學部に行啓あり○罹災者救恤金五萬圓を東京に、二萬五千圓を千葉縣に、二萬圓を茨城縣に、七千圓を神奈川縣に下賜せらる○淨瑠璃太夫竹

奸商取締令公布

本攝津大掾歿す年八十三
東京市内の奸商二百餘名を検舉す○愛知縣渥美半島の巡航汽船沈没して死者十七名、行方不明四十名を出す

十月 十日 秋山金也(栃木)補缺衆議院議員に當選す○書家佐瀬醉棧歿す年五十一

十月 十一日 古市公威を理化學研究所長と爲す

十月 十二日 支那北京に於て吉長間鐵道資金六百五十萬圓の貸付契約成る○畫家村瀨玉田歿す年六十六

十月 十三日 皇后、中央幼年學校に行啓あり○發明獎勵費交附規則を定む○弓道大家本多利實歿す年八十二

十月 十五日 遣米財政經濟調査委員長目賀田種太郎、東京を出發す

十月 十七日 北白川宮成久王、同妃、東京御出發渡臺の途に上らる○僧修多羅高延寂す年七十六

十月 十八日 赤木龜一(岡山)補缺衆議院議員に當選す

十月 十九日 皇后、東京聾啞學校に行啓あり

十月 二十日 全國小學校女教員大會を東京帝國教育會にて開催す○大正婦人會成る○カナリ

一島南方に於て汽船藻寄丸撃沈さる

十月 廿一日 憲政會關西大會を大阪に開く

十月 廿二日 建築家片山東熊歿す年六十四

奸商檢舉

村瀨玉田歿す

大正天皇——大正六年

高森碎巖歿す

十月廿三日 陸軍中將小泉正保逝去年六十三
十月廿四日 子爵仙石政固薨年七十五
十月廿五日 天皇、近衛騎兵聯隊に行幸あり○南畫家高森碎巖歿す年七十一
十月廿六日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり○米國飛行家アト・スミス、横濱解纜歸國の途に就く

十月廿七日 天皇、上野公園に行幸あり、美術展覽會を覽給ふ○伯刺西爾共和國は獨逸に宣戰を布告す

十月廿八日 臺灣神社例大祭を舉行さる、北白川宮成久王、同妃、參詣あり○寺田省歸(北海道)補缺衆議院議員に當選す○羅馬尼特使ニコラス・クセノポール來朝す○獨逸軍、ジュリアン、アルプスを踰えて伊國に進撃し、連戰連捷す

小額紙幣發行公布

十月廿九日 皇后、上野公園に行啓あり、美術展覽會を觀給ふ○小額紙幣(五拾錢、貳拾錢拾錢)發行の緊急勅令を公布す○米軍、始めて北佛戰線に參戰す

十月三十日 米國特命全權大使ローラント・エス・モリス、參内して信任狀を捧呈す○獨逸軍、伊國ウーデネを占領す

十月卅一日 天皇、代々木練兵場に臨み、大觀兵式を行ひ給ふ

十月 中 歌人彈琴緒歿す年七十一 類題秋草集 梅園味草

十一月 一日 金貨本位制實施二十年記念會を東京銀行集會所に開く○石原正太郎(富山)補缺衆議院議員に當選す

日米協定成る

十一月 二日 皇后、上野公園に行啓あり、化學工業博覽會を觀給ふ○特派全權大使石井菊次郎、米國國務卿ランシングとの間に支那に對する機會均等、門戶開放主義の下に日本の地位を承認する日米宣言及び日米兩國間太平洋警備區域協定の調印成る

十一月 三日 久保田讓を樞密顧問官と爲す

十一月 五日 天皇、皇后、京都に行幸啓あり

十一月 六日 工學者近藤陸三郎歿す年六十一

日米共同宣言發表

十一月 七日 支那對策に關する日米共同宣言發表さる○露國過激派首領レニン、叛徒を率ゐて宮殿に亂入し、ケレンスキー假政府を顛覆し、代理首相パルチンスキー以下各大臣を捕へて、ペテロ・パウロ要塞監獄に投ず

露國勞農政府成立

十一月 八日 天皇、皇后、伏見桃山御陵に親謁あり○五拾錢、貳拾錢の新紙幣發行さる○印度洋に出動せる特務艦隊、横須賀に凱旋す○獨逸潜水艇に拿捕せられたる常陸丸擊沈さる○綾部惣兵衛(埼玉)補缺衆議院議員に當選す○露國過激派首領レニン、勞農政府を組織し、之を人民委員會と稱する旨を宣言し、即時戰爭終結、農民に土地分配、經濟危機の鎮定の三大聲明を發表す

十一月 九日 來る十二月廿五日を以て帝國議會召集の詔書公布す○支那政府は日米共同宣言に對し、支那は日米協定の拘束を受けず、との抗議的通告を致す

十一月 十日 天皇、京都帝國大學に行幸あり○京城の昌德宮炎上す

南海電車衝突

十一月十一日 簡易保險積立金運用委員會を設置す○名古屋、兵器製造所の開場式を行ふ
十一月十二日 瀬戸内海來島水道に坐礁せる航空母艦若宮丸、離礁す
十一月十三日 天皇、京都より彦根に行幸あり○日支爲替銀行を設置に決定す○西班牙、率先して露國勞農政府を承認す○歌人須川信行歿す年七十九常葉國歌集
十一月十四日 天皇、滋賀縣伊賀郡鏡山に行幸あり、特別大演習を統監あらせらる○南海電鐵淡の輪驛附近にて、電車衝突し、即死五名、重輕傷者五十一名を出す○聯合國最高軍事會議設置を發表さる

織田信長に贈位

十一月十七日 故織田信長に正一位を追贈さる○鳴尾に於て關西陸上競技大會を開く○嘉永年間ペルリと共に來朝せる老水兵ハーデー、再び來朝して朝野の大歓迎を受く○佛國彫刻家ロダン逝く年七十七

十一月十八日 天皇、還幸あり

十一月十九日 皇后、還啓あり○羅馬尼特派使節クセノポール、參内謁見す

十一月二十日 天皇、皇后、赤坂離宮に行幸啓あり、觀菊御宴に臨み給ふ○露國レニンは獨逸に對し、休戰交渉を提議す

十一月廿一日 政友會關西大會を大阪に開く○高木兼寛を東京市教育會長と爲す○支那財界の重鎮梁士詒來朝入京す

十一月廿三日 在露聯合國陸軍代表者は露國政府に對して抗議を提出し、露獨單獨休戰命令は聯合國條約違反なりと問責す○碁客井上因碩歿す年四十四

佐々醒雪歿す

十一月廿四日 僧光野正行寂す年七十六
十一月廿五日 國文學者佐々醒雪歿す年四十六近代文學私選、近代文藝雜誌、三句索引、修辭法講話、俗曲評釋、國文學史、日本情史、近世國文學史、日本女學史辭典、俳諧の歴史、天

十一月廿六日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり○遣米特派全權大使石井菊次郎、歸朝す

十一月廿七日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○工學博士増田禮作歿す年六十四

十一月廿八日 東京、帝國セメント會社を創立す

十一月廿九日 天皇、海軍大學校に行幸あり○東京國技館全燒す○聯合國會議を佛國巴里に開く○獨逸は露國の休戰交渉開始を承諾す○政治家の野半介歿す年六十一江藤新平傳、來島

國技館全燒

十一月三十日 經濟調査會を廢す○神戸郵便局全燒す

十二月 一日 岐阜縣各務ヶ原に第二航空隊を新設す○海軍大將吉松茂太郎を軍事參議官に、

中將八代六郎を佐世保鎮守府司令長官に、山下源太郎を第一艦隊司令長官に、名和又八郎を横須賀鎮守府司令長官に、依仁親王を第二艦隊司令長官に、財部

彪を舞鶴鎮守府司令長官と爲す○海軍少將岩村俊武、千坂智次郎、中野直枝、岡田啓介、秋山眞之、井出謙治、船橋善彌、伊達只吉を中將と爲す○東京市三

宅坂に於て電車、荷車と衝突し、即死二名、負傷者八名を出す○講談師一龍齋貞昌歿す年六十七○畫家池田蕉園歿す年三十二

十二月 二日 横濱新棧橋の落成式を行ふ○山陽線上瀬野に於て列車、車止に衝突して即死二

池田蕉園歿す

獨露休戰談開始

十二月 三日 支那重慶に大動亂起る○勃國政府は露國と講和交渉開始を聲明す
 十二月 四日 統計學者杉亨二歿す年九十世界貿易航海史、交易通史、國政黨派論、辛未政表
 十二月 五日 柴四朗(福島)補缺衆議院議員に當選す○獨逸、塙國、土耳其、勃牙利諸國は露國と休戰談判を開始す
 十二月 六日 十錢紙幣を發行さる○西比利亞、獨立の報あり
 十二月 七日 所澤に於て飛行失敗原因研究に關する航空會議を開く○米國は塙國に宣戰を布告す○獨、塙兩國は露國の戰鬪中止に同意す
 十二月 八日 英軍、エルサレムを占領す
 十二月 九日 政治家永江純一歿す年六十五
 十二月 十日 東京株式取引所焼失す
 十二月 十一日 皇后、濟生會病院に行啓あり○ウラライナ共和國獨立を宣言す
 十二月 十二日 パナマ共和國は獨塙兩國に宣戰を布告す
 十二月 十三日 天皇、伏見宮邸に行幸あり○八丈島末吉山に山崩れあり、死者四十名を出す○醫學者白杵方化歿す年四十二
 十二月 十四日 青山胤通に男爵を授く○哈爾賓、愈々形勢險惡を極め、在留日本人引揚を開始す

伏見宮邸行幸

八幡製鐵疑獄事件起る

十二月 十五日 福岡縣八幡製鐵所の大疑獄事件起る○露國は獨、塙、土、勃四國と休戰條約を締結し、全線に亘る休戰實施せらる
 十二月 十六日 東京、神田ニコライ會堂に於て、聖地エルサレム奪回の大感謝祭を行ふ
 十二月 十七日 林市藏を大阪府知事と爲す○山下龜太郎は國防費として金百萬圓を政府に獻納す
 十二月 十八日 鹿兒島縣大島郡下に大火あり、二百三十六戸焼く○羅馬尼特派使節クセノボール、東京に於て逝去年五十六
 十二月 二十日 三重縣鳥羽町大火あり、百五十戸焼く○西部戰線の全露軍、撤退を開始す
 十二月 廿一日 福岡縣鞍手郡宮田村の桐野炭坑にて瓦斯大爆發し、三百六十一名慘死す○千葉縣選出衆議院議員の當選取消と爲り、新に鶴澤總明、吉植庄一郎、木村政次郎、關和知、柏原文太郎、鶴澤宇八、磯野敬、鈴木久次郎、土屋清三郎、津田毅一、當選す○三宅島伊毛谷村大火あり、百十五戸焼く
 十二月 廿二日 露國プレスリトウスクに於て正式に露獨講和談判を開始し、露國側より非償金非併合、人民自決の講和基礎的條件を提出す○子爵山尾庸三薨す年八十一
 十二月 廿三日 露國イルクツクに大暴動起る
 十二月 廿四日 男爵青山胤通薨す年五十九
 十二月 廿五日 第四十回帝國議會を召集す○井上勝之助を宗秩寮總裁に、森林太郎を帝室博物館總長に、股野琢、吉田醇一を宮中顧問官と爲す

桐野炭坑爆發

青山胤通薨す

帝國義勇飛行會

十二月廿六日 帝國義勇飛行會の發會式を行ふ○高平小五郎、北里柴三郎、宗像政、大久保利武、和田維四郎を貴族院議員と爲す○相模三崎町に大火あり、三百四十六戸焼く○名古屋控訴院に於て大隈首相襲撃事件の被告福田和五郎に懲役十五年、鬼倉重次郎、和田政吉に各十二年の判決言渡あり

十二月廿七日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○茶人大久保北隱歿す年八十一

十二月廿八日 山根正次、衆議院全院委員長に當選す

十二月廿九日 露國勞農政府は聯合國に對し、講和談判に参加せん事を勸告す

十二月 中 歌人藤村叔運歿す年七十

十二月 中 各歩兵聯隊に獨立機關銃隊を創設す

大正 七年 戊午 皇紀二五七八年 西曆一九一八年

正月 一日 英國皇帝より我天皇に對し、特に大英國元帥と尊稱せらるべき旨の御親電あり

○男爵千家尊福薨す年七十四 出雲大社教會譯辭書、國家の祭祀、國地眞柱、教會報要 ○貴族院議員西宗元次郎逝去

年六十五

正月 二日 海軍軍醫總監齋藤勇記逝去年六十一

正月 三日 露國政府は芬蘭共和國の獨立を承認す○實業家諸葛小彌太歿す年五十七

正月 四日 臺灣新聞紙令を公布す○石川縣地方に大風雪あり、家屋全潰百九戸、死者二十三名を出す○前露國廢帝、トボルスクより再びクロンスタットに移送さる○俳人雪中庵宇貫歿す年五十五 藝大全集 風雪傳

機關銃隊創設

臺灣新聞紙令公布

正月 五日 天皇より、英國皇帝に日本元帥の尊稱を御贈答あらせらる○氣象學者和田雄治歿す年六十 武藏國荒川出水調査報告、朝鮮古今地震考

正月 六日 日支第二回善後借款一千萬圓前渡協約の調印成る

正月 八日 天皇、宮城前外苑に臨幸あり、觀兵式を行ひ給ふ○米國大統領ウイルソン、講和に關する具體的意見を發表す

正月 九日 小説家柳川春葉歿す年四十三 子守唄、母、五人姉妹、女一代、伯爵家、妻と子、夢の夢、街頭、生きぬ

運命、破産、鏡、誇、き身、平民の家、同胞、變化老人、嘔、女傭、燈音、勝老翁、新夫婦、染小袖、蘇生、行路心、一花一輪、酒、かたみ、つけ紐、操、誓、女の望、樺手振、殘者、小膽者、意地張、富と愛

正月十一日 岩手縣久慈町大火あり、約五百戸焼く○新潟縣南魚沼郡三俣村に於て、大雪崩の爲め人家二十五戸埋没し、百五十六名慘死す○蘭領印度沿岸に於て軍艦春日坐礁す○歌人河野秋景歿す年八十八

正月十二日 西比利亞の形勢益々無秩序となれるを以て居留民保護の爲め、浦鹽に軍艦派遣を發表す○子爵五條爲功、貴族院議員に當選す

正月十三日 伊豆伊東町の名刹佛光寺、妙昭寺炎上す○支那南方の領袖長繼、來朝す○陸羽線小牟田、新庄間に於て列車、雪の爲めに脱線粉碎し、重輕傷者十五名を生ず

正月十四日 佛國前首相カイヨールは賣國嫌疑にて捕縛さる

正月十五日 佐世保にて驅逐艦樺の進水式を行ふ、宮原水管式汽罐の發明者海軍中將宮原二郎逝去年六十一○露國政府はアルメニヤの自主を宣言す

正月十六日 京都、國畫創作協會を創設す○男爵福原基藏逝去年三十六

佛光寺焼く

柳川春葉歿す

東宮妃冊立
内定

正月十七日 高等試験令、普通試験令を改正公布す○所澤に於て飛行機墜落し、坂元守吉中尉惨死す○トルキスタン、自治共和国の建設を宣言す

大島嶺山大
雪崩

正月十八日 久邇宮良子女王を東宮妃冊立に御内定あり○宮中歌御會始めあり『勅題海邊松』○畫家菊池芳文歿す年五十六

吉田東伍歿す

正月十九日 男爵川口武定薨す年七十三

獨逸大罷業
起る

正月二十日 政友會、憲政會、國民黨各大會を開き、對議會策を決定す○山形縣東田川郡大島嶺山に大雪崩あり、坑夫百八十名埋没惨死す

鈴木松年歿す

正月廿一日 北海道地價調査令を公布す○栃木山守也、横綱と爲る○工學博士手島精一歿す年七十

朝吹英二歿す

正月廿三日 京都官幣大社男山八幡宮を石清水八幡宮と改稱せらる○文學博士吉田東伍歿す年五十三 徳川政考、日韓古史斷、大日本地名辭書、紋倒日本史、徳川政考、海の歴史、庄園制度の大要、利根川治水論

米價暴騰

正月廿四日 外人入國取締規則を公布す

秋山眞之逝く

正月廿六日 南太平洋警備に出動中の軍艦筑摩、佐世保に凱旋す○地中海に於て汽船大天丸撃沈さる○俳優市川團升歿す年四十五

鈴木松年歿す

正月廿七日 天皇、皇后、葉山に行幸啓あり○實業家瀧兵右衛門歿す年七十六

露國交戦中止宣言

正月廿八日 磐越西線鐵道工夫三十名、雪崩の爲め惨死す○獨逸伯林に大同盟罷業勃發し、二十五萬人之に参加す

蜂須賀茂韶薨す

正月廿九日 樺太廳臨時築港事務所官制を公布す○豊後佐賀の關沖に於て大阪商船那覇丸沈没し、三十三名行方不明と爲る○畫家鈴木松年歿す年七十○閨秀畫家素木しづ子歿す年二十四 蘭子のかけら、三味線風、こゝろ、男の沈黙、松葉杖をつく女、三十三の死、葛蒲の湯、珠、暗い影、美しき牢獄、青白き夢、小さき命、精神病、日のいち

露國交戦中止宣言

正月三十日 全國取引所仲買人聯合大會を東京に開く○醫學者田代正歿す年五十九

米價暴騰

正月卅一日 陸軍中將川村益直逝去年六十三○實業家朝吹英二歿す年七十一

秋山眞之逝く

二月 一日 帝國政府は非公式に露國勞農政府を承認するに決す○聯合國最高軍事會議を巴里に開き、飽迄戦争遂行を決議す○子爵中牟田武正逝去年四十二

露國交戦中止宣言

二月 二日 米價益々暴騰し、白米小賣相場二升臺となる○クリミア共和國を建設す○錦鶏間祇候山崎直胤薨す年六十六 勸農説、租税説

露國交戦中止宣言

二月 四日 海軍中將秋山眞之逝去年五十三

露國交戦中止宣言

二月 六日 露國人民委員會(過激派政府)を勞農政府と改稱す

露國交戦中止宣言

二月 七日 國立感化院を武藏野學院と改む○貴族院議員宗像政逝去年六十五

露國交戦中止宣言

二月 九日 土方久微を日本興業銀行總裁と爲す○ウクラナイ、獨逸と單獨講和條約を締結す、是れ單獨講和の先驅なり

露國交戦中止宣言

二月 十日 天皇、葉山より還幸あり○墨西哥特使ボツシユ、來朝す○露國は正式平和條約の署名は承諾せざるも、同時に獨、墺、土、勃との交戦状態を中止する旨を宣言し、各前線の露軍全部を解除す○典侍萬里小路幸子逝去年八十四

露國交戦中止宣言

二月 十一日 憲法發布三十年祝賀國民大會を東京上野公園に開き、民衆、警官と衝突す○侯爵蜂須賀茂韶薨す年七十三

同人俱樂部
成立
清和俱樂部
と改む

押川則吉自
殺

二月十二日 天皇、葉山に行幸あり○憲政會より内閣不信任案を衆議院に提出す○前清朝皇族肅親王、來朝あり○米國大使モリス、發起にて東京府下野方村願正寺に於て新見豊前守正興の祭典を執行す

二月十三日 大木遠吉、寺尾亨、今井嘉幸、主催に係る支那問題研究會を華族會館に開く○金杉英五郎外二十四名、新政會を脱退す

二月十四日 (衆)内閣不信任案を否決す○新政會脱退者金杉英五郎等、同人俱樂部を組織す

二月十五日 (衆)製鐵所鋼片拂下問題起る○同人俱樂部を清和俱樂部と改稱す○米國大統領ウイルソンは輸入制限令を布告す

二月十六日 獨逸は露國に對し、露、獨逸戰條約は來る十八日の期限滿了を以て之を破棄し再び戰爭狀態開始の旨を通告す

二月十七日 板垣退助、河野廣中等、立憲舊友幽明會の大法要を鶴見總持寺に營む○勤王藝者として名高き京都祇園の君尾事中西きみ歿す年七十五

二月十八日 鋼片問題の責任を負ひ、製鐵所長官押川則吉自殺す年五十七牧畜全書

二月十九日 露國は獨逸の講和條件全部承認の旨を回答す、獨逸軍之を聽かず、大舉してドブナ河を渡りて前進を開始し、露都に向けて殺到す○笛師芝萬鎮歿す年七十

二月二十日 露都に於て日、英、米、佛、伊五國使臣會議を開き、一先づ露國引揚げに決す

二月廿一日 浦賀船渠會社の職工五千三百名、賃金三割増を要求して同盟罷業に入る○獨軍露國ミンスク及びリガヴァール線の要地を占領す○獨逸は更に對露新講和條件を提出す

航空大演習
を行ふ

西比利亞出
兵問題起る

露獨講和成
立

二月廿二日 浦賀船渠會社、遂に休業す○西村太治郎(滋賀)補缺衆議院議員に當選す

二月廿三日 米、麥、小麥粉の輸出制限令を公布す○産業家波多野鶴吉歿す年で六十一

二月廿四日 東京大國座全焼す○吳に於て驅逐艦桑、椿の進水式を行ふ○所澤、前橋に亘る航空大演習を開始す○露國勞農政府は獨逸の新要求條件全部を承諾す

二月廿五日 中隈敬藏を會計検査院長に、石井菊次郎を特命全權大使と爲し、米國に駐劄せしむ

二月廿六日 獨軍、露國レヴァールを占領す

二月廿七日 田尻稻次郎を貴族院議員に、白仁武を製鐵所長官と爲す○駐露大使内田康哉、露都を引揚ぐ

二月廿八日 高等試験令施行細則を公布す○西川太治郎(滋賀)補缺衆議院議員に當選す

二月 中 露國過激派の東漸防禦の爲め、西比利亞出兵問題起る

三月 二日 千葉醫學專門學校に火災あり○露國反過激派の主腦者リヴォーフ等、北京に會合し哈爾濱に臨時極東政府を組織するに決す○支那國務會議に於て、西比利亞へ四萬出兵を可決す

三月 三日 露國對獨逸、埃國、土耳其勃牙利諸國間にて單獨講和條約の調印成る○獨軍、アーランド諸島を占領す

三月 四日 (貴)酒造税、酒精含有飲料税、麥酒税、所得税の各改正、並に戰時利得税の

藤岡市助歿

三月 五日 增税、諸案を可決す○聯合國より滿洲、西比利亞出兵を日本に要請し來る
舞鶴に於て驅逐艦榎の進水式を行ふ○電氣學者藤岡市助歿す年六十二電信初歩、電氣鐵道論集

三月 六日 九州鐵道、同製鐵所、同鑛務署吏員の收賄事實發表さる○武藤嘉門(岐阜)補缺衆議院議員に當選す

三月 七日 獨逸對羅馬尼、芬蘭間の講和條約調印成る

三月 八日 天皇、横須賀重砲兵旅團に行幸あり○九州大疑獄事件に關し福岡鑛務署長野田勇、收監さる○支那大總統馮國璋、辭職す

三月 九日 西比利亞出兵問題に關し、外務大臣本野一郎、辭表を提出す○露國勞農政府、モスコーに移轉す

三月 十日 首相寺内正毅、内相後藤新平、宮相波多野敬直、葉山に伺候し、國家の重大要件に關し委曲奏上す○駐支代理公使をして支那政府に對し、國內紛争停止の警告をなさしむ○對外問題に關し法學博士寺尾亨、戸水寛人、仁井田益太郎、中村進午、建部遯吾、松波仁一郎、高橋作衛、添田壽一、志田鉦太郎等、會合密議す

三月 十一日 横須賀に於て軍艦天龍の進水式を行ふ○僧吉水賢融寂す年七十六

三月 十二日 閩秀畫家河崎蘭香歿す年三十七

三月 十三日 宮城縣大河原町大火あり、三百十餘戸焼く

天龍進水式

英佛伊三國
戰爭繼續宣言

三月 十四日 東京府下の無免許齒科醫二百九十名を檢舉す○貴族院議員高木豊三逝去年六十七民事訴訟法論綱、佛國刑法略論、刑法論、刑法義解、佛國法理論、刑法義解増補、代言至要

三月 十七日 京都市會議員疑獄事件に關し、市會議長三幣保收監さる○八幡製鐵所の勅任技師萩原時次、拘引せらる○陸軍中將河野通好逝去年六十八

三月 十八日 天皇、皇后、葉山より還幸啓あり○支那南方の巨頭唐紹儀、來朝す○英、佛、伊三國は正義の確立を見るまで戰爭繼續を宣言す

三月 十九日 小學校教員の増俸令を公布す○海軍少將上原伸次郎歿す年五十七

三月 二十日 東京上野公園不忍池畔の電氣博覽會の開會式を舉行す○東京府下淀橋町角筈大火あり、百七十九戸を焼く○駐支公使林權助、馮總統を訪ひ、東洋平和の維持及び日支提携上重要な交渉を開始す

三月 廿一日 支那大總統馮國璋は日本の警告を謝し、且つ北軍の岳州恢復を期として内亂を平定し、南北統一を圖る旨を回答す○獨軍は西部戰線スカルプ河よりオアーズに亘る五十哩の大攻撃を開始す

三月 廿二日 獨軍、露國ニコライエフを占領す○僧北條辨旭寂す年七十六采花堂集

三月 廿三日 戰時利得税法を公布す○獨軍、巴里の砲撃を開始す○代議士板東勘五郎歿す年五十八

三月 廿四日 獨軍、佛國ペロンヌを占領す

三月 廿五日 軍用自動車補助法を公布す○海軍大將吉松茂太郎に海軍特命檢閲使を仰付らる

水戸大火

○駐露大使内田康哉、東京に歸著す○宮崎縣戸崎鼻に於て驅逐艦時津風坐礁す○水戸市大火あり、六百四十八戸を焼く○獨軍、佛國バボームを占領す

三月廿六日 日米船鐵交換契約成立す○(衆)外相本野一郎、西比利亞出兵問題を演説す○獨軍、佛國アルベール・ロアを占領す

三月廿七日 天皇、近衛歩兵第四聯隊に行幸あり○皇后、學習院女學部に行啓あり○市町村義務教育費國庫負擔法を公布す○第四十回帝國議會の閉院式を行ふ

三月廿八日 布哇邦人慈惠會へ金五千圓を下賜せらる○横須賀に於て驅逐艦檣の進水式を行ふ○京都市會議員演職事件益々擴大し、收監者二十五名に達す○獨軍、佛國モンデヂエを陥落す○狂言作者中原指月歿す年四十三花の渡、理想畫

市町村義務教育費國庫負擔法公布

三月廿九日 天皇、學習院に行幸あり○陸軍大將中村覺に陸軍特命檢閱使を仰付らる○神奈川縣眞鶴村大火あり三百戸焼く○農學博士外山龜太郎歿す年五十二○貴族院議員武石橋次逝去去年六十六

三月三十日 樺太事業公債法を公布す

三月卅一日 田尻稻次郎、東京市長と爲る○佐藤昌介を北海道帝國大學總長と爲す○男爵關義臣薨す年八十秋聲戀詩抄別集、服假沿革略考、日本名家經史論存、經史論存

樺太事業公債法公布

四月 一日 有價證券割賦販賣法を公布す○北海道帝國大學官制、海軍航空機試驗所令、絹業試驗所官制、旅順師範學堂官制を各公布す○東京帝國大學に航空研究所を設置す

四月 二日 支那前内務總長湯化龍、司法總長林長民、來朝す○畫家渡邊省亭歿す年六十八美術世界、華鳥畫譜

北海道帝國大學官制公布

四月 四日 戰時利得稅施行細則を公布す

四月 五日 日、英、米三國陸戰隊は浦鹽に上陸す○畫家尾竹國堂歿す年七十六

四月 六日 蒙古喇嘛僧一行十五名、來朝入京す○露國政府は全西比利亞の戰爭狀態を宣言し、西比利亞勞兵會に對して日本軍抵抗の爲め赤衛軍分遣隊の編成を命ず○文學者重田定一歿す年五十九嚴島誌、廣島藩ノ社會法、岡田寒泉傳、國史辭典、國史便覽、類杏坪先生傳、國史讀本、中等國史、中等國史地圖、中等國史略、史說史話

四月 七日 市町村義務教育費國庫負擔法施行規程を發表す○東京淺草本願寺に於て、日蒙佛敎聯合會の發會式を行ふ○東京帝大醫科大學長隈川宗雄逝去去年六十一動物體は

四月 八日 露國政府は聯合國に對し正式に浦鹽上陸軍の即時撤退を要求す

四月 九日 露國首相レニンは、日本軍の浦鹽上陸に不滿の意を述べ、或は日本に宣戰の已むなきに至るべしと傲語す

渡邊省亭歿す

四月 十日 東京國技館の起工式を行ふ

四月 十一日 東京御學問所の始業式を行はせらる○東京、神田銀行を創設す○反過激派セミヨノフ將軍の西比利亞政府愈々成立の報あり○僧不二門智光寂す年七十八

四月 十二日 皇后、中央氣象臺に行啓あり○東京府下世田ヶ谷に陸軍自動車隊を新設す

四月 十三日 後閑菊野に久邇宮良子女王御教育掛を仰付らる○コークス不正拂下事件にて代

日蒙佛敎聯合會成る

西比利亞政府成立

陸軍自動車隊新設

大正天皇——大正七年

(二五七・一九一八)

(177)

(176)

工業原料輸出制限令

四月十四日 議士奥村三樹之助拘引さる
東京、日本弘道會の開館式を行ふ○埃國プラグ大學教授マサリック博士、亡命來朝す

四月十五日 再び工業原料、米、麥、硝酸、曹達、硫酸、安母尼亞等の輸出制限令を公布す

○高島兵吉(徳島)補缺衆議院議員に當選す○僧中山玄親寂す年六十八○政治家

高橋喜惣治歿す年六十九 紫海拾草、紅鶴山房双存、湖山文鈔、靈陽紀程、北遊雜稿

四月十六日 農商務大臣は全國米穀取引所に對し、定期米賣買の當中立會停止を命ず○獨軍

佛國ウキシエートを占領す

軍需工業動員法公布

四月十七日 軍需工業動員法、共通法を各公布す

四月十八日 殖民地陸軍軍人服役令を公布す○皇后、近衛師團歩兵第一旅團に行啓あり○富

井政章を樞密顧問官と爲す○支那前教育總長范源濂、來朝す

四月十九日 種羊場官制を公布す○萩原時次外廿七名に係る八幡製鐵所瀆職事件の豫審決定

す○大谷高寛(熊本)補缺衆議院議員に當選す

二本松大火

四月二十日 遞信省より米國政府に對し、日本船舶提供に關する交渉顛末を發表す○福島縣

二本松町大火あり四百七十二戸焼く

四月廿二日 グワテマラ共和國は獨逸に宣戰を布告す

四月廿三日 内務大臣後藤新平を外務大臣に、水野練太郎を内務大臣と爲す○中村是公を鐵

道院總裁と爲す○京都府大疑獄起る

外米管理令公布

四月廿四日 天皇、吹上御苑に臨み、在郷將校の劍術試合を覽給ふ

四月廿五日 外米管理令を公布し、時局に因る米價の變動を調節す○農商務省に臨時外米管

理部を設置す○小橋一太を内務次官と爲す

四月廿六日 長谷川謹介を鐵道院副總裁と爲す○代議士大島久滿次歿す年五十四

四月廿七日 福岡縣遠賀郡中鶴炭礦に於て瓦斯爆發し、即死廿九名、負傷者十名を出す

四月廿八日 支那政客唐紹儀は原敬、後藤新平、床次竹二郎と各別に會見し、意見を交換す

四月廿九日 支那政客唐紹儀、退京す

四月三十日 朝鮮總督府、林野調査委員會官制を公布す○トボルスクの露國廢帝、再びウラ

ルの東麓エカテリンブルグに遷さる○男爵池田謙齋逝去年七十八

四月 中 米穀取引所の不正仲買人を檢舉す

五月 一 日 貨幣法を改正公布す○軍用自動車補助法施行細則を公布す○日支兩國間にて濟

南順徳間鐵道契約の調印成る○東京、大倉集古館成る

五月 二 日 皇后、日比谷公園に行啓あり、日本赤十字社總會に臨み給ふ

五月 三 日 秋田縣象瀉町大火あり、百餘戸焼く

五月 四 日 皇后、日比谷公園に行啓あり、愛國婦人總會に臨み給ふ○京都市會議員瀆職事

件に關し、市長上野盛都、召喚さる

五月 五 日 第一回全國青年聯合大會を東京帝國大學講堂に開く○淀川停留所附近に於て阪

神電車大衝突し、即死一名、重輕傷者三十名を生ず○伊豫溫泉郡新濱沖にて聯

全國青年聯合大會を開く

大倉集古館成る

米穀不當利得の取締

五月 六日 絡船相生丸沈没し、十八名溺死す
農商務大臣より米穀の買占賣惜人に戒告を發し、不當利得を取締る○東京在留支那學生は神田支那料理店維新號に集合し、日支國交に關する問題にて不穩の行動あり、二十五名を引致す

五月 七日 外米管理令を實施す○馬淵銳太郎を京都府知事と爲す○羅馬尼對獨、澳、土、勃四國の講和條約調印成る

五月 八日 南米ニカラグア共和國は獨逸に宣戰を布告す

五月 九日 米國老水兵ハーデ、東京出發歸國す

五月 十日 警視廳の態度に憤慨し、支那留學生の歸國する者相踵ぐ

五月 十一日 國庫債券五千萬圓發行規程を定む○日華青年協會の發會式を東京上野精養軒に開く○落語家古今亭しん生歿す年五十七

五月 十二日 憲政會東海十一州大會を名古屋に開き、外交刷新、海軍々備充實、産業振興、國民經濟の安定等を宣言決議す○新内の名手柳家紫朝歿す年四十六

五月 十三日 外相後藤新平は支那留學生の誤解一掃の爲め、日支軍事協定は對敵防衛の範圍外に涉る條項を含まずと聲明す

五月 十四日 臨時國勢調査局官制、國勢調査評議會官制を各公布す○地方長官會議を開く

五月 十五日 臨時空素研究所官制を公布す○蘭領印度沿岸に坐礁せる軍艦春日離礁す○トランス・コーカシヤ、獨立を宣言す

國勢調査局官制公布

日支陸軍協定成る

五月 十六日 皇后、東京慈惠會に行啓あり○共同出兵に關する日支軍事協定中の陸軍協定の調印成る○福井市大火あり、四百五十戸焼く○詐欺嫌疑にて大成貯金銀行頭取小林寅治、收監さる○侍從長公爵鷹司熙通薨す年六十四

五月 十七日 朝鮮戰時利得稅令を公布す○三條公輝を皇后宮主事と爲す○南米ボリビヤ共和國の最初の特命全權公使レイエス來朝す○東禪寺事件の志士天野可春歿す年八十七

五月 十八日 野田勇外十六名に係る福岡鑛務署疑獄事件の豫審決定す○代議士上島長久歿す年五十五

日支海軍協定成る

五月 十九日 日支軍事協定中の海軍協定の調印成る

五月 二十日 天皇、陸軍經理學校に行幸あり○米價暴騰調節の爲め、外米賣出を開始す○内藤傳祿(愛知)補缺衆議院議員に當選す○反過激派の首領セミヨノフ等は其占領せる滿洲里以東五十里間に獨立自治を宣言し、臨時政府を組織す

五月 廿二日 内務省官制を改正公布す○都市計畫調査會官制、警察講習所官制を各公布す

五月 廿三日 彫版家吉田耕民歿す年五十三

五月 廿四日 樺太集治監を廢止に決定す○中米コスタリカ共和國は獨逸に宣戰を布告す

五月 廿五日 警察講習所を新設す

五月 廿七日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり○正親町實正を侍從長と爲す○横綱大砲萬右衛門歿す年五十○小説家孤蝶園若菜歿す年六十五

やくらだいこおとに高砂、長脇差小鐵利刀、水天宮從繪馬筆、名橋後菊水、月下良緣露絲

萩、當世藝者歌舞伎

五月廿八日

政治家日向輝武歿年四十九太平洋趨勢論

五月廿九日

皇后、東京府下杉並町の蠶業試験場に行啓あり○佐世保に於て巡洋艦龍田の進水式を行ふ○獨軍、佛國ソアソンを陥落す

五月三十日

天皇、陸軍中央幼年學校に行幸あり○日支軍事協定の交渉頭末を發表す

五月卅一日

陸軍兵器廠令を公布す○朝鮮駐劄軍司令部條例を朝鮮軍司令部條例と改む○電氣博覽會を閉會す

五月 中

兵庫縣、帝國油脂株式會社を設立す

六月 一日

軍需局官制を公布し、寺内正毅を總裁に、山田隆一、柄内曾次郎を次官に、原象一郎を局長と爲す○軍需評議會官制を公布す○明治神宮外苑地鎮祭を舉行せらる○横須賀に於て戰艦陸奥の起工式を行ふ○兒玉秀雄を賞勳局總裁と爲す○福岡地方裁判所に於て九州大疑獄事件の第一回公判を開く○山陰線嵐峽に於て列車河中に墜落し、即死二名、重軽傷十五名を出す

六月 二日

佛國マルヌ河の激戰

六月 三日

樺太廳觀測所官制、同農事試験場官制、同水産試験場官制を公布す○畫家喜多暉月歿年五十五

六月 四日

獨軍、佛國ビエルモンを占領す

六月 五日

軍需局に庶務課、第一課、第二課を設置す

勸業債券の月賦販賣禁止

六月 六日

臺灣總督安東貞美を罷め、明石元二郎を之に代ふ

六月 七日

勸業債券の月賦販賣を禁止す

六月 八日

股野琢を臨時帝室編修官長と爲す○佐藤喜八(岩手) 補缺衆議院議員に當選す
伯爵渡邊千春逝去去年四十七

六月 九日

支那汕頭に騷亂の虞あり、居留民保護のため日本陸戰隊上陸す

六月 十日

臨時議院建築局官制、電氣試験所官制を各公布す○皇太子裕仁親王、御見學のため横濱解纜大島に行啓あり○遞信省に監察官を新設す○陸軍中將小池安之を第六師團長と爲す○支那南方の巨頭孫文、門司に來朝す○全國多額納稅議員の選舉を行ふ、相馬哲平、安田善三郎、大村彦太郎、島定治郎、大谷嘉兵衛、勝田銀次郎、橋本辰二郎、佐藤友右衛門、田中源太郎、櫻井伊兵衛、石橋謹二、竹内權兵衛、矢口長右衛門、山田純精、伊藤傳七、鈴木總兵衛、中村圓一郎、大森慶次郎、西川甚五郎、野々村久次郎、今井五介、八木久兵衛、佐藤傳兵衛、横山久太郎、多勢龜五郎、土田萬助、山田斂、横山章、田中清文、石谷傳四郎、高橋隆一、星島謹一郎、二階堂三郎左衛門、藤本閑作、津村紀陵、三木與吉郎、鎌田勝太郎、岡本榮吉、竹村與右衛門、麻生太吉、成清信愛、伊丹彌太郎、富永猿雄、高橋源太郎、中山嘉兵衛、平尾喜三郎以上當選す○理學博士鶴田賢次歿年五十一物理學叢話

六月十一日

朝鮮殖産銀行令を公布す

朝鮮殖産銀行令公布

六月十二日 皇太子裕仁親王、大島より還啓あり○米穀買占に關し増田貫一、檢舉さる○能樂家金子龜五郎歿す年四十四

六月十三日 海軍中將山屋他人を第二艦隊司令長官に、竹下勇を海軍々令部次長と爲す○ボリヴィア國特命全權公使ヴィクトル・ムミヨス・レイエス、參内して信任狀を捧呈す

六月十四日 臨時議院建築局に長官官房、工營部、經理部を設置す○奉天鄭家屯に日本領事館を置く○赤十字社聯合國慰問使徳川慶久、東京出發渡歐す○山口力外九名に係る九州大疑獄中の大阪鐵工所瀆職事件の豫審決定す○東京毛織株式會社燒失す

小口落禁止令

六月十五日 小口落禁止令を公布す○内務省に都市計畫課、工營課、河港課、道路課、技術課、調査課を新設す

六月十六日 支那黑龍督軍は露軍の侵入防備の爲め、邊境封鎖を實行す

六月十七日 英佛兩國より再び出兵交渉あり、因つて外交調査會を開く○久邇宮賀彦王薨す年七○民間飛行家小林祝之助、佛國にて墜落戦死す○露國廢帝、同皇后、同皇太子、皇女以下、エカテリンブルグに於て銃殺せらる

六月十八日 天皇、東京驛に行幸あり、英帝御名代コンノートを御出迎へあらせらる

六月十九日 英帝御名代コンノート、參内して元帥杖を捧呈あり、天皇、御答禮の爲め霞ヶ關離宮に臨み給ふ○福本寅松(奈良) 補缺衆議院議員に當選す

コンノート來朝

臨時窒素研究所設置

六月二十日 官有財産調査會官制を公布す○外交調査會にて出兵問題を否決す○臨時窒素研究所を設置○野中清を專賣局長官と爲す○國學者鈴木忠孝歿す年五十七一校

六月廿一日 原弘一、古川阪次郎、中川謙二郎、磯部正春、神山潤次、嘉納徳三郎、大井方太郎を錦鶏間祇候と爲す

六月廿二日 夏島に海軍飛行機墜落して坂本晋一中尉慘死す

六月廿三日 支那南方の巨頭孫文、神戸解纜歸國の途に就く○北海道夕張炭坑に於て瓦斯爆發し、十二名慘死す

六月廿四日 貴族院議員深野一三逝去年六十七

六月廿五日 救濟事業調査會官制を公布す

六月廿六日 農商務省は各地白米同業組合に、小賣標準値段の裁定を廢止せしむ

六月廿七日 久邇宮玳子女王薨す年六○大阪控訴院に於て岩下清周等に係る北濱銀行事件の公判を開く

六月廿八日 英帝御名代コンノート、お暇乞の爲め、參内あり○前田卯之助(北海道) 補缺衆議院議員に當選す

六月廿九日 英帝御名代コンノート、退京せらる○浦鹽のチェック軍蹶起して過激派本部を占領す

六月三十日 中村巍を特命全權公使と爲し、亞爾然丁に駐劄せしむ○獨逸は露國黑海艦隊全部を管理す

七月 一日 皇太子裕仁親王、東北地方に行啓あり○浦鹽チエツク軍は西比利亞新政府を組織す

七月 二日 陸軍大將仁田原重行、海軍大將依仁親王を軍事參議官に、陸軍中將柴五郎を東京衛戍總督に、同大井成元を第十二師團長に、同白井二郎を第八師團長と爲す、
○陸軍中將松川敏胤、仁田原重行、本郷房太郎、明石元二郎を大將に、海軍中將八代六郎、加藤定吉、山下源太郎、名和又八郎、村上格一、依仁親王を大將と爲す

工藤重義歿す

七月 三日 東京帝國大學航空研究所官制を公布す○長島隆二(埼玉) 補缺衆議院議員に當選す○財政學者工藤重義歿す年四十五豫算決算論、豫算制度論、會計法論、世界宗教制度論、議員法提要、國債史、國債論、經濟財政要義、最近財政の研究等

七月 四日 東京第七銀行頭取菊池重義、詐取罪にて收監さる

七月 五日 九州鐵道管理局參事宇佐美寬爾以下廿八名に係る瀆職事件の判決言渡あり○支那南方の首領岑春煊、陸榮廷、唐繼堯、伍廷芳連名を以て軍政府成立を宣言す○チエツク軍、ニコリスタを占領す

七月 六日 工學博士安永義章歿す年六十四

七月 七日 陸軍中將勝田四方藏逝去年七十三

七月 八日 天皇、陸軍戸山學校に行幸あり

帝國飛行協會設立

七月 九日 天皇、東京帝國大學に行幸あり○帝國、國民兩飛行協會、合同して新に帝國飛行協會を創設し、大隈重信を會長と爲す○露國東清鐵道長官ホルワト將軍はゲ

ロデコルフに於て臨時政府樹立を宣言す

七月 十日 工藤一記を宮中顧問官と爲す○本多熊太郎を特命全權公使と爲し、瑞西に駐劄せしむ○空中文明博覽會を東京上野公園に開く○瑞典特命全權公使ダヴィド・クリスチアン・ベルグ・ストロエム、參内して信任狀を捧呈す○大阪工業試験所燒く○中央線與瀨、上野原間に於て列車築堤上より墜落し、重傷十五名を出す○伯子男爵議員の改選を行ふ、(伯爵)大原重朝、萬里小路通房、吉井幸藏、松井直之、清棲家教、松浦厚、松木宗隆、川村鐵太郎、寺島誠一郎、柳澤保惠、廣澤金次郎、大木遠吉、副島道正、津輕英麿、林博太郎、柳原義光、松平頼壽、奥平昌恭、小笠原長幹、堀田正恒、(子爵)三島彌太郎、牧野忠篤、松平康民、毛利高範、伊集院兼知、板倉勝憲、五條爲功、前田利定、大河内正敏、新庄直知、伊東祐弘、片桐貞央、唐橋在正、酒井忠亮、細川立興、堀河護麿、井上匡四郎、水野直、大給近孝、藪篤麿、豐岡圭資、秋月種英、八條隆正、西尾忠方、伏原宣足、松平乘承、青山幸宜、鍋島直虎、大宮以季、稻垣太祥、山口弘達、舟橋遂賢、松平乘長、松平直平、東坊城徳長、京極高義、清岡長言、森清、吉田清風、立花種忠、竹屋春光、米津政賢、加納久宣、一柳末徳、土方雄志、京極高德、本多實方、青木信光、冷泉爲勇、堤雄長、永井尙敏、池田政時、榎本武憲、京極高備、丹羽長徳、西大路吉光、大浦兼一、本多忠鋒、小笠原勤一、米倉昌達、井伊直安、久留島通簡、本多忠敬、藤谷爲寛、樋口誠康、

五辻治伸、松平直徳、外山光庸、野村益三、今城定政、勘解由小路資承、櫛笥隆督、白川資長(男爵)藤井包總、山内長人、山中信義、阪谷芳郎、赤松範一、冲原光孚、宇佐川一正、内田正敏、山根武亮、中川興長、神山郡昭、西村精一、新田忠純、神田乃武、青山元、安場末喜、坂本俊篤、調所恒徳、西紳六郎、名和長憲、長松篤棊、本田親濟、本多政以、高千穂宣麿、郷誠之助、岩佐新、太秦供康、船越光之丞、佐竹義準、北大路實信、藤村義朗、山内豊政、小早川四郎、島津長丸、毛利五郎、二條正鷹、黒川幹太郎、小畑大太郎、福原俊丸、坪井九八郎、横山隆俊、寺島敏三、野田龜喜、高崎弓彦、黒田長和、島津久賢、岩倉道俱、今園國貞、島津健之助、矢吹省三、池田長康、坂井重季、近藤廉平、伊丹春雄、北島齊孝、永山盛興、楠本正敏、藤堂高成、辻太郎、平野長祥、竹腰正己、斯波忠三郎、伊東義五郎、清水資治、杉溪言長、南岩倉具威、眞田幸世、若王寺文健、千秋季隆、東郷安、肝付兼行、徳川厚、安藤直雄、以上當選す○洋畫家田村月樵歿す年七十四

七月十一日 英帝御名代コンノート、宮島解纜歸途に就かせらる○讀賣新聞社長本野英五郎歿す年五十五○刀鍛冶月山彌五郎歿す年八十三

七月十二日 首相官邸に於て日米共同西比利亞出兵に關する重大會議を開く○周防徳山灣に於て戰艦河内の火藥爆發し、遂に沈没して機關長飯島清中佐以下六百十名殉死す

河内沈没

七月十四日 木版家廣岡幸助歿す年九十

七月十五日 浦鹽に日米共同出兵をなすと共に、更に自主的見地より單獨に相當部隊を西比利亞方面に派遣するに決す○堀口九萬一を特命全權公使と爲し、伯刺西爾に駐劄せしむ○獨軍、大攻撃を開始し佛國シヤトーチエリーを占領し、マルヌ河を渡る

七月十六日 宮中に於て外交調査會を開き、西比利亞出兵に確定し、首相寺内正毅より出兵問題に關する政府の方針に就き委曲報告す○米軍、獨軍を逆撃しシヤトーチエリーを奪回す

七月十七日 首相寺内正毅、外相後藤新平、參内して外交調査會經過を伏奏し、御下問に奉答す

七月十八日 帝國政府は浦鹽共同出兵に關する對米提議を駐米大使石井菊次郎に打電す

七月十九日 臨時樞密院會議を開く○上海に於て日支巡查の大争鬭事件起る○中米ホンジュラス共和國は獨逸に宣戰を布告す○聯合軍は全線に互つて攻勢に轉じ、ブリーズを奪回す

七月二十日 舞鶴に於て驅逐艦谷風の進水式を行ふ○工學博士大竹多氣歿す年五十七

七月廿一日 西部戦線の聯合軍は進撃を開始す

七月廿二日 日本最初の撒水自動車成る○茨城縣多額議員選舉違反事件に關し代議士宮本逸三拘引さる

聯合軍攻勢に轉ず

東京市内乗
合自動車
を認可

七月廿三日 東京市内乗合自動車を認可す○薩南の志士加治木常樹歿す年六十三薩南血痕録、西郷南洲書簡集

七月廿四日 陸軍大將松川敏胤を軍事參議官に、中將宇都宮太郎を朝鮮軍司令官に、立花小一郎を第四師團長に、古海巖潮を第十七師團長に、西川虎次郎を第十三師團長に、高島友武を第十九師團長と爲す○陸軍少將高島友武、兒島惣次郎、河村正彦、渡邊岩之助、福原鐵太郎、高山公通、新免行太郎、大村信行、岡澤慶三郎、田中弘太郎、近野鳩三、與倉喜平、齋藤季治郎、金久保萬吉、松井庫之助、田村冲之輔、鈴木莊六、渡邊滿太郎、奈良武次を中將と爲す○支那政府は約一千の軍隊を浦鹽に派遣する旨を日、米、英、佛各國に通致す○僧多田實圓寂す年七十六

七月廿五日 男爵北垣確逝去年四十四

七月廿六日 福井市大火あり百三戸焼く○西比利亞政府は臨時極東政府と合併す

七月廿七日 天皇、西部戦線に於ける聯合軍の戦勝に對し、佛、米兩國大統領に御親電を發せらる○日本赤十字社救護班一行百六名、浦鹽に出發す○下關驛構内にて貨車に満載せる火薬大爆發し、即死七名、重軽傷者八十二名を出す○獨軍はマルヌ河北方の全線に於て總退却を開始す

七月廿八日 滿洲里の危険切迫し、日本人全部引揚ぐ

七月廿九日 朝鮮軍人及び同遺族扶助令を公布す○佛國特命全權大使マルセル・フランソワ、

獨軍總退却
を開始

ドラネー參内して信任狀を捧呈す

露國過激派軍、滿洲里を占領す

米穀大暴騰し、期米市場大混亂に陥り、遂に各地取引所の立會を停止す

北海道開道記念博覽會を札幌に開く○特命全權公使日置益をして瑞典に駐劄せしむ○紐育沖に於て日本郵船徳山丸撃沈さる

西比利亞出兵を宣言す○女優千歳米坡歿す年六十四

第十二師團に動員令下る○富山縣中新川郡西水橋町にて漁民女房の米騒動起る

米國政府は浦鹽出兵を宣言す

米國政府は西比利亞に於ける日米共同動作を宣言す○佛軍、ソアソンを奪回す

帝國飛行協會に内帑金五十萬圓を下賜さる

天皇、皇后、日光に行幸啓あり○富山縣西水橋町の米騒動擴大し、遂に米穀商を襲ひ警官と衝突す○獨軍、全くヴェール河の南岸全線より撤退す○碁客内垣末吉歿す年七十二

米價更に暴騰して小賣相場遂に一等一升一圓となる

富山市に米騒動起る

陸軍大將大谷喜久藏を浦鹽派遣軍司令官に、中將由比光衛を參謀長と爲す○陸軍中將邦彦王を近衛師團長に、尾野實信を第十五師團長に、金久保萬吉を第十師團長と爲す○岡山市に米騒動起る

浦鹽派遣軍司令官任命

西比利亞出兵を宣言

米穀大暴騰

米騒動擴大

西比利亞出兵を宣言

米穀大暴騰

米騒動擴大

浦鹽派遣軍司令官任命